はじめに

- 本書について
  - 本書について
  - 本書の読み方
- ご注意
  - 商標について
  - ご注意
  - 画像・映像について
- ソフトウェア製品使用許諾契約書
- ユーザーサポートについて

第一章　ご使用前に

第二章　入力

第三章　アルバム

第四章　動画編集

第五章　レイアウト作成

第六章　画像編集

第七章　ビデオディスク作成

はじめに　本書について

本書について

- 本書は、ImageMixer Ver.1.5 for Sony（以下 ImageMixer）の機能を説明したHTMLマニュアルです。
  本書では、Windowsの基本的な操作については記載しておりません。ウィンドウの操作など、基本操作はWindowsの一般的な使い方に準拠しております。
- 各社バンドル製品によって、若干、画面デザインが変更される場合があります。
- 画像ははめ込みの場合があります。
- CD-ROMに収録しているReadMeファイル（はじめにお読みください）には、本書に記載できなかった最新情報がありますので、本書と合わせて必ずご覧ください。

本書の読み方

本書は、各機能ごとに説明しています。右側に表示されるメニュー（目次）をクリックすることで、その項目を表示することができます。

- 青文字はリンクになっています。クリックすることで関連する項目を表示します。
  一度その項目を表示すると、その項目へのリンクは紫文字になります。
- をクリックすることで、そのページの最後を表示します。
- をクリックすることで、そのページの最初を表示します。
- をクリックすることで、前ページ（前項）を表示します。
- をクリックすることで、次ページ（次項）を表示します。
- ご注意いただきたい事項は赤文字で記載しておりますので、注意してご覧ください。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ご注意

商標について

- Windows ®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
  Windowsの正式名称は、Microsoft ® Windows ® Operating System です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
  非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- その他、本書に記載されている社名および商品名は、各社の商標、登録商標および商品です。

ご注意

1. インストールCD-ROMに収めてある弊社作成のマニュアルガイドおよびソフトウェア（以下本製品という）のすべての権利は、株式会社ピクセラに帰属します。
2. 本製品内容の一部または、全部を無断で複製または転載することは、固くお 断わりします。
3. 本製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
4. 弊社は、本製品に関するいかなる保証も致しません。また、本製品の欠陥の 結果発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該の損 害が発生する可能性が告知されていた場合でも、何等の責任を負いません。 同様に弊社は、コンピュータプログラムまたはデータの回復もしくは再生に 要する費用、本製品を組み込まれたうえで使用されるコンピュータプログラ ム等につき、一切の責任を負いません。

本CD-ROMに掲載されている画像データ（キャラクター含む）は著作権法に基づいて著作権にともなう全ての権利が保護されています。著作権者以外の第三者が著作権者の許諾無しに販売、レンタル、譲渡、複製を行うことはできません。
著作権法に違反する行為は刑事罰の対象となりますのでご注意ください。 本CD-ROM内の画像データはお客様が個人で使用する場合のみ使用を許諾されます。
本CD-ROM内の画像データをお客様が商用として複製使用することはできません。また、お客様がデータを一部修正、改変したものを商用として使用することもできません。

画像、映像について

- 取り込む画像，映像は、その目的・用途にかかわらず禁止されているものがありますのでご注意下さい。
- 一般の著作物については、個人的な用途以外での使用については、その著作物の権利者の承認が必要です。
- 紙幣、貨幣、有価証券などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- 免許証、旅券、各種の証明書、公文書、私文書などの複製は、違法となり、 処罰の対象となります。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

はじめに

ソフトウェア製品使用許諾契約書

お客様は、この使用許諾契約書（以下、本契約）の下記使用許諾条件にしたがって、ソフトウェアプログラム（以下、本プログラム）ならびに取扱説明書等の付属物を使用する譲渡不能な非独占的権利を、株式会社ピクセラより許諾されます。

許諾事項

- お客様に本プログラムを1台のコンピュータにインストールして利用する権利を非独占的に許諾いたしますが、この権利を第三者に譲渡することはできません。
- 本プログラムは、バックアップの目的でのみ、著作権に関する表示が元の状態のまま残されることを条件に、マシン読み取り可能な形態でプログラムを１部複製できます。

禁止事項

- 本プログラムをネットワーク上で使用することはできません。ネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合は、別途、株式会社ピクセラから各コンピュータ毎の使用権を取得することが必要です。
- お客様は、本プログラムを再使用許諾、譲度、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
- お客様は、本プログラム及び付属物の全部または一部を修正、改変、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。または第三者にこのような行為をさせてはなりません。

契約の終了

お客様が、本プログラムまたは付属物を許可なく複製したり、上記許諾条件に違反した場合には、本契約は自動的に終了するほか、株式会社ピクセラにより他の法的な措置がとられることがあります。契約終了の場合、お客様は、本プログラム、付属物、複製物一切を廃棄または株式会社ピクセラに返還するものとします。

保証と免責

本プログラムおよび付属物は、明示黙示を問わず、商品性、お客様の特定の使用目的への適合性と合致するものではありません。 また、株式会社ピクセラは、本プログラムの機能がお客様の要求と合致すること、あるいは本プログラムの作動に中断やエラーのないことを保証するものではありません。
株式会社ピクセラは、本プログラムの使用に付随または関連して生じる直接的または間接的な損失、損害などについて、如何なる場合においても一切責任を負わず、また本プログラムの使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ご案内　ユーザーサポートについて

お問い合わせ先

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター

〒590-0985
大阪府堺市戎島町4-45-1　ポルタスセンタービル
TEL 072-224-0181

■ 受付時間
月～日曜日 9：00～17：00（ただし年末年始、祝日除く）

ホームページ

以下のページで、ImageMixerの最新情報が閲覧できます。

http://www.ImageMixer.com/

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

1-1 動作環境

ImageMixerをご使用になるには以下の環境が必要です。ご使用の環境をご確認ください。

Windows

OS	Microsoft ® Windows ® Millennium Edition/Windows ® 2000 Professional/Windows ® XP Home Edition/Windows ® XP Professionalプリインストール
CPU	クロック速度300MHz以上のプロセッサを搭載したPCを推奨。 Intel Pentium ® /Celeron ® 系列、 AMD K6/Athlon/Duron ファミリ、またはこれらと互換のプロセッサ。
必要なソフトウェア	DirectX 8.0a以降
サウンド	16bitステレオサウンドカードおよびスピーカー
メモリ	128MB以上
ハードディスク	2GBのハードディスク容量 ディスクの作成には作成するディスクの容量の3倍程度の容量が必要です。
ディスプレイ	4MBのVRAMを搭載したビデオカード、解像度は800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65,000色）DirectDrawドライバ対応
その他	本ソフトウェアは、DirectX テクノロジに対応しています。ご使用の際には、DirectXが組み込まれている必要があります。 本ソフトウェアのインストールおよび使用には、Windows ® 2000 ProfessionalではPowerUser（標準ユーザー）またはAdministrators（管理者）権限が必要です。Windows ® XPでは、管理者権限が必要です。 上記に準拠している場合でも、動作を保証するものではありません。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

1-2 アンインストール

1. ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

2. ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
   アプリケーションの追加と削除のプロパティダイアログが表示されます。

3. 一覧から「ImageMixer」を選択して、［削除］ボタンをクリックします。
   削除の確認を促すダイアログが表示されます。

4. ［OK］ボタンをクリックします。
   アンインストールが実行されます。

5. アンインストールが完了したというダイアログが表示されますので、［完了］ボタンをクリックします。
   キャプチャしたファイルなどは残っている場合がありますので、完全に削除する場合は、
   ［ProgramFiles］-［Pixela］-［ImageMixer］フォルダを削除してください。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

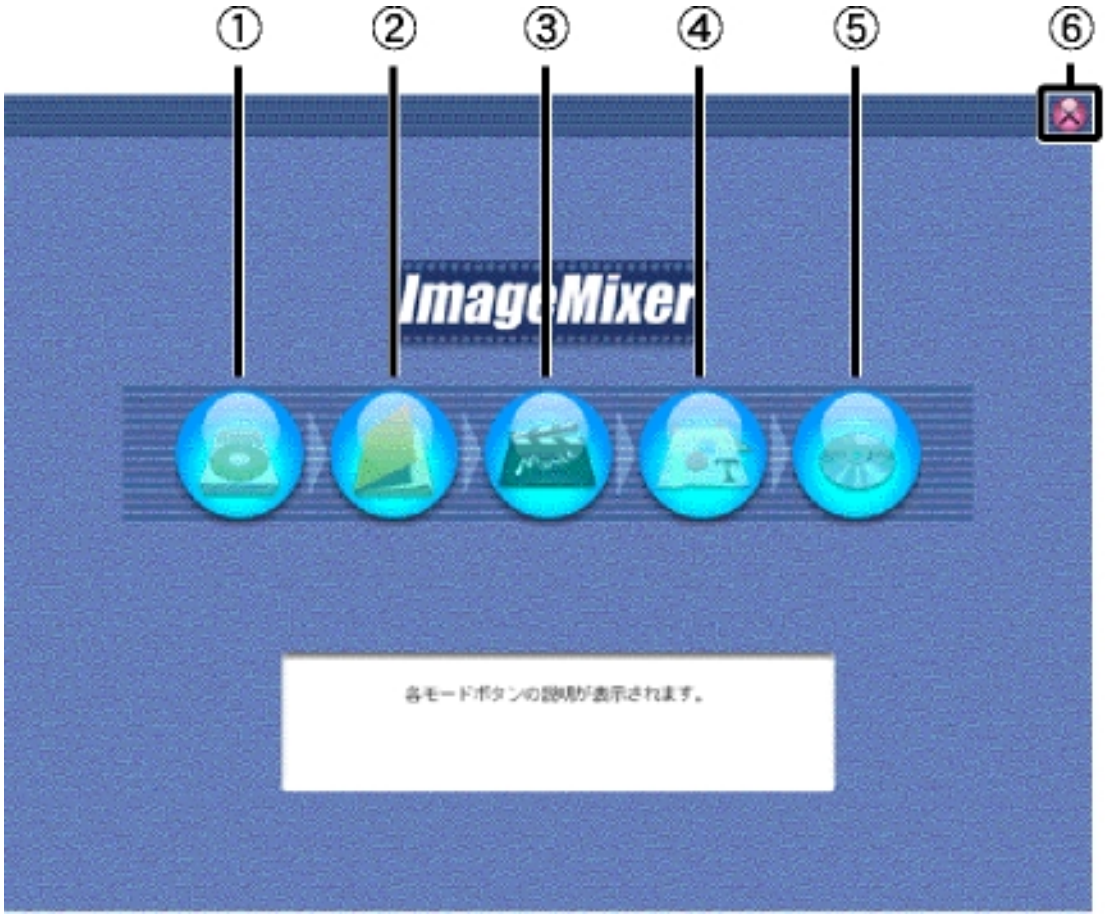
1-3-1 基本操作

ImageMixerの起動

［スタート］-［プログラム］-［Pixela］-［ImageMixer］-［ImageMixer Ver.1.5 for Sony］を選択することで、ImageMixerを起動します。
ImageMixerをインストールする時にショートカットを作成している場合は、デスクトップに右のようなImageMixerのショートカットアイコンがありますので、それをダブルクリックすることでImageMixerを起動することができます。
また、［スタート］-［プログラム］-［Pixela］-［ImageMixer］-［ヘルプ］を選択することで、本書をご覧いただくことができます。

ImageMixerの起動画面（メインセレクタ）

ImageMixerの起動画面をメインセレクタと言います。



①	入力ボタン	クリックすることで、入力モードを起動します。
②	アルバムボタン	クリックすることで、アルバムモードを起動します。
③	動画編集ボタン	クリックすることで、動画編集モードを起動します。
④	レイアウト作成ボタン	クリックすることで、レイアウト作成モードを起動します。
⑤	ビデオディスク作成ボタン	クリックすることで、ビデオディスク作成モードを起動します。
⑥	終了ボタン	クリックすることで、ImageMixerを終了します。

機能概要

■ 入力モード

既存ファイルの入力、音楽CDやマイクなどのサウンド出力機器からの録音、DVD Handycamからの入力をサポートしています。
入力したファイルはアルバムに自動的に登録され、サムネールをダブルクリックすることでプレビューを表示し、入力したその場で確認することができます。

■ アルバムモード

入力モードでキャプチャ、または登録したファイルを管理することができます。
検索や並び替え、ファイルの情報の表示、プレビューやスライドショー機能を装備しています。一つ一つのファイル別に確認する必要がないので、目的に応じてアルバムに登録しておき、煩雑化したファイルの管理が便利に行えます。

■ 動画編集モード

アルバムで管理するファイルを素材として、動画ファイルの編集を行えます。
動画ファイルの不要な部分をカットしたり、場面転換の効果やレイアウト作成モードで作成したタイトルの挿入、サウンドの追加などプロ並みの編集がマウスで簡単に行えます。
MPEG形式を採用しており、必要な箇所以外の再レンダリングを行わない形で、映像の劣化を伴わない編集が可能です。

■ レイアウト作成モード

動画編集モードで使用するタイトルやビデオカセットなどのラベルを作成することができます。文字や図形、画像などを配置して、簡単にオリジナルレイアウトを作成できます。

■ 画像編集モード

アルバムに登録した静止画ファイルやレイアウトに配置している画像オブジェクトを編集します。マスクやフィルタ、背景との合成など、多彩な編集メニューを用意しています。

■ ビデオディスク作成モード

スライドショー形式のVideo CDおよびDVD-Videoを作成できます。メニューを使用して再生順序を変更することができるプレイバックコントロール機能や、静止画の再生などをサポートしています。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

1-3-2 基本操作

モードセレクトバー

モードセレクトバーでは、ImageMixerの各モードを切り替えることができます。ImageMixerのアプリケーションウィンドウの上部に表示されます。

①	入力ボタン	クリックすることで、入力モードを起動します。
②	アルバムボタン	クリックすることで、アルバムモードを起動します。
③	動画編集ボタン	クリックすることで、動画編集モードを起動します。
④	レイアウト作成ボタン	クリックすることで、レイアウト作成モードを起動します。
⑤	ビデオディスク作成ボタン	クリックすることで、ビデオディスク作成モードを起動します。
⑥	最小化ボタン	クリックすることで、ImageMixerのアプリケーションウィンドウを最小化して、タスクバーに表示します。
⑦	ヘルプボタン	クリックすることで、ImageMixerのヘルプ（本書）を表示します。
⑧	環境設定ボタン	クリックすることで、起動しているモードの環境設定ダイアログを表示します。
⑨	終了ボタン	クリックすることで、ImageMixerを終了します。

ステータスバー

ImageMixerのアプリケーションウィンドウの下部を「ステータスバー」と言い、ボタンなどにマウスを移動することで、その説明が表示されます。

ImageMixerの終了

メインセレクタまたはモードセレクトバーの［終了］ボタン をクリックすることで、ImageMixerを終了します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

1-3-3 基本操作

ImageMixerの基本操作

■ アルバムの選択
アルバムリストウィンドウなどに表示されるアルバムをクリックすることが、選択することになります。 選択しているアルバムは明るい黄色で表示されますので、一目で選択の有無がわかるようになっています。

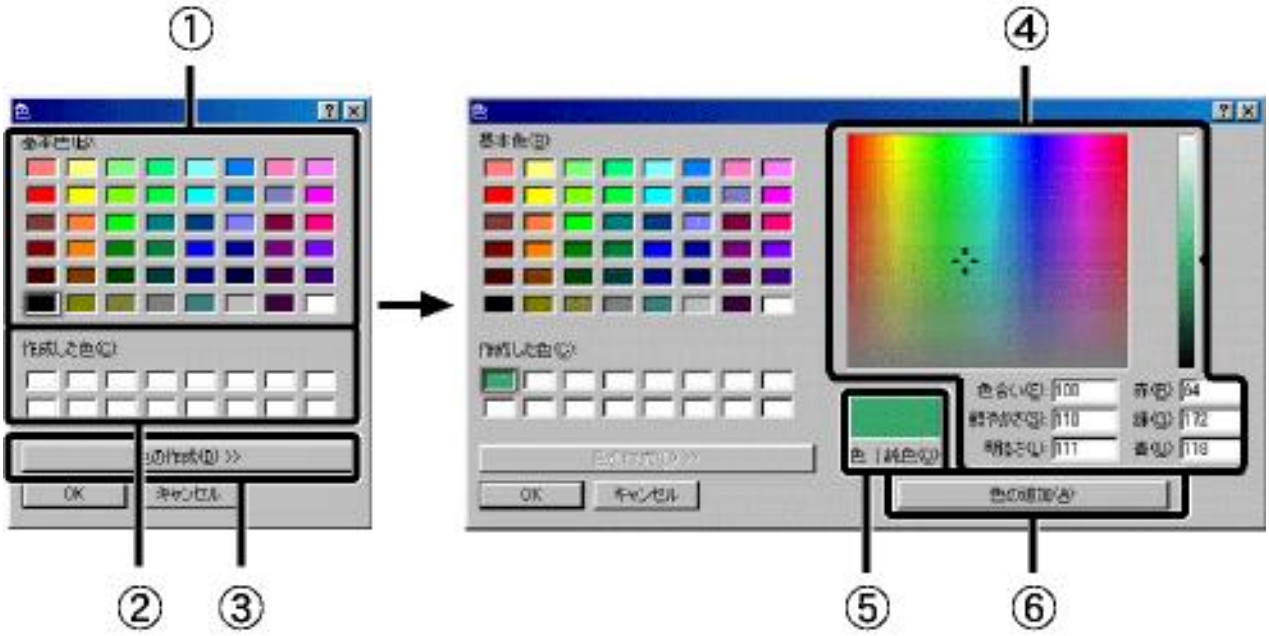
■ サムネールの選択
ファイルサムネール一覧ウィンドウなどに表示されるサムネールを選択する方法は以下の通りです。

- 一つだけサムネールを選択
  選択したいサムネールをクリックします。
- 連続したサムネールを選択
  キーボードの［Shift］キーを押しながら、選択したいサムネールの最初と最後をクリックします。
- 任意のサムネールを選択
  キーボードの［Ctrl］キーを押しながら、選択したい複数のサムネールを任意にクリックします。
- 全てのサムネールを選択
  キーボードの［Ctrl］キーと［A］キーを押します。

■ オブジェクトの選択
レイアウト作成モードのレイアウトに配置したオブジェクトなどの選択する方法は以下の通りです。

- 一つだけオブジェクトを選択
  選択したいオブジェクトをクリックします。
- 任意のオブジェクトを選択
  キーボードの［Ctrl］キーを押しながら、選択したい複数のオブジェクトを任意にクリックします。
- 全てのオブジェクトを選択
  キーボードの［Ctrl］キーと［A］キーを押します。
- オブジェクトの選択を解除
  選択しているオブジェクト以外をクリックします。

■ 色の選択
色を選択する場合は、基本的に以下のようなダイアログが表示されます。



①	クリックすることで、その色を指定します。
②	クリックすることで、その色を指定します。パレットには、④で作成したユーザー定義色が表示されます。
③	クリックすることで、④ ⑤ ⑥ が表示されます。
④	ウィンドウをクリック、数値を入力などで、任意のユーザー定義色を指定します。
⑤	④で指定した色、または① ②で指定した色が表示されます。
⑥	クリックすることで、④で指定した色を②に追加します。②でパレットを選択している場合は、その選択しているパレットを④で指定した色に上書きします。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

1-4 基本用語

ImageMixerでの基本用語

■ IEEE1394
アイトリプルイー1394と呼ばれる規格です。最大転送速度が400Mbpsと高速インターフェースなことが大きな特長です。主に、デジタルビデオカメラの外部出力端子（DV端子）やハードディスクなどのインターフェースとして採用されています。Windowsではi.LINK（アイリンク）、MacintoshではFireWire（ファイヤーワイヤー）とも呼ばれています。

■ MPEG
Moving Picture Experts Groupの略で、デジタル動画とハイファイオーディオに関する情報圧縮方式の国際標準規格です。MPEG-1はVideoCDの再生方式に使用されるなどVHSテープ並みの品質を実現しています。DV（デジタルビデオ）形式に比べ、小さなファイルサイズで長時間の録画が可能という特長を持ち、インターネットなどの動作形式としても標準的になりつつあります。MPEG-2は高画質、高品質を実現し、DVDやデジタル衛星放送などに使用されています。

■ Exif
JEIDA（社団法人日本電子工業振興協会）で規格化されたJPEG、TIFFをベースとしたデジタルカメラ用画像のファイルフォーマットです。簡単に言えば、通常のJPEGやTIFFの画像に情報を付加したファイルです。

■ MAPI
Messaging Application Programming Interface（メッセージングアプリケーションプログラミングインターフェース）の略で、Microsoft社が提唱している電子メールの標準API（アプリケーションプログラミングインターフェース）仕様です。通常のアプリケーションソフトでは、提携したプログラム内でしか動作できない（例えば、ImageMixerはImageMixer内でしかデータのやり取りができない）のですが、MAPIを使用することで、他のアプリケーションの一部の機能を使用することができます。ImageMixerとメールソフトの関係が成り立つのは、MAPIを使用しているためです。MAPI対応のメールソフトをご使用の場合は、作成したレイアウトをメールで送信することができます。
MAPI対応のメールソフトは、Microsoft Outlook Express、Microsoft Exchange、Microsoft Outlook97/2000、Eudora Proなどがありますが、対応の可否などの詳細はメールソフトのメーカーへお問い合わせください。
Outlook Expressのバージョンによっては、Outlook Expressを標準のMAPIクライアントとして設定する必要があります。 設定方法については、Outlook Expressのマニュアルをご参考ください。

■ 入力
入力モードで動画や静止画、サウンドを取り込む、またはファイルをコピーしてあらかじめ決められたフォルダに保存する処理を言います。入力モードで入力の処理を行うことで、同時に

アルバムに登録します。

■ サムネール
アルバムにファイルを登録することで表示される小さな画像のことを言います。
ファイル名やサイズ、保存先など登録ファイルのさまざまな情報と、登録したファイルを一意に識別できるようにこの画像を作成して、アルバムファイルに保存しています。
Windowsでいうショートカットのようなものです。

■ 登録ファイル
アルバムに登録した動画ファイルや静止画ファイル、サウンドファイルのことを言います。登録ファイルの情報は、サムネールにリンクされています。

■ アルバムファイル
アルバムリストウィンドウなどに表示されるアルバムの元ファイルのことを言います。登録したサムネールの情報などが保存されています。

■ トリミング
不要な部分を取り除く作業のことを言います。

■ トランジション
前のシーンと次のシーンのつなぎ目をどのように重ね合わせるかの設定のことを言います。

■ テンプレート
ImageMixerであらかじめ用意している、レイアウト作成モードでレイアウトを作成するための静止画ファイルのことを言います。テンプレートボタンをクリックすることで表示することができ、レイアウトの背景画像などとして使用することができます。テンプレートのサイズ変更や編集は行えません。

■ カスタムテンプレート
レイアウト作成モードで作成して保存したレイアウトを言います。カスタムテンプレートボタンをクリックすることで表示することができます。

■ オブジェクト
レイアウト作成モードでレイアウトに配置した文字や図形、画像などそれぞれを言います。それらを文字オブジェクト、図形オブジェクト、画像オブジェクトと言います。

■コントロールポイント
レイアウト作成モードでレイアウトに配置したオブジェクトを選択、または画像編集などで選択した枠に表示される四隅の点のことを言います。

■ ブロック
コントロールポイントで囲まれる範囲のことを言います。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-1 入力モードについて

既存ファイルの入力、音楽CDやマイクなどのサウンド出力機器からの録音、DVD Handycamからの入力をサポートしています。
入力したファイルはアルバムに自動的に登録され、サムネールをダブルクリックすることでプレビューを表示し、入力したその場で確認することができます。

入力モードの起動

1. ImageMixerを起動します。
2. メインセレクタの［入力］ボタン をクリックして、入力モードを起動します。
3. 入力モードセレクタから目的に合わせてボタンをクリックします。
   クリックしたボタンの入力画面が表示されます。

入力モード画面

①	入力モードセレクタ	④ ⑤ ⑥ ⑦ のボタンで構成されています。 ボタンをクリックすることで、目的の入力モードを起動することができます。
②	アルバムリストウィンドウ	アルバムが一覧で表示されます。
③	ファイルサムネール一覧ウィンドウ	選択しているアルバムに登録されているファイルのサムネールが一覧で表示されます。入力モードによって、表示されない場合があります。

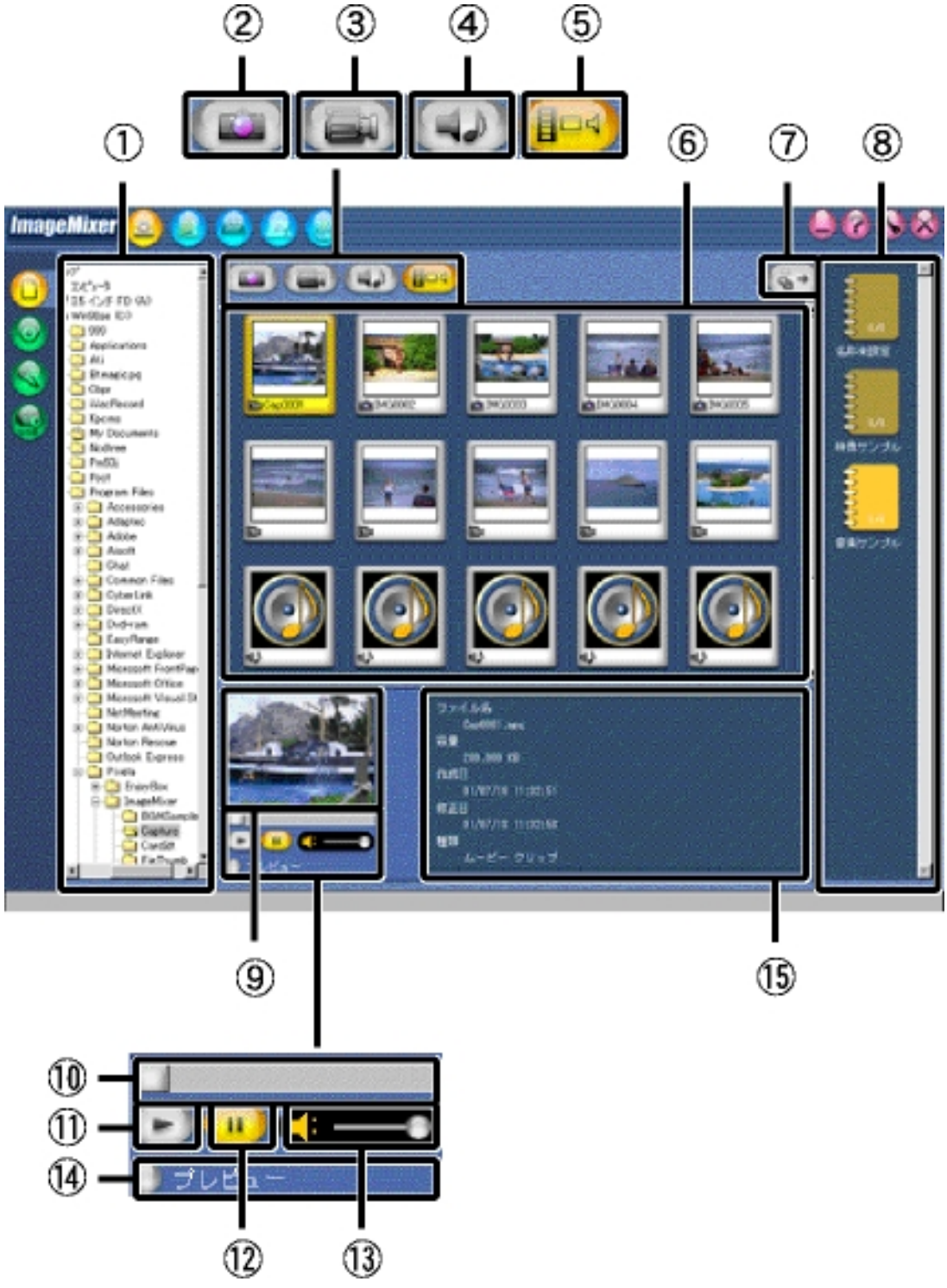
④	ファイル入力ボタン	クリックすることで、ファイル入力モードを起動します。
⑤	音楽CD入力ボタン	クリックすることで、音楽CD入力モードを起動します。
⑥	サウンド入力ボタン	クリックすることで、サウンド入力モードを起動します。
⑦	DVD Handycam入力ボタン	クリックすることで、DVD Handycam入力モードを起動します。

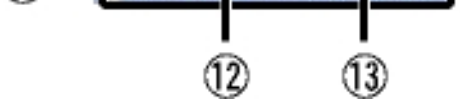
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-2-1 ファイル入力

ImageMixerでは、すでにパソコンやリムーバブルディスクに保存している静止画ファイルや動画ファイル、サウンドファイルをドラッグ＆ドロップするだけで入力し、アルバムに登録することができます。

ファイル入力画面





⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ は、ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールの登録ファイルが、静止画ファイル以外の時に表示されます。

①	フォルダリストウィンドウ	ハードディスクや接続されているリムーバブルディスク内のフォルダを階層で表示します。 標準のエクスプローラに似ています。
②	静止画表示ボタン	クリックすることで、フォルダリストウィンドウで選択しているフォルダにある静止画ファイルのサムネールのみ、ファイルサムネール一覧ウィンドウに表示します。
③	動画表示ボタン	クリックすることで、フォルダリストウィンドウで選択しているフォルダにある動画ファイルのサムネールのみ、ファイルサムネール一覧ウィンドウに表示します。
④	サウンド表示ボタン	クリックすることで、フォルダリストウィンドウで選択しているフォルダにあるサウンドファイルのサムネールのみ、ファイルサムネール一覧ウィンドウに表示します。
⑤	全て表示ボタン	クリックすることで、フォルダリストウィンドウで選択しているフォルダにある全てのファイルのサムネールを、ファイルサムネール一覧ウィンドウに表示します。
⑥	ファイルサムネール一覧ウィンドウ	フォルダリストウィンドウで選択しているフォルダ内のファイルのうち、アルバムに登録可能なファイルが一覧で表示されます。
⑦	入力ボタン	クリックすることで、ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールのファイルを保存先にコピーして、アルバムリストウィンドウで選択しているアルバムに登録します。
⑧	アルバムリストウィンドウ	アルバムが一覧で表示されます。
⑨	プレビューウィンドウ	ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールのファイルの内容を表示します。静止画ファイル以外の場合は、再生を行うこともできます。サウンドファイルの場合は表示されません。
⑩	再生スライダー	スライダーをドラッグすることで、再生する箇所を指定します。
⑪	再生ボタン	クリックすることで、再生を開始します。

⑫	静止ボタン	クリックすることで、再生を静止します。
⑬	音量調整	スライダーをドラッグすることで、音量を調整します。一番左は消音で、右になるほど音量が大きくなります。
⑭	プレビューON／OFFボタン	クリックすることで、ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールのファイルのプレビューのON／OFFを切り替えます。
⑮	情報表示パネル	ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールのファイルの情報を表示します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-2-2 ファイル入力

ファイルの入力手順

以下の手順で、ファイルの入力を行います。

1. フォルダリストウィンドウでフォルダ名またはボリューム名を選択します。
   選択したフォルダまたはボリュームにあるアルバムに登録可能なファイルがファイルサムネール一覧ウィンドウにサムネールで表示されます。 ⊞ をクリックすることでそのフォルダまたはボリュームを開くことが、 ⊟ をクリックすることで閉じることができます。

2. アルバムリストウィンドウのアルバムを選択します。
   ファイルを登録したいアルバムを選択します。

3. ファイルサムネール一覧ウィンドウのサムネールを選択します。

4. ［入力］ボタン をクリックします。
   手順2で選択したアルバムに手順3で選択したサムネールの元ファイルが登録されます。 この時、元ファイルの複製を作成して、環境設定で保存先に設定している場所に保存します。
   この操作は、以下のようにファイルサムネール一覧ウィンドウのサムネールをアルバムにドラッグ&ドロップすることで、同じ操作を行うことができます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-2-3 ファイル入力の環境設定

ファイル入力モードに関する環境設定を行います。

環境設定ダイアログ

ファイル入力モードであることをご確認の上、モードセレクトバーから［環境設定］ボタン をクリックして、下記の環境設定ダイアログを表示します。

①	入力ファイル名の先頭文字の設定
入力モードで入力するファイルにつける名前の先頭文字を入力して設定します。 例えば、ABCと入力した場合のファイル名は、キャプチャする順番に「ABC0001」「ABC0002」「ABC0003」となります。	
②	入力モード保存先の設定
入力モードでのファイルの保存先の設定を行います。 ［参照］ボタンをクリックして、新しい保存先として設定するフォルダを選択し［OK］ボタンをクリックすることで、保存先を変更することができます。	

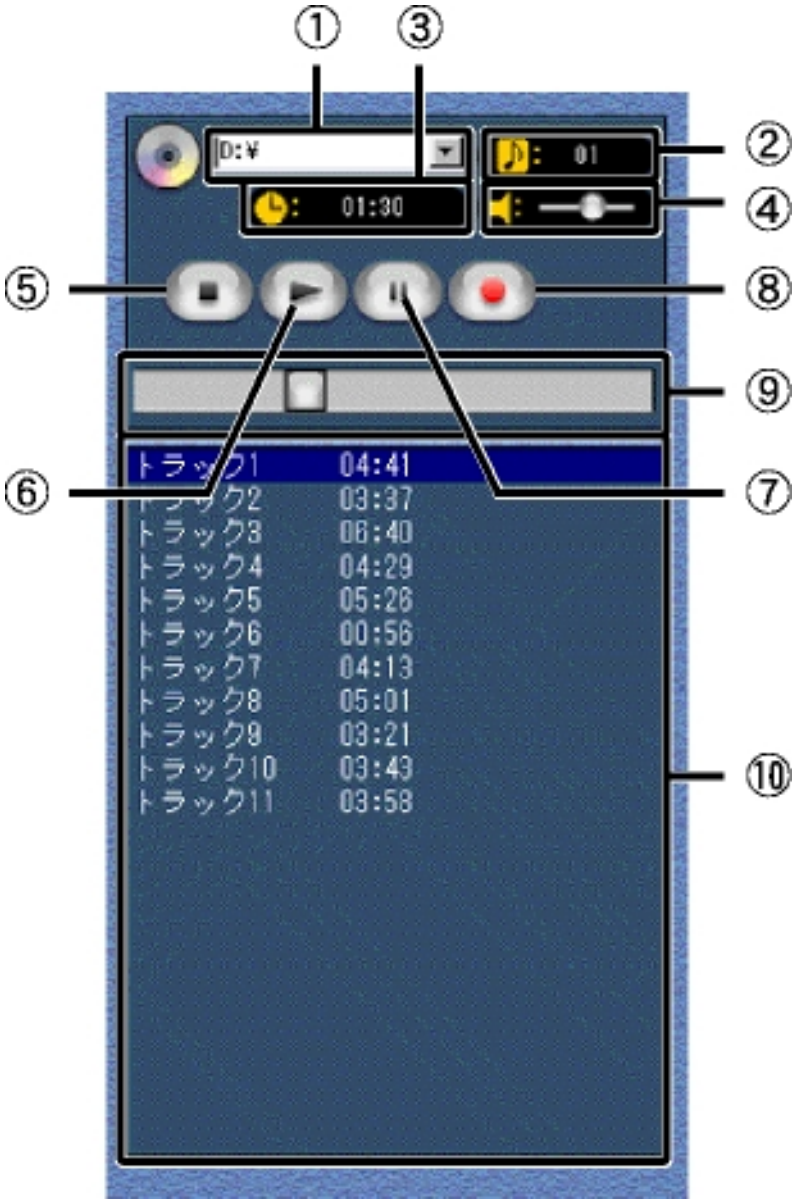
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-3-1 音楽CD入力

ImageMixerでは、CD-ROMドライブにセットした音楽CDからの録音をサポートしています。録音したサウンドファイルは、動画編集モードで映像に追加したり、再生することができます。

コントロールパネル

コントロールパネルでは、CD-ROMドライブにセットした音楽CDの再生操作や録音を行います。



①	CD-ROMドライブ選択メニュー	CD-ROMドライブのリストが表示されます。音楽CDをセットしたCD-ROMドライブを選択します。 環境設定の音楽CDの設定で［デジタル取り込み］にチェックが入っている場合はドライブ名で、チェックが入っていない場合はパスで表示されます。
②	トラック番号表示	再生しているトラック番号を表示します。
③	時間表示	再生時間を表示します。
④	音量調整	スライダーをドラッグすることで、再生音量を調整します。一番左は消音で、右になるほど音量は大きくなります。
⑤	停止ボタン	クリックすることで、再生を停止します。
⑥	再生ボタン	クリックすることで、再生を開始します。
⑦	一時停止ボタン	クリックすることで、再生している箇所で一時的に停止します。
⑧	録音ボタン	クリックすることで、録音を開始します。録音中は停止ボタンに変わります。
⑨	再生スライダー	スライダーをドラッグすることで、再生する箇所を指定します。
⑩	トラックリストウィンドウ	セットしている音楽CDのトラックリストを表示します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-3-2 音楽CD入力

ご注意

音楽CD入力に際して、以下の点にご注意ください。

■ アナログ方式で録音する場合

- 外付型CD-ROMドライブにセットした音楽CDからの録音は行えません。
- CD-ROMドライブとサウンドボード経由で音が出力されている（CD-ROMドライブのオーディオ出力がサウンドボードのCD-INに接続されている）必要があります。音楽CDの音質と比べると多少劣化します。
- サウンドレコーダーなど、ウェーブフォームオーディオデバイスを使用しているアプリケーションがすでに起動している場合は、録音できません。
- すでに他のCDプレーヤーが起動している場合は、音楽CDのトラックリストが表示されない、ImageMixerが正常に動作しないなど不具合が発生する場合がありますので、その他のCDプレーヤーは終了してください。
- ［コントロールパネル］-［マルチメディア］のプロパティ-［音楽CD］で、［このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする］にチェックが入っていると、録音できない場合があります。チェックを外してください。

■ デジタル方式で録音する場合

- CD-ROMドライブによっては録音できない場合があります。その場合は、アナログ方式で録音してください。

録音する方式は環境設定の音楽CDの設定で変更します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-3-3 音楽CD入力

音楽CDの入力手順

以下の手順で、CD-ROMにセットした音楽CDから録音します。録音したサウンドファイルは、1分間で約10MBになります。

1. 音楽CDをCD-ROMドライブにセットします。
   セット後、自動的に再生される場合は、起動したCDプレーヤーを終了してください。

2. アルバムリストウィンドウのアルバムを選択します。
   録音したサウンドファイルを登録したいアルバムを選択します。

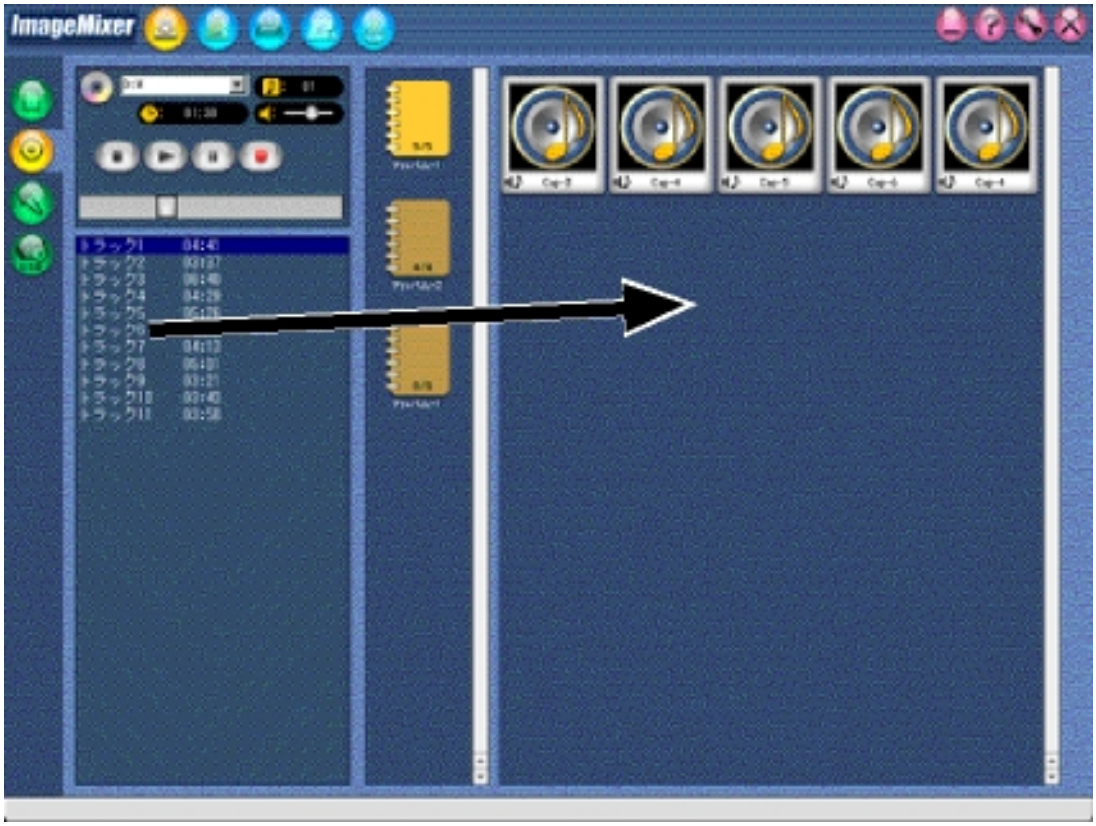
3. 音楽CDをセットしたCD-ROMドライブをCD-ROMドライブ選択メニューから選択します。

4. トラックリストウィンドウから再生するトラックを選択します。

5. ［再生］ボタン をクリックします。
   手順4で選択したトラックが再生されます。トラックリストウィンドウのトラックをダブルクリックすることで同じ操作を行えます。
   必要に応じて、停止、一時停止してください。一時停止中に再生すると、一時停止していた箇所から再生します。

6. 録音を開始する箇所で［録音］ボタン をクリックします。
   録音が開始されます。
   再生中ではなくても、録音ボタンをクリックすることで録音が開始されます。

7. 録音を終了する箇所で［停止］ボタン をクリックします。
   録音が停止されます。PCM形式・サンプリングレート：44.1KHz・ビットレート：16ビット・ステレオの品質でWAVE形式ファイルが作成され、環境設定で保存先に設定している場所に保存されると同時に、手順2で選択したアルバムに自動的に登録されます。録音したサウンドファイルは、そのサムネールをダブルクリックすることでプレビューを表示して確認することができます。



Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-3-4 音楽CD入力

トラブル

■ サウンドファイルが取り込めない場合（アナログ方式）
ご注意をご参照ください。
ImageMixerだけではなく、サウンドレコーダーでの録音もできない場合は、ドライバソフトの不具合やドライブとサウンドボードの接続に不具合が発生しているなどの根本的な問題が考えられますので、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

■ トラックリストが表示されない場合
トラックリストが表示されない場合は、選択しているCD-ROMドライブが間違っている、セットしたCD-ROMが音楽CDではない、CD-ROMドライブが正常に動作していないなどが考えられますので、CD-ROMドライブおよびセットした音楽CDをご確認ください。

■ サウンドファイルは作成されているのに再生ができない場合
スピーカー（CDオーディオ）の音量は小さくないですか？
ImageMixerの音量調整は、スピーカーの音量を調整するものではありません。
タスクバーのスピーカーアイコンを右クリックしてプロパティを表示し、［録音］のボリュームを調節して、録音し直してください。
設定の方法は、ご使用のパソコンなど環境により異なりますので、パソコンメーカーまたはサウンドボードメーカーへお問い合わせください。

■ 録音したサウンドファイルにノイズが入る・音飛びしている場合（アナログ方式）
CDオーディオの録音レベルが高すぎませんか？
サウンドファイルは作成されているのに再生ができない場合をご参照ください。
また、録音中はなるべく他の操作を行わないでください。

■ 録音したサウンドファイルが音飛びしている場合（アナログ方式）
ご使用のパソコン環境をご確認ください。
ご使用のパソコンのスペック（性能）が低い場合は、音飛びが発生する場合があります。他のアプリケーションや常駐ソフト（常に起動しているソフト）などを終了し、CPUやハードディスクの負荷をできるだけ少なくすることをお勧めします。

■ 録音を開始した箇所から録音ができない（遅れて録音される）
［録音］ボタンをクリックすると録音が開始されますが、再生処理のためのタイムラグがあるため、必ずしもその位置から録音されるとは限りません。録音したい箇所の少し前から録音を開始することをお勧めします。 動画編集モードで使用する場合は、不要な部分をカットすることができます。

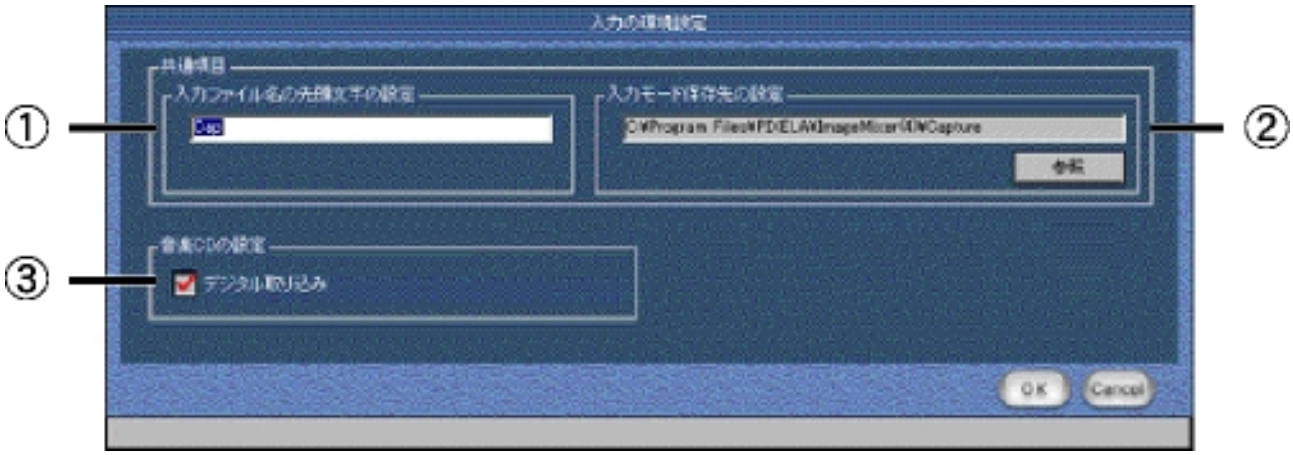
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-3-5 音楽CD入力の環境設定

音楽CD入力モードに関する環境設定を行います。

環境設定ダイアログ

音楽CD入力モードであることをご確認の上、モードセレクトバーから［環境設定］ボタン をクリックして、下記の環境設定ダイアログを表示します。



①	入力ファイル名の先頭文字の設定
入力モードで入力するファイル名の先頭文字を入力して設定します。 例えば、ABCと入力した場合にキャプチャしたファイル名は、キャプチャする順番に「ABC0001」「ABC0002」「ABC0003」となります。	
②	入力モード保存先の設定
キャプチャしたファイルなど、入力モードでの保存先の設定を行います。 ［参照］ボタンをクリックして、新しい保存先として設定するフォルダを選択し［OK］ボタンをクリックすることで、保存先を変更することができます。	
③	音楽CDの設定

音楽CD入力モードの設定を行います。

- デジタル取り込み
  チェックを入れることで、セットした音楽CDからデジタル方式で録音できます。
  チェックを外すことで、アナログ方式で録音します。

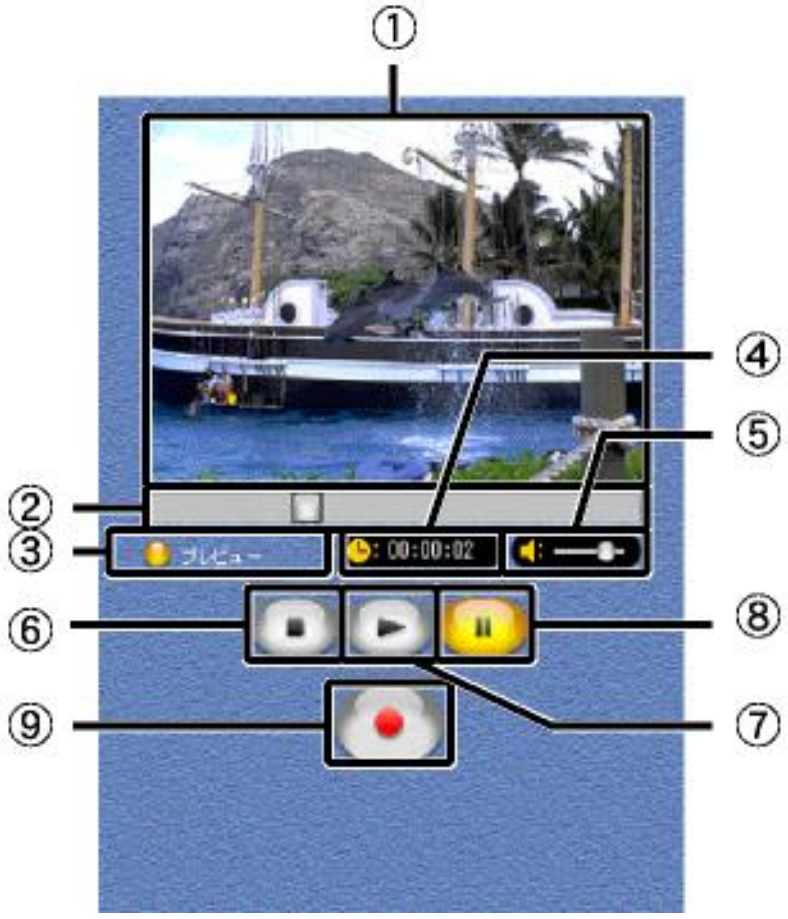
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-4-1 サウンド入力

ImageMixerでは、サウンド（マイク）入力端子に接続されたマイクやサウンド出力機器から、効果音やナレーションなどをサウンドファイルとして録音することができます。録音したサウンドファイルは、再生したり、動画編集モードで映像に追加することができます。

コントロールパネル

コントロールパネルでは、サウンド（マイク）入力端子に接続されたマイクやサウンド出力機器からの再生操作や録音を行います。



①	プレビューウィンドウ	ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールのファイルを表示します。
②	再生スライダー	スライダーをドラッグすることで、再生する箇所を指定します。

③	プレビューON／OFFボタン	クリックすることで、ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールのファイルのプレビューのON／OFFを切り替えます。
④	時間表示	動画ファイルの再生時間を表示します。静止画ファイル以外をプレビューしている時に表示されます。
⑤	音量調整	スライダーをドラッグすることで、映像の音量を調整します。一番左は消音で、右になるほど音量は大きくなります。
⑥	停止ボタン	クリックすることで、再生を停止します。
⑦	再生ボタン	クリックすることで、再生を開始します。
⑧	一時静止ボタン	クリックすることで、再生している箇所で一時的に静止します。
⑨	録音ボタン	クリックすることで、録音を開始します。録音中は停止ボタンに変わります。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-4-2 サウンド入力

サウンドの入力手順

以下の手順で、マイクやサウンド出力機器から録音します。録音したサウンドファイルは、1分間で約10MBになります。

1. パソコンのサウンド（マイク）入力端子にマイクやサウンド出力機器を接続します。
2. アルバムリストウィンドウのアルバムを選択します。
   録音したサウンドファイルを登録したいアルバムを選択します。
3. ［録音］ボタン をクリックします。
   録音が開始されます。
4. ［停止］ボタン をクリックします。
   録音が停止されます。PCM形式・サンプリングレート：44.1KHz・ビットレート：16ビット・ステレオの品質でWAVE形式ファイルが作成され、環境設定で保存先に設定している場所に保存されると同時に、手順2で選択したアルバムに自動的に登録されます。録音したサウンドファイルは、そのサムネールをダブルクリックすることでプレビューを表示して確認することができます。

映像を確認しながら入力

以下の手順で、映像を確認しながらマイクやサウンド出力機器から録音します。映像を確認しながらナレーションを入れたり、BGMを作成するのに便利な機能です。録音したサウンドファイルは、動画編集モードで動画ファイルに追加することができます。

1. パソコンのサウンド（マイク）入力端子にマイクやサウンド出力機器を接続します。
2. ファイルサムネール一覧ウィンドウに表示されているファイルのサムネールを選択します。
   必要に応じて、アルバムリストウィンドウのアルバムを切り替えてください。
3. プレビューON／OFFボタンをクリックします。
   プレビューウィンドウに手順2で選択したファイルが表示されます。
4. 音量調整で消音にします。
   消音ではない場合は、手順2で選択したファイルのサウンドも再生されるので、マイクから録音する場

合は、同時に録音される場合があります。

5. アルバムリストウィンドウのアルバムを選択します。
   録音したサウンドファイルを登録したいアルバムを選択します。

6. ［再生］ボタン をクリックします。
   手順2で選択したファイルが再生されます。
   必要に応じて、停止、一時静止してください。一時静止中に再生すると、一時静止していた箇所から再生します。

7. 録音を開始する箇所で［録音］ボタン をクリックします。
   録音が開始されます。再生される映像を確認しながら録音を行います。
   再生中ではなくても、録音ボタンをクリックすることで録音が開始されます。

8. 録音を終了する箇所で［停止］ボタン をクリックします。
   録音が停止されます。PCM形式・サンプリングレート：44.1KHz・ビットレート：16ビット・ステレオの品質でWAVE形式ファイルが作成され、環境設定で保存先に設定している場所に保存されると同時に、手順5で選択したアルバムに自動的に登録されます。録音したサウンドファイルは、そのサムネールをダブルクリックすることでプレビューを表示して確認することができます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-4-3 サウンド入力

トラブル

■ サウンドファイルは作成されているのに再生ができない場合
スピーカー（マイク）の音量は小さくないですか？
ImageMixerの音量調整は、スピーカーの音量を調整するものではありません。
タスクバーのスピーカーアイコンを右クリックして
プロパティを表示し、［録音］のボリュームを調節
して、録音し直してください。
設定の方法は、ご使用のパソコンなど環境により異
なりますので、パソコンメーカーまたはサウンドボードメーカーへお問い合わせください。

■ 録音したサウンドファイルにノイズが入る・音飛びしている場合
マイクの録音レベルが高すぎませんか？
サウンドファイルは作成されているのに再生ができない場合をご参照ください。
また、録音中はなるべく他の操作を行わないでください。

■ 録音したサウンドファイルが音飛びしている場合
ご使用のパソコン環境をご確認ください。
ご使用のパソコンのスペック（性能）が低い場合は、音飛びが発生する場合があります。他のアプリケーションや常駐ソフト（常に起動しているソフト） などを終了し、CPUやハードディスクの負荷をできるだけ少なくすることをお勧めします。

■ 内蔵マイクでの録音は、ノイズなどの点から推奨しておりません。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-4-4 サウンド入力の環境設定

サウンド入力モードに関する環境設定を行います。

環境設定ダイアログ

サウンド入力モードであることをご確認の上、モードセレクトバーから［環境設定］ボタン をクリックして、下記の環境設定ダイアログを表示します。

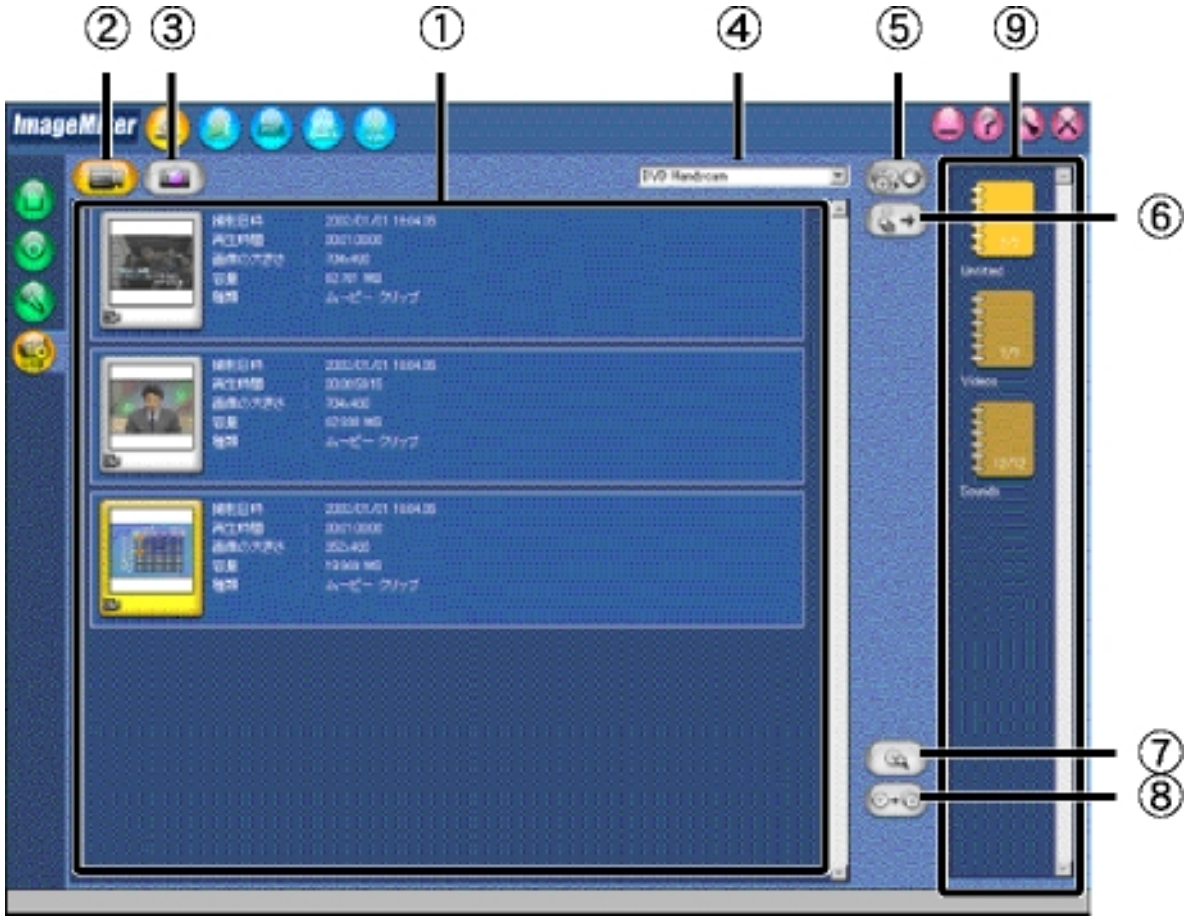
①	入力ファイル名の先頭文字の設定
入力モードで入力するファイル名の先頭文字を入力して設定します。 例えば、ABCと入力した場合にキャプチャしたファイル名は、キャプチャする順番に「ABC0001」「ABC0002」「ABC0003」となります。	
②	入力モード保存先の設定
キャプチャしたファイルなど、入力モードでの保存先の設定を行います。 ［参照］ボタンをクリックして、新しい保存先として設定するフォルダを選択し［OK］ボタンをクリックすることで、保存先を変更することができます。	

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-5-1 DVD Handycam入力

DVD Handycamで撮影した動画（MPEG-2）や静止画（JPEG）をパソコンに取り込んだり、DVD Handycamに挿入されているディスクのディスクイメージを作成することができます。

DVD Handycam入力画面



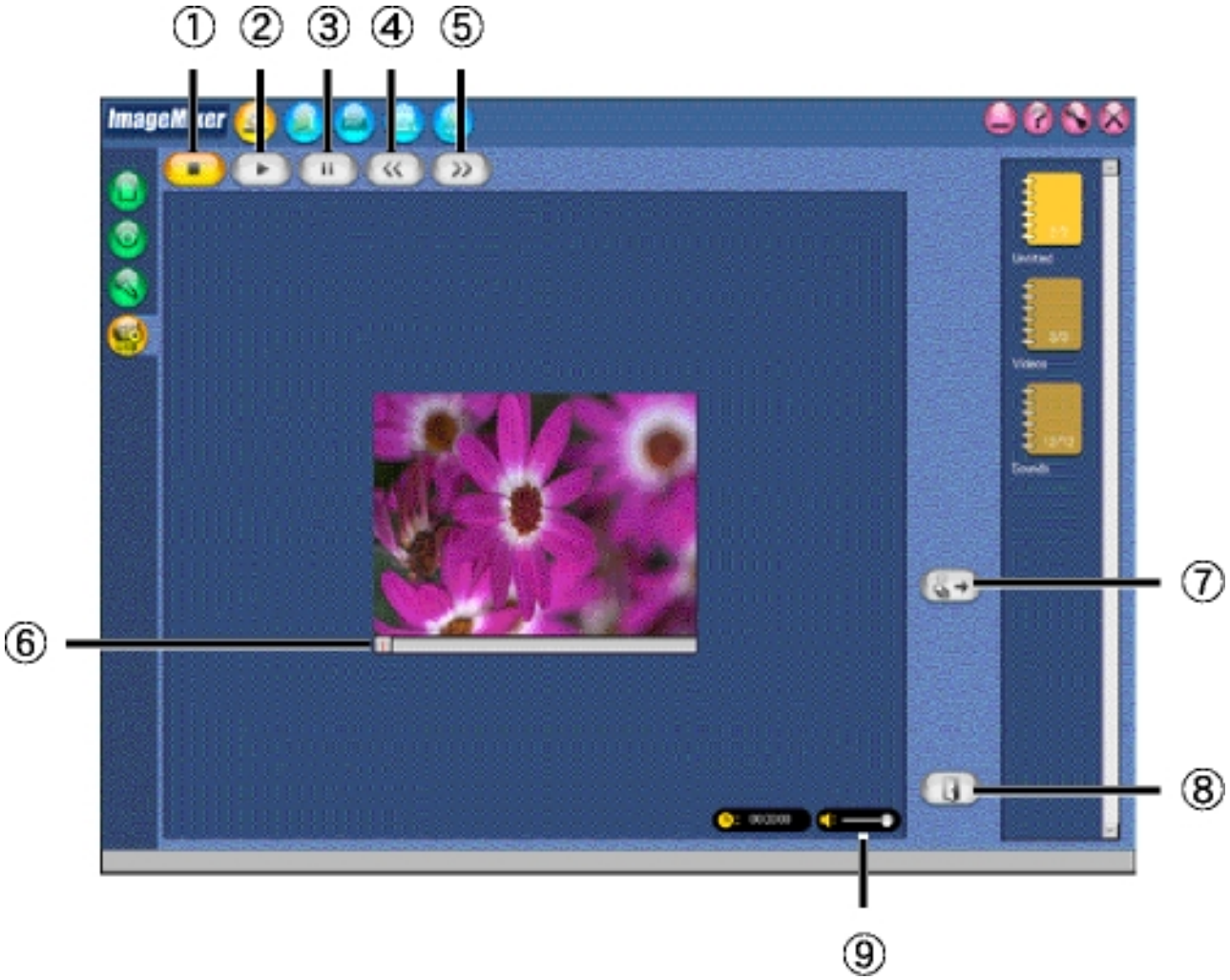
①	ファイルサムネール一覧ウィンドウ	DVD Handycamに挿入されているディスクの動画または静止画をサムネールで表示します。
②	動画表示ボタン	クリックすることで、動画ファイルのサムネールのみファイルサムネール一覧ウィンドウに表示します。
③	静止画表示ボタン	クリックすることで、静止画ファイルのサムネールのみファイルサムネール一覧ウィンドウに表示します。
④	デバイス選択メニュー	接続している機器のリストが表示されます。

⑤	更新ボタン	クリックすることで、DVD Handycamに挿入されているディスクを再読み込みします。
⑥	入力ボタン	クリックすることで、ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールのファイルを保存先にコピーして、アルバムリストウィンドウで選択しているアルバムに登録します。
⑦	プレビューボタン	クリックすることで、ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールのファイルをプレビューします。 動画ファイルの場合は、テンポラリファイルを作成しますので、作業用ディスクの容量が必要になります。
⑧	イメージ作成ボタン	クリックすることで、接続しているDVD Handycamに挿入しているディスクのディスクイメージを作成します。また、作成したディスクイメージをDVD Handycamに挿入しているディスクに書き込むことができますので、ディスクの複製を作成することができます。
⑨	アルバムリストウィンドウ	アルバムが一覧で表示されます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-5-2 DVD Handycam入力

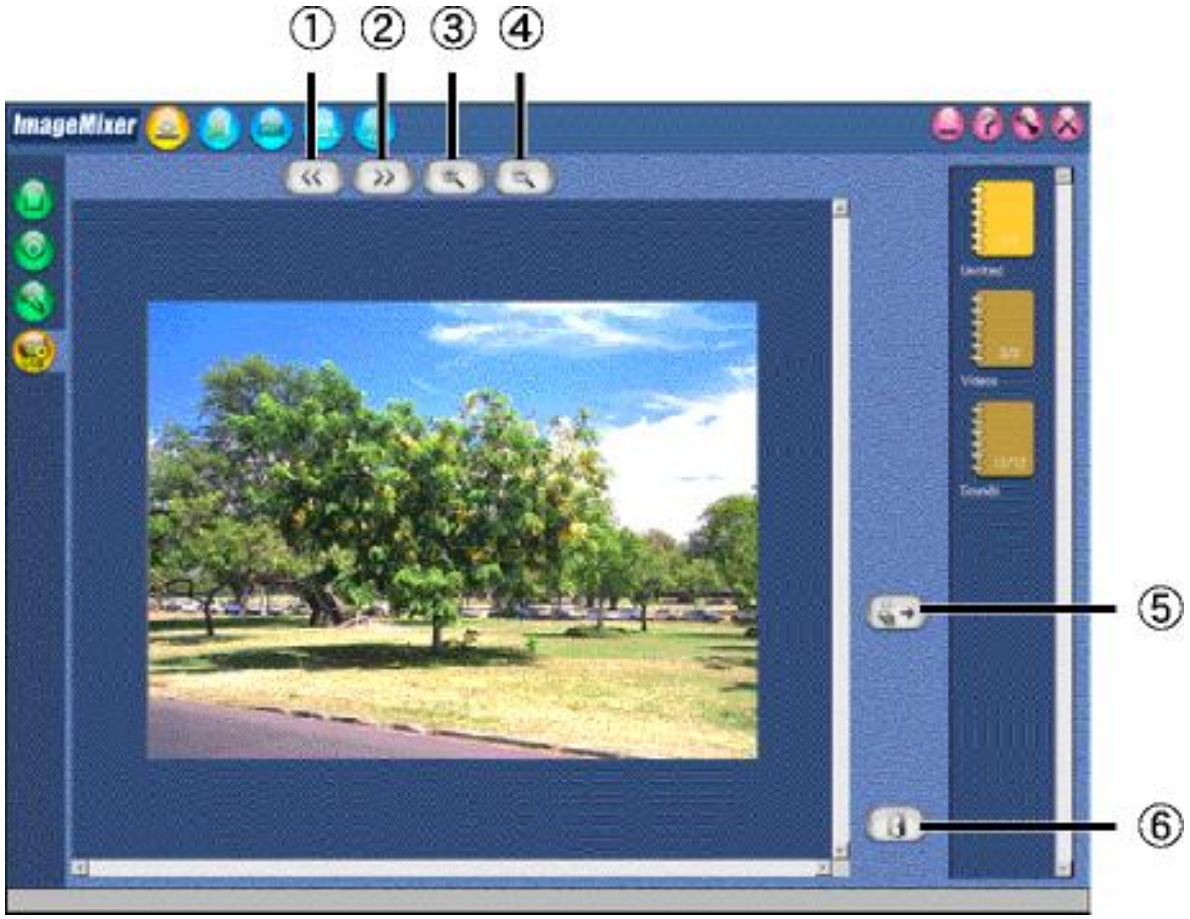
動画のプレビュー



①	停止ボタン	動画ファイルを停止します。
②	再生ボタン	動画ファイルを再生します。
③	一時停止ボタン	動画ファイルを一時停止します。
④	前を表示ボタン	一つ前の動画ファイルを表示します。
⑤	次を表示ボタン	一つ次の動画ファイルを表示します。
⑥	再生スライダー	スライダーをドラッグして再生位置を指定します。

⑦	入力ボタン	クリックすることで、表示されている動画ファイルを保存先にコピーして、アルバムリストウィンドウで選択しているアルバムに登録します。
⑧	閉じるボタン	クリックすることで、プレビューを閉じます。
⑨	音量調整	スライダーをドラッグすることで、再生音量を調整します。一番左は消音で、右になるほど音量は大きくなります。

静止画のプレビュー



①	前を表示ボタン	一つ前の静止画ファイルを表示します。
②	次を表示ボタン	一つ次の静止画ファイルを表示します。
③	拡大ボタン	静止画ファイルを拡大表示します。
④	縮小ボタン	静止画ファイルを縮小表示します。

⑤	入力ボタン	クリックすることで、表示されている静止画ファイルを保存先にコピーして、アルバムリストウィンドウで選択しているアルバムに登録します。
⑥	閉じるボタン	クリックすることで、プレビューを閉じます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-5-3 DVD Handycam入力

DVD Handycamからの入力手順

以下の手順で、接続しているDVD Handycamに挿入されているディスクから動画または静止画を取り込みます。

1. パソコンにDVD Handycamを接続します。
   接続するにはドライバをインストールする必要があります。DVD Handycamの接続やインストールについては付属の取扱説明書などをご参照ください。
2. デバイス選択メニューからDVD Handycamを選択します。
3. ［動画表示］ボタン、または［静止画表示］ボタンをクリックします。
4. アルバムリストウィンドウのアルバムを選択します。
5. ファイルサムネール一覧ウィンドウのサムネールを選択して、［入力］ボタンをクリックします。
   DVD Handycamに挿入されているディスクのファイルが保存されると同時に、選択したアルバムに登録されます。ファイルは、環境設定で設定している保存先に保存されます。

ディスクイメージの作成手順

以下の手順で、DVD Handycamに挿入されているディスクのディスクイメージを作成します。DVD Handycamのディスクを複製するのに最適な機能です。
ディスクイメージを作成するには、少なくても作成するディスク容量の2倍の空き容量が必要です。空き容量が極端に少ない場合などは、正常にディスクイメージを作成できない場合があります。

1. パソコンにDVD Handycamを接続します。
   接続するにはドライバをインストールする必要があります。DVD Handycamの接続やインストールについては付属の取扱説明書などをご参照ください。
2. デバイス選択メニューからDVD Handycamを選択します。
3. ［イメージ作成］ボタンをクリックします。
   ディスクイメージの作成を確認するメッセージが表示されますので、指示に従います。
4. 作成したディスクイメージでディスクを作成する場合は、メッセージに従いDVD Handycamにブランクディスクを挿入します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

2-5-4 DVD Handycam入力の環境設定

DVD Handycam入力モードに関する環境設定を行います。

環境設定ダイアログ

DVD Handycam入力モードであることをご確認の上、モードセレクトバーから［環境設定］ボタン をクリックして、下記の環境設定ダイアログを表示します。

①	入力ファイル名の先頭文字の設定
入力モードで入力するファイルにつける名前の先頭文字を入力して設定します。 例えば、ABCと入力した場合のファイル名は、キャプチャする順番に「ABC0001」「ABC0002」「ABC0003」となります。	
②	入力モード保存先の設定
入力モードでのファイルの保存先の設定を行います。 ［参照］ボタンをクリックして、新しい保存先として設定するフォルダを選択し［OK］ボタンをクリックすることで、保存先を変更することができます。	
③	作業フォルダの設定
DVD Handycam入力モードで作業するフォルダを指定します。空き容量が不足していると正常に動作しない場合がありますので、できるだけ空き容量の多いハードディスクを選択してください。	

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

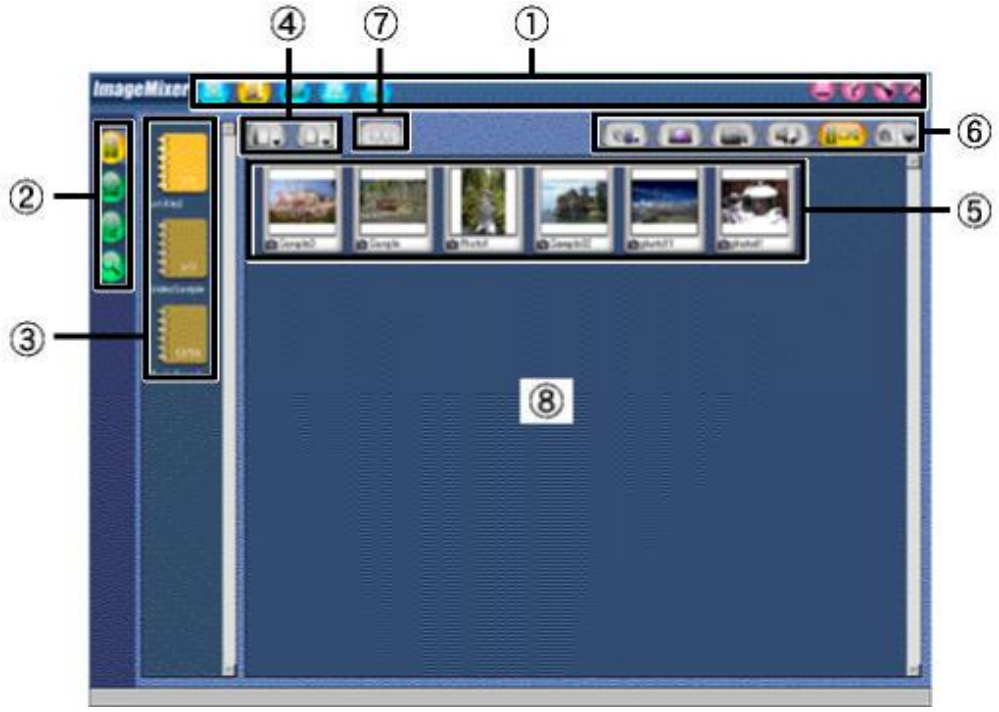
3-1 アルバム

取り込んだ静止画や動画ファイル、サウンドファイルなどをマルチメディア素材を登録し、管理することができます。またアルバムに登録した静止画ファイルを編集することもできます。

アルバムの起動

1. ImageMixerを起動します。
2. メインセレクタの［アルバム］ボタン をクリックして、アルバムモードを起動します。

各部の名称



①	モードセレクトバー	ImageMixerの各モードを切り替えるボタンが配置されています。
②	サムネール表示切り替えボタン	アルバムに登録されているファイルのサムネールの表示形式を切り替えます。
③	アルバムリストウィンドウ	登録されているアルバムや作成されたアルバムがリスト表示されます。
④	メニューボタン	アルバムメニューボタン、ファイルメニューボタンが配置されています。
⑤	サムネール	アルバムに登録されている動画・静止画・サウンドファイルなどを縮小表示します。
⑥	表示制御	並び替えを行うためのボタンが配置されています。

⑦	画像編集ボタン	選択されているサムネールの静止画ファイルを編集することができます。
⑧	ファイルサムネール一覧ウィンドウ	登録されている動画・静止画・サウンドファイルのサムネールを一覧で表示します。表示形式はサムネール表示切り替えボタンで切り替えることができます。

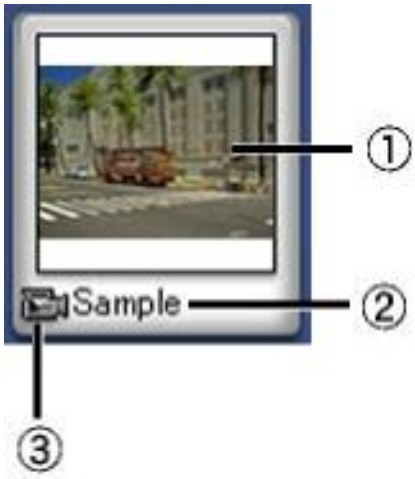
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

3-2 サムネールについて

アルバムの「ファイルサムネール一覧ウィンドウ」に表示される登録ファイルの縮小表示のことをサムネールと言います。

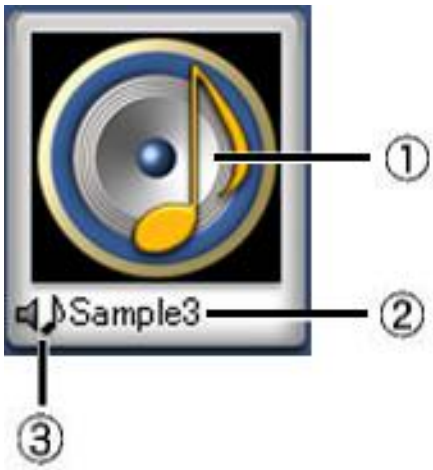
動画ファイルのサムネール

①	動画ファイルを縮小表示します。
②	動画ファイルのタイトルを表示します。
③	動画ファイルを示すアイコン表示です。



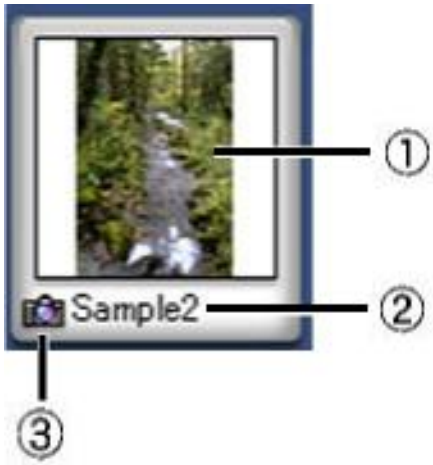
サウンドファイルのサムネール

①	サウンドファイルのサムネールです。
②	サウンドファイルのタイトルを表示します。
③	サウンドファイルを示すアイコン表示です。



静止画ファイルのサムネール

①	静止画ファイルを縮小表示します。
②	静止画ファイルのタイトルを表示します。
③	静止画ファイルを示すアイコン表示です。



Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

3-3 アルバムメニュー

アルバムを操作するためのメニューが用意されています。

アルバムの作成

新規にアルバムを作成します。このメニューを選択するとファイルを保存するダイアログが表示されます。作成するアルバムの保存場所を選択し、アルバムのファイル名を入力して［保存］をクリックすることで、アルバムリストウィンドウに作成したアルバムが表示されます。

アルバムの登録

アルバムの登録解除で登録からはずされたものや保存されているアルバムファイルを登録します。このメニューを選択するとファイルを開くダイアログが表示されます。登録するアルバムファイルを選択し、開くことでアルバムリストウィンドウに登録されます。

アルバムの登録をはずす

アルバムリストウィンドウから選択したアルバムの登録をはずします。 対象となるアルバムをアルバムリストウィンドウより選択し、このメニューを選択することでアルバムの登録がはずれます。

登録時の保存場所からアルバムファイルが削除または移動されている場合は、アルバムに「？」マークが表示されます。このような場合は、アルバムの登録をはずしてアルバムファイルを登録し直してください。

アルバム名の変更

アルバムリストウィンドウから選択されたアルバムの名前を変更します。対象となるアルバムをアルバムリストウィンドウより選択し、このメニューを選択するとアルバム名を変更するダイアログが表示され、アルバムの名前を入力し［OK］ボタンをクリックすることで名前が変更されます。

アルバムのバックアップ

選択されているアルバムのバックアップとして複製を作成します。 対象となるアルバムをアルバムリストウィンドウより選択し、このメニューを選択するとファイルを保存するダイアログが表示されます。アルバムの保存場所を選択し、アルバムのファイル名を入力して［保存］をクリックすることで、アルバムリストウィンドウに複製されたアルバムが追加表示されます。保存した場所にアルバム名と同名のフォルダが作成され、その中にアルバムファイルとバックアップした登録ファイルが保存されます。
バックアップフォルダにアルバムファイルと登録されているサムネールの登録元ファイルがそのままコピーされます。

アルバムの削除

選択されているアルバムを削除します。対象となるアルバムをアルバムリストウィンドウより選択し、このメニューを選択すると削除の確認ダイアログが表示されます。メッセージを確認後、削除する場合には［Yes］をクリックすることで削除されます。
アルバムに登録されているファイルは削除されずに、保存されている場所に残ります。

選択サムネールでアルバムを作成

現在選択されているサムネールのファイルだけが登録されたアルバムを作成します。
このメニューを選択するとファイルを保存するダイアログが表示されます。アルバムの保存場所を選択し、アルバムのファイル名を入力して［保存］をクリックすることで、作成されたアルバムがアルバムリストウィンドウに追加登録されます。

サムネールの登録

選択されているアルバムにファイルを登録します。このメニューを選択するとファイルを開くダイアログが表示されます。登録するファイルが保存されている場所を選択し、ファイルを開くことで選択されているアルバムにファイルが登録され「ファイルサムネール一覧ウィンドウ」にサムネールが表示されます。
入力モードのファイル入力とは異なり、ファイルのコピーは作成しません。登録ファイルの保存されている場所などの情報を登録します。
なお、登録時のサムネール名は登録したファイル名と同じですが、ImageMixerではサムネール名とファイル名は別に管理しているので、必ずしも一致するものではありません。サムネール名は情報表示のタイトルで、ファイル名はファイル名の変更で変更することができます。

フォルダでの登録

選択されているアルバムにファイルをフォルダごと登録します。このメニューを選択するとフォルダを選択するダイアログが表示されます。登録するファイルが保存されているフォルダを選択します。［OK］をクリックすることで選択されているアルバムにフォルダ内のファイルのサムネールが「ファイルサムネール一覧ウィンドウ」に表示されます。
●「階層フォルダの登録」にチェックを付けることでフォルダ内のサブフォルダも登録することができます。

登録サムネールのチェック

登録されているサムネールのファイルに何らかの変更を加えた場合に表示されているサムネールが変更されず、変更前の状態のままになっている場合があります。このような場合、このメニューをクリックすることで最新の状態にサムネールが更新されます。

アルバムに登録したファイルが登録時の保存場所から削除または移動されているなどで見つからない場合は、そのファイルのサムネールに「？」マークが表示されます。

サムネールの切り取り

選択されているサムネールを切り取ります。切り取ったサムネールは「サムネールの貼り付け」を行うことで、選択されているアルバムに貼り付けることができます。

サムネールのコピー

選択されているサムネールをコピーします。コピーしたサムネールは「サムネールの貼り付け」を行うことで、選択されているアルバムに貼り付けることができます。

サムネールの貼り付け

「サムネールの切り取り」や「サムネールのコピー」を行ったサムネールを選択されているアルバムに貼り付けます。
選択されているアルバムに同じサムネールがすでに存在する場合は貼り付けできません。

サムネールの削除

選択されているサムネールをアルバムから削除します。このメニューを選択すると確認ダイアログが表示されますので確認後、［Yes］ボタンをクリックします。
ディスク上に保存されている登録ファイルは削除されません。

サムネールの切り替え

ファイルサムネール一覧ウィンドウに表示されているサムネールの表示サイズを切り替えます。このメニューを選択するごとに表示サイズが変わります。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

3-4 ファイルメニュー

アルバムに登録されているファイルの操作を行うためのメニューが用意されています。

移動

選択されているサムネールの登録ファイルを移動します。このメニューを選択すると移動先を選択するダイアログが表示されます。選択されているサムネールの移動先を選択し［OK］または［選択］ボタンをクリックすることで選択されているサムネールの登録ファイルが移動します。

コピー

選択されているサムネールの登録ファイルをコピーします。このメニューを選択するとコピー先を選択するダイアログが表示されます。コピー先を選択し［OK］または［選択］ボタンをクリックすることで選択されているサムネールの登録ファイルがコピーされます。

削除

選択されているサムネールの登録ファイルを削除します。このメニューを選択すると削除の確認ダイアログが表示されます。［Yes］ボタンをクリックすることで選択されているサムネールの登録ファイルが削除されます。

プレビュー

選択されているサムネールの登録ファイルをプレビューします。

リンク先の表示

選択されているサムネールのリンク先を表示します。 対象となるサムネールをファイルサムネール一覧ウィンドウで選択し、このメニューを選択するとサムネールの登録ファイルが保存されている場所をWindows標準のエクスプローラで表示します。

ファイル名の変更

選択されているサムネールの登録ファイル名を変更します。対象となるサムネールをファイルサムネール一覧ウィンドウで選択し、このメニューを選択するとファイル名を入力するダイアログが表示されます。新しいファイル名を入力し［OK］ボタンをクリックするとファイル名が変更されます。

この操作ではサムネール名は変更されません。サムネール名を変更する場合は、情報表示でタイトルを変更してください。

画像編集

選択されているサムネールの静止画ファイルを編集することができます。
画像編集モードの終了時に、編集した内容の静止画ファイルが新たに作成され、そのファイルのサムネールが自動的にアルバムに登録されます。編集後の静止画ファイルは新たに作成されるため、編集する前の静止画ファイルはそのまま残っています。
画像編集モードを起動するだけでも同様に複製ファイルが作成されます。

動画への変換

選択されているサムネールの動画ファイルのファイル形式を変換し、追加登録します。

静止画への変換

選択されているサムネールの動画・静止画ファイルをExif形式、BMP形式、JPEG形式に変換します。

メール送信

メールソフトを自動的に起動し、ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールの登録ファイルを添付して、メールを送信することができます。
メール送信を行うためには、ご使用のメールソフトがMAPIに対応している必要があります。

メモリーカードへ書き出し

選択されているサムネールの登録ファイルをメモリーカードに書き出します。

MPEG2へ書き出し

選択されているサムネールの動画ファイルをMPEG-2形式に変換し、別フォルダに保存します。

印刷

選択されているサムネールの登録ファイルを印刷します。印刷する登録ファイルのサムネールを選択し、このメニューを選択すると印刷レイアウト設定ダイアログが表示されます。印刷レイアウトを選択し、用紙設定後に印刷を行います。

スライドショー

サムネールの動画・静止画ファイルのスライドショーを行います。 スライドショーは環境設定の設定内容に従い行われます。

①	再生ボタン	スライドショーを開始します。
②	一時停止ボタン	スライドショーを一時停止します。
③	戻るボタン	スライドショーを終了し、アルバムに戻ります。

壁紙 に適用

選択されているサムネールの登録ファイルをデスクトップの壁紙に設定します。このメニューを選択すると選択したサムネールの登録ファイルが壁紙として設定されます。

アクティブデスクトップが有効になっている場合は、壁紙に設定してもデスクトップに表示されません。アクティブデスクトップが無効になっていることをご確認ください。

スクリーンセーバーに使用

選択されているサムネールの動画ファイルをWindowsのスクリーンセーバーに設定します。このメニューを選択すると選択したサムネールがスクリーンセーバーとして設定されます。
スクリーンセーバーとして設定できるファイルは、MPEG、AVI形式となります。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

3-5 コンテクストメニュー

選択されているサムネールをマウスで右クリックすることで表示されるメニューのことをコンテクストメニューと言います。サムネールや登録ファイルの操作を行うためのメニューが用意されています。

サムネールのコピー

選択されているサムネールをコピーします。コピーしたサムネールは「サムネールの貼り付け」を行うことで、選択されているアルバムに貼り付けることができます。

サムネールの貼り付け

「サムネールの切り取り」や「サムネールのコピー」を行ったサムネールを選択されているアルバムに貼り付けます。
選択されているアルバムに同じサムネールがすでに存在する場合は貼り付けできません。

サムネールの削除

選択されているサムネールをアルバムから削除します。このメニューを選択すると確認ダイアログが表示されますので確認後、［Yes］ボタンをクリックします。
ディスク上に保存されている登録ファイルは削除されません。

プレビュー

選択されているサムネールの登録ファイルをプレビューします。

静止画への変換

選択されているサムネールの動画・静止画ファイルをExif形式、BMP形式、JPEG形式に変換します。

動画への変換

選択されているサムネールの動画ファイルのファイル形式を変換し、追加登録します。

印刷

選択されているサムネールの登録ファイルを印刷します。印刷する登録ファイルのサムネールを選択し、このメニューを選択すると印刷レイアウト設定ダイアログが表示されます。印刷レイアウトを選択し、用紙設定後に印刷を行います。

メール送信

メールソフトを自動的に起動し、ファイルサムネール一覧ウィンドウで選択しているサムネールの登録ファイルを添付して、メールを送信することができます。
メール送信を行うためには、ご使用のメールソフトがMAPIに対応している必要があります。

メモリーカードへ書き出し

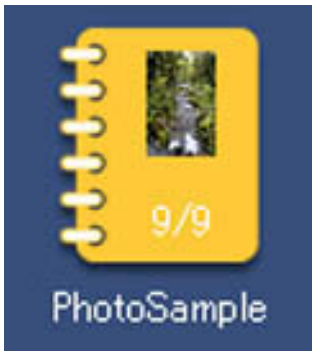
選択されているサムネールの登録ファイルをメモリーカードに書き出します。

MPEG2へ書き出し

選択されているサムネールの動画ファイルをMPEG-2形式に変換し、別フォルダに保存します。

アルバムの表題

選択されているサムネールの登録ファイルをアルバムの表題にします。表題にする登録ファイルのサムネールを選択し、このメニューを選択することで表題にすることができます。



画像編集

選択されているサムネールの静止画ファイルを編集することができます。
画像編集モードの終了時に、編集した内容の静止画ファイルが新たに作成され、そのファイルのサムネールが自動的にアルバムに登録されます。編集後の静止画ファイルは新たに作成されるため、編集する前の静止画ファイルはそのまま残っています。
画像編集モードを起動するだけでも同様に複製ファイルが作成されます。

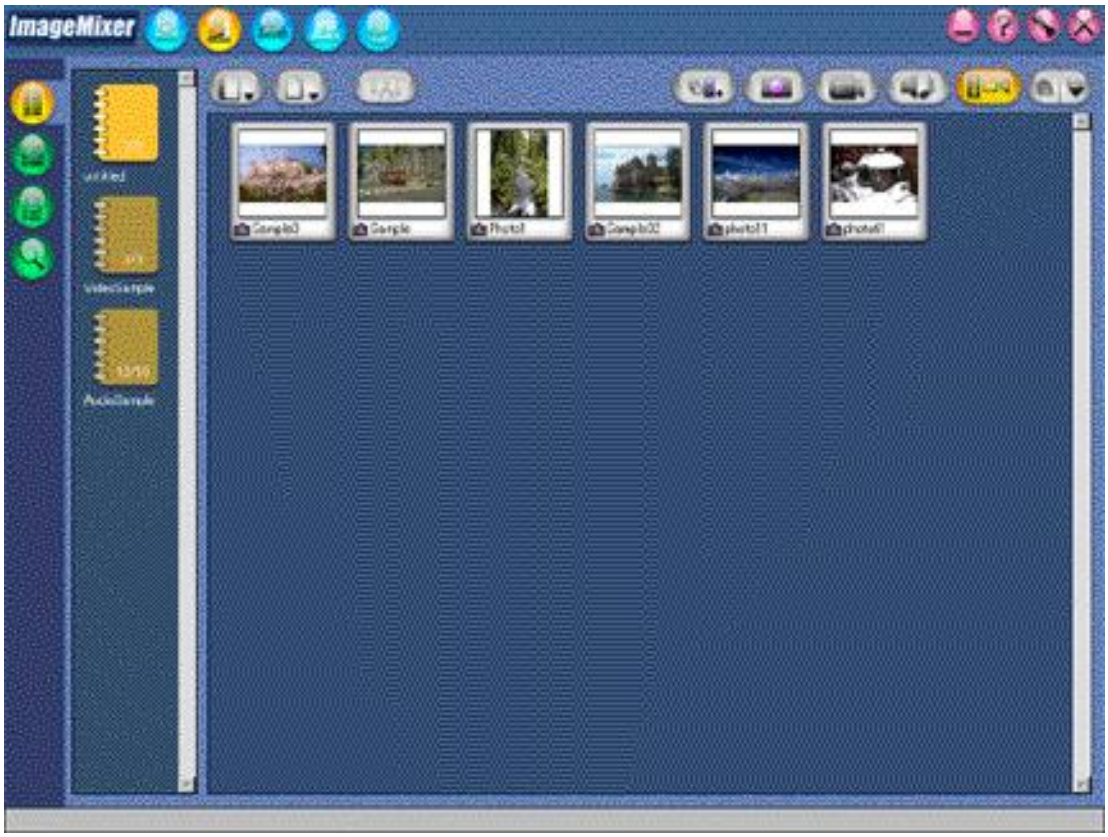
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

3-6 サムネールの表示形式

アルバムに登録されているサムネールを一覧表示します。このサムネールの表示形式を変更することができます。

サムネール表示

アルバムに登録されているサムネールを一覧形式で表示します。通常はこの形式で表示されています。

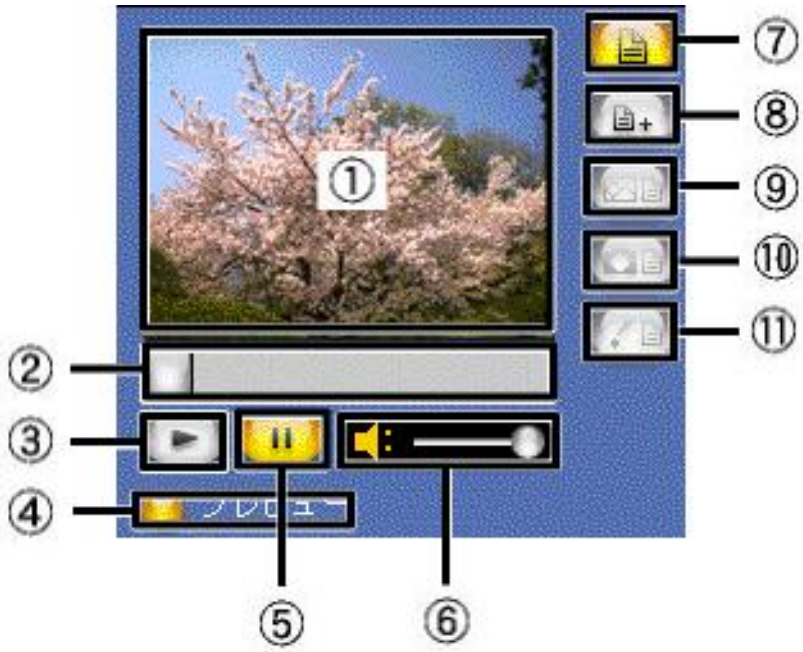


一覧表示

サムネール表示に加え、タイトルやファイルの種類などの情報も一覧で表示します。

情報表示

サムネールと詳細情報を表示します。詳細情報では［タイトル］［コメント］の入力や、プレビューの表示も可能です。



①	モニタパネル	選択されているサムネールのプレビューを表示します。サウンドファイルのサムネールを選択されている場合は表示されません。
②	再生スライダー	再生位置を表示します。スライダーをドラッグして移動できます。 静止画を選択した場合は表示されません。
③	再生ボタン	再生を開始します。静止画を選択された場合は表示されません。
④	プレビューON／OFF	プレビュー表示のON／OFFを切り替えます。
⑤	一時静止ボタン	再生位置で一時的に静止します。静止画を選択された場合は表示されません。
⑥	音量調整	スライダーをドラッグし、再生の音量を調整します。 静止画を選択された場合は表示されません。
⑦	ファイル情報表示ボタン	選択ファイルのファイル情報を表示します。［ファイル名］［種類］［場所］が表示され、［タイトル］［コメント］を入力できます。
⑧	ファイルサブ情報表示ボタン	選択ファイルの詳細な情報が表示されます。［画像の大きさ］［容量 ］［再生時間］［登録日］［更新日］［作成日］を表示します。

⑨	Exifファイル情報表示ボタン	選択ファイルのExifファイル情報を表示します。［画像タイトル］［撮影日時］［生成日時］［Exifバージョン］［画像サイズ］が表示されます。
⑩	Exif機器情報表示ボタン	選択ファイルの機器情報表示を表示します。［メーカー名］［モデル名］［レンズ開放F値］が表示されます。
⑪	Exif撮影情報表示ボタン	選択ファイルの撮影情報を表示します。［レンズ焦点距離］［シャッタースピード］［絞り値］［露出補正値］［露出プログラム］が表示されます。

検索表示

サムネールと検索パネルを表示します。検索モードでは条件による検索を行うことができます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

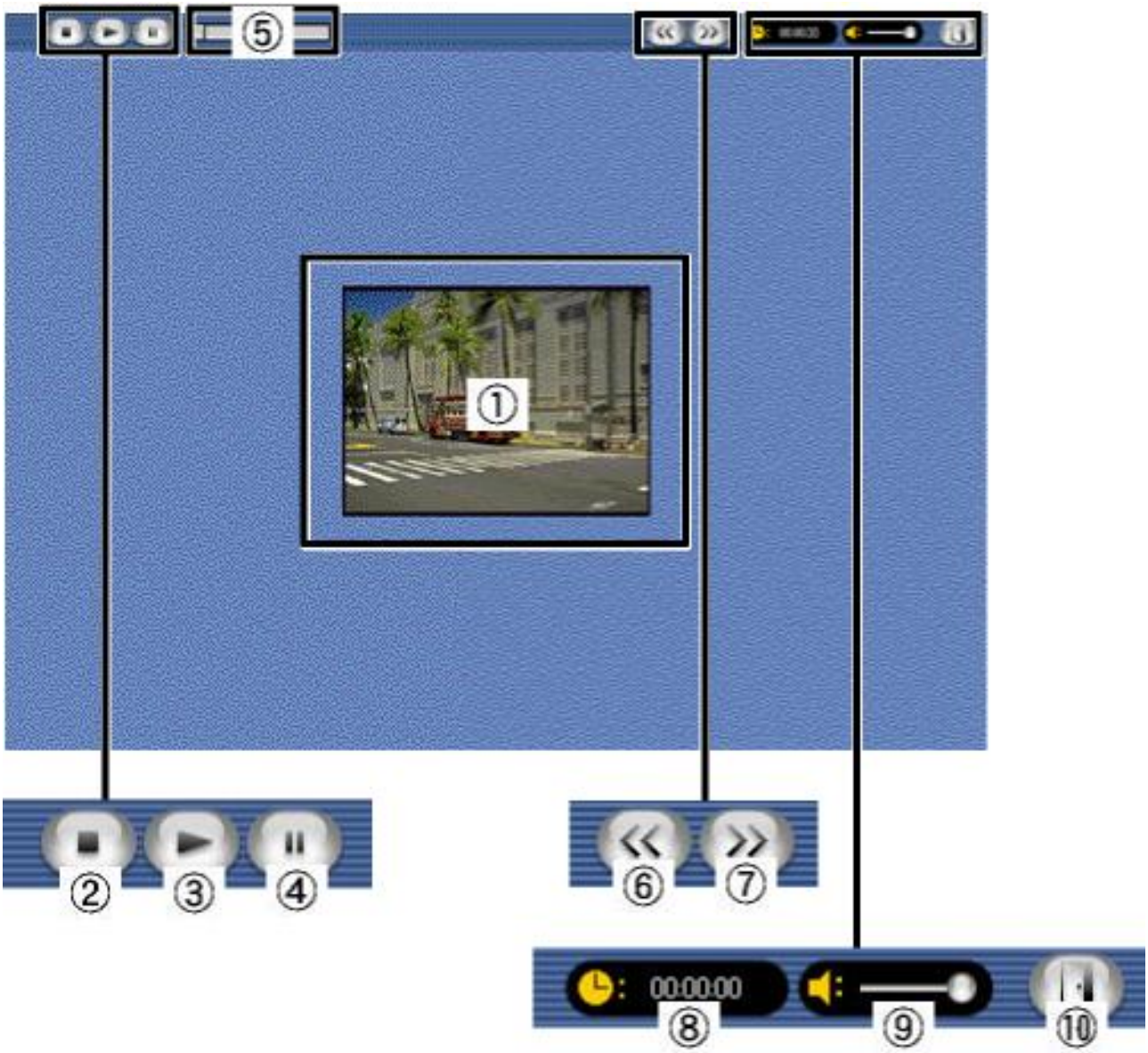
3-7 プレビュー表示

選択されているサムネールの登録ファイルをプレビューします。

1. サムネールをファイルサムネール一覧ウィンドウより選択します。
2. ファイルメニューボタンをクリックし、［プレビュー］を選択します。
   または、サムネールをマウスでダブルクリックすることでもプレビューを表示することができます。

動画、サウンドの場合

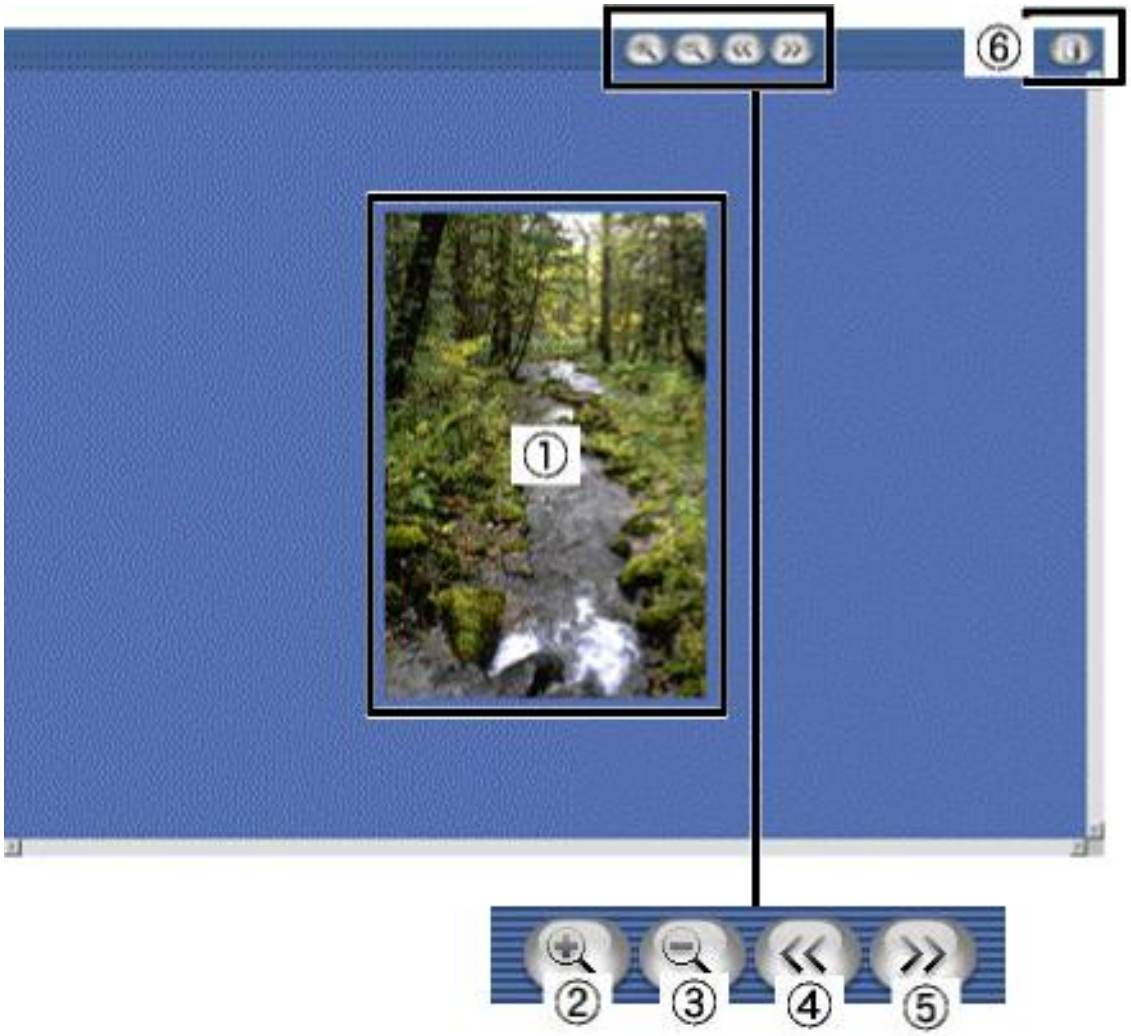
選択 されているサムネールの登録ファイルが動画の場合のプレビュー表示です。



①	プレビュー	選択されている動画を表示します。 サウンドファイルのプレビューの場合、スピーカーが表示されます。
②	停止ボタン	再生を停止します。
③	再生ボタン	再生を開始します。
④	一時静止ボタン	再生位置で一時的に静止します。
⑤	再生スライダー	再生位置を表示します。スライダーをドラッグして移動できます。
⑥	前を表示ボタン	現在表示しているプレビューの前を表示します。複数ファイルのプレビュー時に有効になります。
⑦	次を表示ボタン	現在表示しているプレビューの次を表示します。数ファイルのプレビュー時に有効になります。
⑧	時間表示	再生している動画、サウンドファイルの時間を表示します。
⑨	音量調整	スライダーをドラッグして再生の音量を調整します。
⑩	終了ボタン	プレビュー表示を終了します。

静止画の場合

選択 されているサムネールの登録ファイルが静止画の場合のプレビュー表示です。



①	プレビュー	選択されている静止画ファイルを表示します。
②	拡大ボタン	表示されている静止画ファイルをクリックするごとに拡大表示します。
③	縮小ボタン	表示されている静止画ファイルをクリックするごとに縮小表示します。
④	前を表示ボタン	現在表示しているプレビューの前を表示します。複数ファイルのプレビュー時に有効になります。
⑤	次を表示ボタン	現在表示しているプレビューの次を表示します。複数ファイルのプレビュー時に有効になります。
⑥	終了ボタン	プレビュー表示を終了します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

3-8 登録ファイルの変換

選択されている動画・静止画ファイルを他のファイル形式に変換し、追加登録します。

動画への変換

1. ファイルサムネール一覧ウィンドウより変換する動画ファイルのサムネールを選択し、ファイルメニューまたはコンテクストメニューより「動画への変換」を選択します。
動画への変換ダイアログが表示されます。

2. 変換する形式を選択し、［変換］ボタンをクリックします。

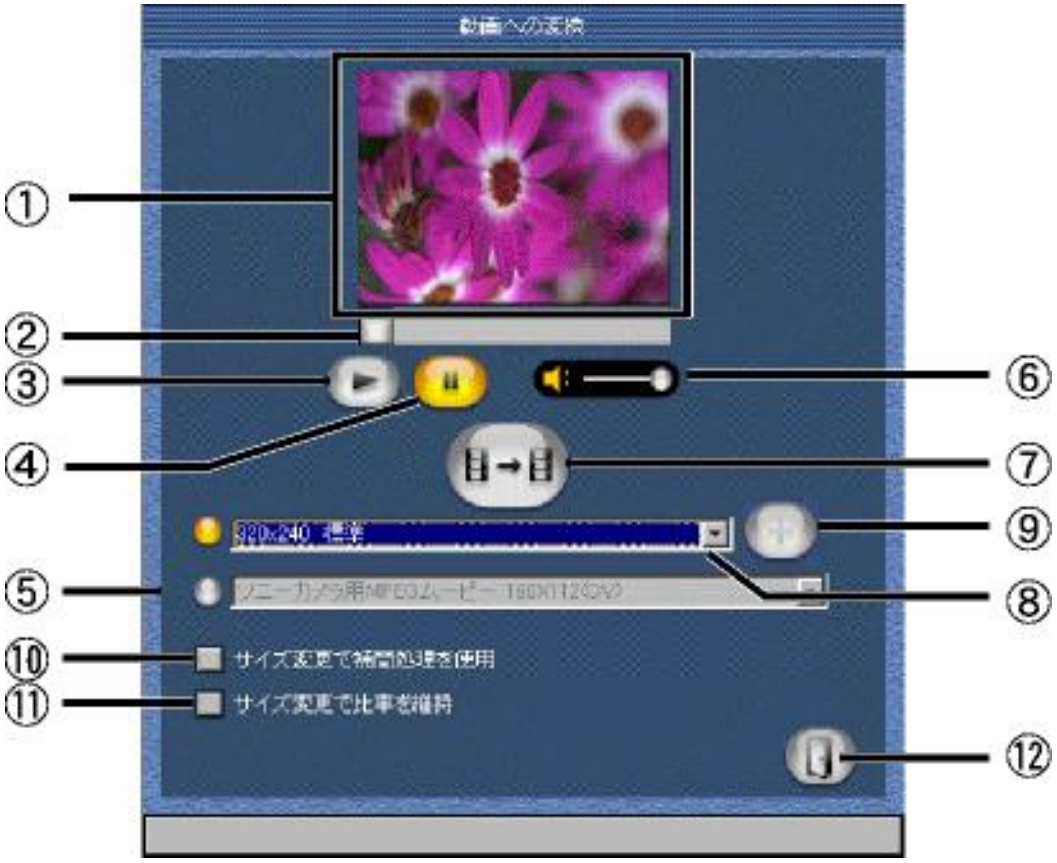
●ImageMixer MPEG
変換する品質を選択します。

［320×240］および［640×480］を選択すると、そのサイズの品質でMPEG-1形式のファイルに変換します。
［Video CD］を選択すると、Video CDに最適なファイルに変換します。NTSCは日本やアメリカなどで使用されるビデオ方式、PALは中国やヨーロッパなどで使用されるビデオ方式です。
［メール用］を選択すると、ファイル容量を小さくしたメール添付用ファイルに変換します。
［DV/AVI］を選択すると、AVI形式のファイルに変換します。
［カスタム］を選択すると、［+］ボタンをクリックして変換するファイルの設定を行えます。
［MPEG2］を選択すると、選択した解像度のMPEG-2形式のファイルに変換します。

Video CD作成で規格外のフレームサイズの動画ファイルを利用する場合にサイズ変更が必要になります。この場合に［サイズ変更で補間処理を使用］にチェックを入れることで画質が向上します。ただし、処理を使用しない場合に比べて変換に時間がかかりますので、必要に応じて設定してください。また、［サイズ変更で比率を維持］にチェックを入れることで、変換する動画ファイルの画角を維持したままサイズ変更を行います。このため比率を合わせるために必要に応じて黒背景を挿入します。

●ソニーカメラ用MPEGムービー
ソニーのカメラ用MPEGムービーで変換されます。［ソニーカメラ用MPEGムービー 160×112（QCIF）］［ソニーカメラ用MPEGムービー 160×112（CV）］［ソニーカメラ用MPEGムービー 320×240（CIF）］［ソニーカメラ用MPEGムービー 320×240（HQ）］［ソニーカメラ用MPEGムービー 640×480（VGAL）］より選択します。

動画への変換ダイアログ



①	モニタパネル	選択されている動画ファイルをプレビュー表示します。
②	再生スライダー	ドラッグしてムービーの再生位置を表示します。
③	再生ボタン	現在の再生位置より再生します。
④	静止ボタン	クリックした位置で再生を静止します。
⑤	SONY用MPEG変換	選択されたSONYのカメラ用MPEG1形式に変換します。
⑥	音量調整	スライダーをドラッグして音量を調整します。
⑦	変換ボタン	⑤ ⑧ で選択された形式で変換を実行します。
⑧	ImageMixer用MPEG変換	選択した形式に変換します。
⑨	カスタムボタン	⑧ で［カスタム］を選択した時に有効になります。変換の設定を行えます。
⑩	サイズ変更で補間処理を使用	動画サイズの変更時に補間処理を適用して画質を向上させます。
⑪	サイズ変更で比率を維持	動画サイズの変更時に動画ファイルの画質比率を維持して変換します。
⑫	戻るボタン	ダイアログを閉じてアルバムに戻ります。

静止画への変換

選択されている動画・静止画ファイルをExif形式、BMP形式、JPEG形式を選択し、変換します。変換されたファイルは現在選択されているアルバムに追加登録され、環境設定の「変換ファイルの保存先の設定」で設定されている場所に保存されます。

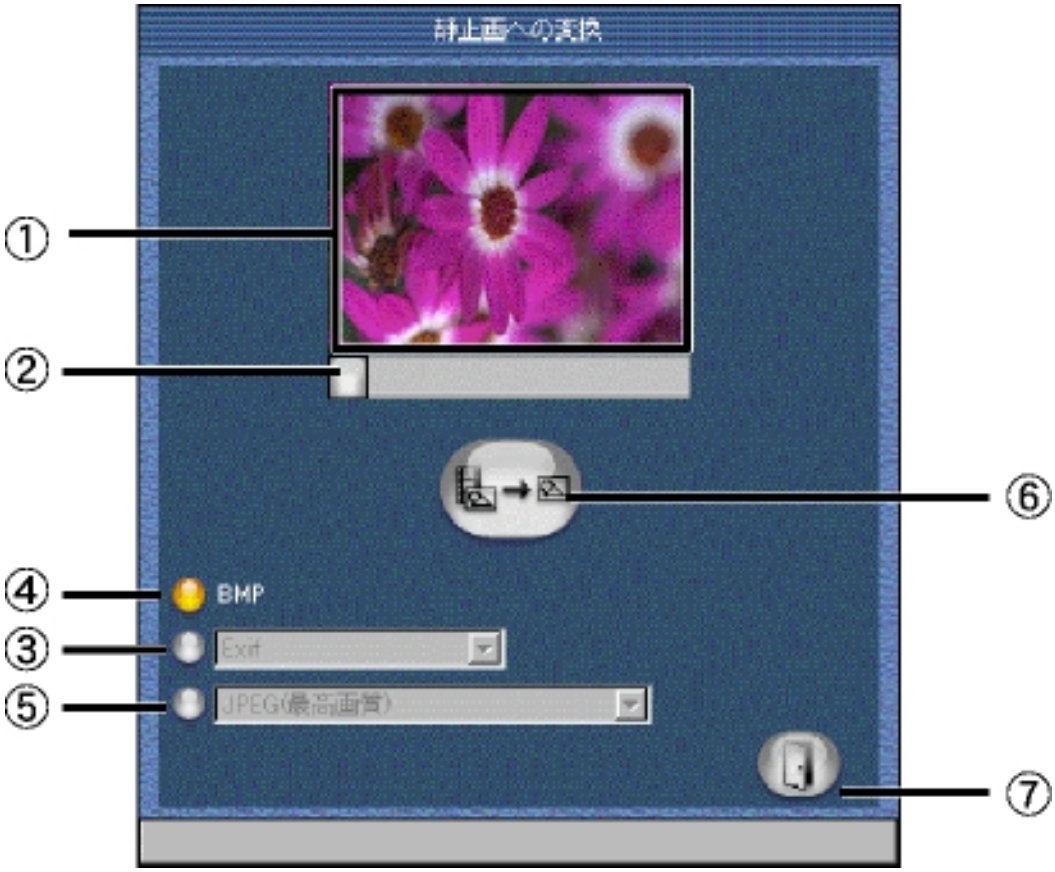
1. ファイルサムネール一覧ウィンドウより変換する動画・静止画ファイルのサムネールを選択し、ファイルメニューまたはコンテクストメニューより「静止画への変換」選択します。
   静止画への変換ダイアログが表示されます。

2. 選択されているファイルが動画ファイルの場合は、［再生スライダー］をドラッグして静止画にするフレームを表示させます。

3. 変換する形式を［Exif］、［BMP］、［JPEG］より選択し、［変換］ボタンをクリックします。

4. 変換処理が開始され、ファイルサムネール一覧ウィンドウに変換されたファイルのサムネールが表示されます。

静止画への変換ダイアログ



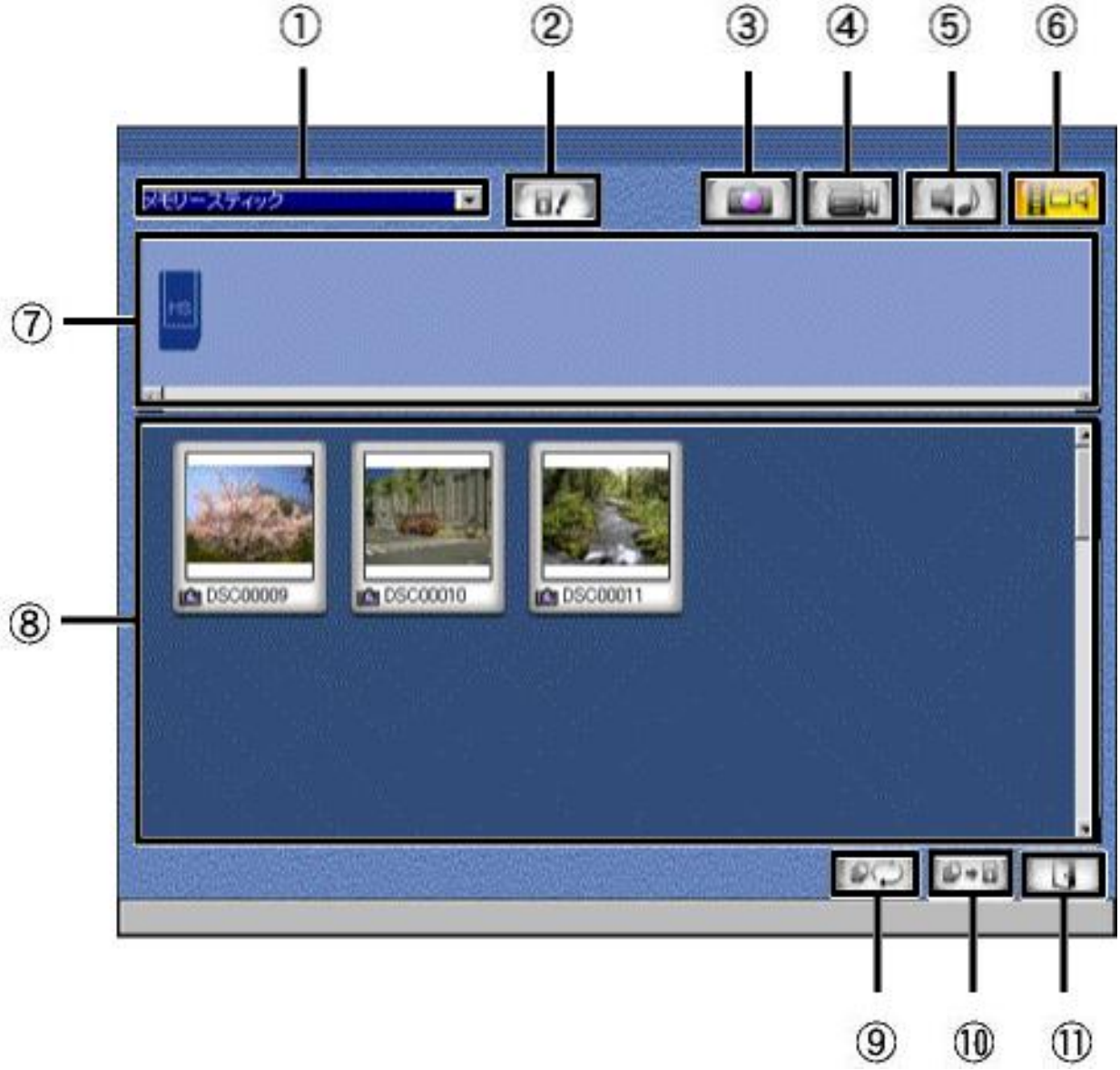
①	モニタパネル	選択されている動画・静止画ファイルをプレビュー表示します。
②	再生スライダー	ドラッグしてムービーの再生位置を表示します。 静止画ファイルの場合は表示されません。
③	Exif	選択されている動画・静止画ファイルをデジタルカメラで扱うためのExif形式に変換します。同じサイズ、640×480から選択します。
④	BMP	選択されている動画・静止画ファイルをBMP形式に変換します。
⑤	JPEG	選択されている動画・静止画ファイルをJPEG形式に変換します。［最高画質］の場合はファイルサイズが大きく、圧縮率が低くなり、［低画質］の場合にはファイルサイズが小さくなりますが圧縮率は高くなります。
⑥	変換ボタン	選択された形式で変換を実行します。
⑦	戻る	ダイアログを閉じてアルバムに戻ります。

メモリーカードへの書き出し

選択されているメモリーカードに書き出し可能なサムネールの登録ファイルをメモリーカードに書き出します。

1. メモリーカード書き出しファイル表示ボタン をクリックします。
2. ファイルサムネール一覧ウィンドウより書き出しする登録ファイルのサムネールを選択し、 ファイルメニューまたはコンテクストメニューより［メモリーカードへ書き出し］を選択します。
3. メモリーカード書き出しダイアログが表示されますので、接続されているカメラと書き出し先のメモリーカードを選択し、［書き出し実行］ボタンをクリックします。
4. 書き出し処理が開始され、指定したメモリーカードに保存されます。

メモリーカード書き出しダイアログ



①	選択メニュー	使用するメモリーカードの種類を選択します。
②	更新ボタン	メモリーカードリストウィンドウに表示されているメモリーカードを再検索します。
③	静止画表示ボタン	選択されているメモリーカード内にあるファイルの中から静止画ファイルのサムネールのみファイルサムネール一覧に表示します。
④	動画表示ボタン	選択されているメモリーカード内にあるファイルの中から動画ファイルのサムネールのみファイルサムネール一覧に表示します。
⑤	サウンド表示ボタン	選択されているメモリーカード内にあるファイルの中からサウンドファイルのサムネールのみファイルサムネール一覧に表示します。
⑥	全て表示ボタン	選択されているメモリーカード内にあるファイルの中から全てのファイルのサムネールのみファイルサムネール一覧に表示します。
⑦	メモリーカードリストウィンドウ	接続されているメモリーカードを検索し、リスト表示します。表示されたメモリーカードをクリックすることでその中に保存されているファイルがサムネール一覧ウィンドウに表示されます。
⑧	サムネール一覧ウィンドウ	メモリーカードリストウィンドウで選択されたメモリーカード内に保存されているファイルをサムネールで表示します。
⑨	再読み込みボタン	サムネール一覧ウィンドウに表示されているメモリーカード内のファイルを再読み込みします。
⑩	書き出し実行ボタン	アルバムのファイルサムネール一覧ウィンドウで選択されているファイルを指定のメモリーカードに書き出します。
⑪	戻るボタン	メモリーカード書き出しダイアログを終了し、アルバムに戻ります。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

3-9 印刷

選択されているサムネールの登録ファイルを印刷します。
サウンドファイルの場合はサウンドファイルのサムネールが印刷されます。
動画ファイルを選択された場合、先頭のシーンが印刷の対象となります。

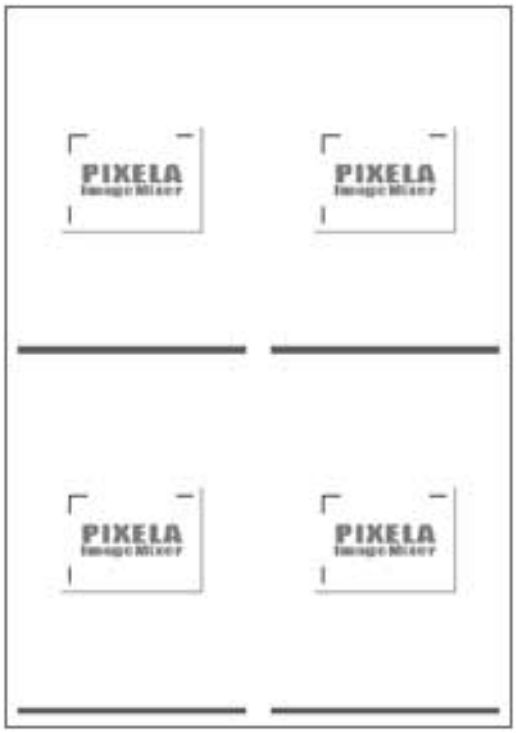
1. ファイルサムネール一覧ウィンドウより印刷を行うサムネールを選択します。
2. ファイルメニューボタンをクリックし、［印刷］を選択します。
3. ［印刷レイアウト設定］ダイアログが表示されますので、各設定後に［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

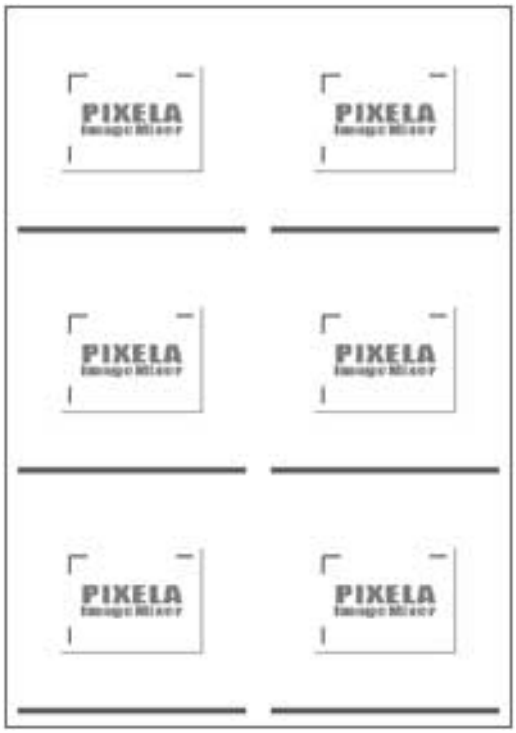
	印刷の用紙設定を行います。クリックすると設定のダイアログが表示されますので、印刷用紙の設定を行います。
	印刷を実行します。クリックすると印刷の設定ダイアログが表示されますので各設定を行った後、印刷を実行します。
	印刷レイアウト設定ダイアログを閉じ、アルバムに戻ります。

印刷レイアウト設定

インデックス印刷 サムネールとファイル名	1ページに印刷するサムネールの枚数を設定します。 例：4面に設定した場合の印刷レイアウト	1ページに印刷するサムネールの縦枚数と横枚数を設定します。 例：横2と縦3で設定した場合の印刷レイアウト

で印刷を行います。





詳細印刷

サムネールとファイル情報の詳細印刷を行います。

1ページに印刷する画像の枚数を選択します。

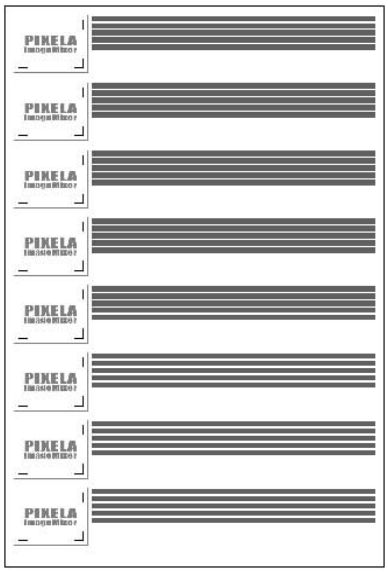
例：2面を選択した場合の印刷レイアウト

印刷するファイル情報の項目にチェックを付けます。チェックを付けた項目が印刷されます。

- ファイル名
- タイトル
- 種類
- 場所
- 画像の大きさ
- 作成日
- 更新日
- 容量
- 再生時間
- コメント

1ページに印刷する画像の枚数と印刷用紙サイズにより、すべての項目にチェックを付けることができない場合があります。

印刷するファイルがExifファイルの場合、作成日には撮影日の情報が印刷されます。

一覧印刷 サムネールとファイル情報で印刷を行います。 ファイル情報はチェックを付けた項目が印刷されます。		印刷するファイル情報の項目にチェックを付けます。チェックを付けた項目が印刷されます。 ● ファイル名 ● タイトル ● 種類 ● 場所 ● 画像の大きさ ● 作成日 ● 更新日 ● 容量 ● 再生時間 ● コメント 1ページに印刷する画像の枚数と印刷用紙サイズにより、すべての項目にチェックを付けることができない場合があります。 印刷するファイルがExifファイルの場合、作成日には撮影日の情報が印刷されます。
静止画印刷 選択されているサムネールのファイルのサイズで印刷します。「日付を表示する」にチェックを付けることで、画像の右下に日付が挿入されます。 印刷するファイルがExifファイルの場合の日付には撮影日の情報が印刷されます。		

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

3-10 検索と並び替え

登録されている膨大な量のマルチメディアファイルを検索することで目的のファイルを探すことが容易になります。検索する方法は2つあります 。また表示されているサムネールを並び替えることができます。

ファイルの種類で検索

ボタンをクリックすることでファイルサムネール一覧ウィンドウに該当するファイルのサムネールを表示します。

●メモリーカード書き出しファイル表示ボタン

メモリーカード書き出し可能なファイルのみを表示します。

●静止画表示ボタン

静止画形式のファイルのみを表示します。

●動画表示ボタン

動画形式のファイルのみを表示します。

●サウンド表示ボタン

サウンド形式のファイルのみを表示します。

●全て表示ボタン

全てのファイルを表示します。

条件による検索

1. ［検索表示］ボタン をクリックします。

2. 検索条件を項目の一覧より選択します。
   検索の基準となる項目を選択します。［種類］、［タイトル］、［コメント］、［ファイル作成日］、［ファイル更新日］、［ファイル登録日］より選択します。

3. 条件内容を指定します。
   検索の対象となる内容を指定します。選択された検索条件の項目によって内容は変わります。

   ●ファイルタイプを選択した場合
   一覧からファイルタイプを選択し、選択したファイルタイプを［含む］か［含まない］かを指定します。

   ●タイトルを選択した場合
   情報表示で入力されたタイトルを入力し、入力したものが［一致］または［含む］か［含まない］かを指定します。

   ●コメントを選択した場合
   情報表示で入力されたコメントを入力し、入力したものが［一致］または［含む］か［含まない］かを指定します。

   ●ファイル作成日を選択した場合
   ファイルが作成された日付を入力し、入力した日時と［一致］または［以外］、［以前］か［以降］を指定します。

   ●ファイル更新日を選択した場合
   ファイルの更新された日付を入力し、入力した日時と［一致］または［以外］、［以前］か［以降］を指定します。

   ●ファイル登録日
   ファイルの登録された日付を入力し、入力した日時と［一致］または［以外］、［以前］か［以降］を指定します。

4. 検索の範囲を選択します。
   設定した条件で検索される範囲を［全て］または［検索済みデータから］のどちらかを選択します。

5. ［検索実行］ボタンをクリックします。
   設定した条件に合致したものを検索し、ファイルサムネール表示ウィンドウに選択された状態で表示されます。

検索結果を解除する場合には［検索解除］ボタンをクリックすることで解除されます。
アルバムメニューの［選択サムネールでアルバムを作成］を行うことにより、検索結果 でアルバムを作成することができます。
検索実行後は検索を解除するまで「サムネールの登録」や「並び替え」、「動画への変換」、「静止画への変換」、「画像編集」、「ファイルの種類で検索」など一部機能が使用できなくなります。

並び替え

表示されているサムネールを並び替えることができます。
表示されているサムネールをドラッグ＆ドロップで任意の場所に移動し、並べ替えることもできます。

①	昇順並べ替えメニュー	選択したメニューで昇順に並べ替えます。［ファイル名］［種類］［容量 ］［修正日］より選択できます。
②	降順並べ替えメニュー	選択したメニューで降順に並べ替えます。［ファイル名］［種類］［容量 ］［修正日］より選択できます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

3-11 アルバムの環境設定

［環境設定］ボタン をクリックすることでアルバムの環境設定を行うことができます。

画像編集後の登録形式

画像編集モードで編集した静止画ファイルを保存する際のファイル形式を選択します。
元ファイルがExif,JPEGの場合は以下の設定に関係なくExif,JPEG形式のファイルが登録されます。

●BMP形式で登録
Windowsで一般的に使用する画像のファイル形式です。

●JPEG形式で登録
インターネットなどで幅広く使用されるファイル形式です。圧縮率を「最高画質」「高画質」「標準」「低画質」から選択することができます。「最高画質」は圧縮率が低く、「低画質」は圧縮率が高くなります。

印刷の設定

●選択されているファイルのみ
チェックを付けることで、ファイルメニューまたはコンテクストメニューの「印刷」実行時はファイルネーム一覧ウィンドウで選択されているサムネールまたはその登録ファイルが対象となります。チェックを外すことでファイルサムネール一覧ウィンドウで表示されているサムネールまたはその登録ファイル全てが対象となります。

プレビューの設定

ファイルメニューまたはコンテクストメニューの「プレビュー」を実行する際の設定が行えます。

● 選択されているファイルのみ
チェックを付けることで「プレビュー」実行時はファイルサムネール一覧ウィンドウで選択されているサムネールが対象となります。チェックを外すことでファイルサムネール一覧ウィンドウで表示されているサムネール全てが対象となります。

● 映像の大きさ
「プレビュー」実行時の動画ファイルの表示サイズを選択できます。サイズは「大きいサイズ」「ふつうサイズ」「小さいサイズ」 から選択できます。

スライドショーの設定

ファイルメニューの「スライドショー」を実行する際の設定が行えます。

●選択されているファイルのみ
チェックを付けることで「スライドショー」実行時はファイルサムネール一覧ウィンドウで選択されているサムネールの登録ファイルが対象となります。チェックを外すことでファイルサムネール一覧ウィンドウで表示されているサムネール全てが対象となります。

●繰り返す
チェックを付けることで、スライドショーを繰り返し行います。

●切り返す時間
複数ファイルのスライドショーの場合、個々のファイル表示を切り替える時間を入力します。

●画像の大きさ
スライドショー実行時の表示サイズを「オリジナルサイズ」「画面の大きさ」より選択できます。

変換ファイル名の先頭文字の設定

動画への変換、静止画への変換、で変換されたファイルや画像編集で編集されたファイルのファイル名を入力します。ファイル名は入力した名前に連番が付けられて「保存先の設定」で選択されている場所に保存され、アルバムに登録されます。

変換ファイル保存先の設定

動画への変換、静止画への変換で変換されたファイルや画像編集で編集されたファイルの保存先を設定することができます。［参照］をクリックし、取り込まれるファイルの保存先を指定します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-1 動画編集

アルバムに登録されている動画ファイルのトリミングやサウンドの追加、タイトルの挿入などの編集を行うことができます。

動画編集の起動

1. ImageMixerを起動します。
2. メインセレクタの［動画編集］ボタン をクリックして、動画編集モードを起動します。

各部の名称

①	モニタパネル	ストーリーボードに配置したムービーを表示します。また編集結果 をプレビューします。
②	モードセレクタ	モニタパネルを編集モード、プレビューモードに切り替えます。
③	素材選択パネル	新規プロジェクトの作成、保存や編集するための素材を選択します。また編集した結果 をMPEGムービーとして作成します。
④	ファイルサムネール一覧ウィンドウ	アルバムに登録されている動画・サウンドファイルのサムネールやトランジション効果 などをサムネール一覧で表示します。
⑤	ストーリーボード	ファイルやトランジション効果などを配置してストーリーを作成します。

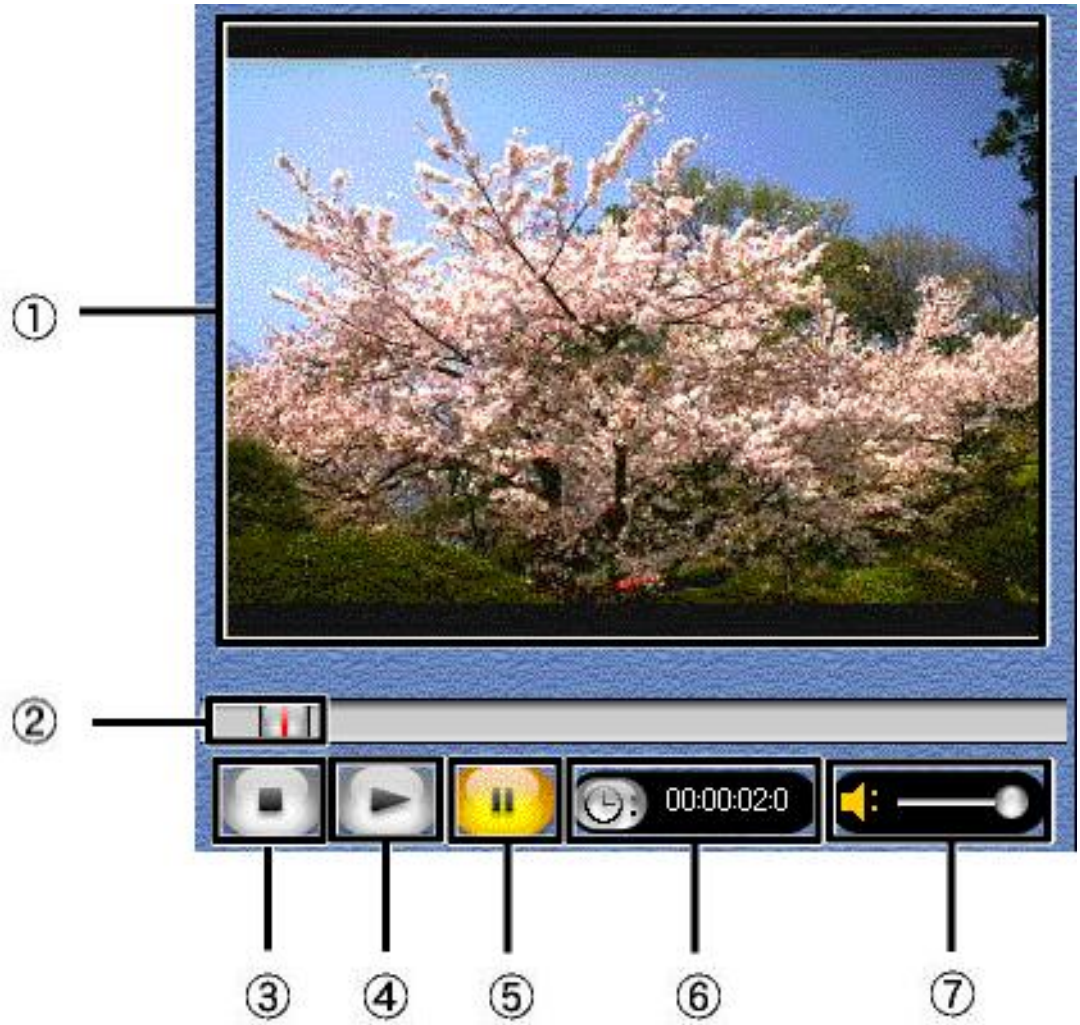
⑥	タイムライン	配置したクリップの表示やサウンドの移動、サウンドのトリミングなどを行います。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-2 モニタパネル

編集モード

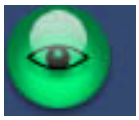
モードセレクタの［編集モード］ボタン をクリックすることでモニタパネルが編集モードに変わります。

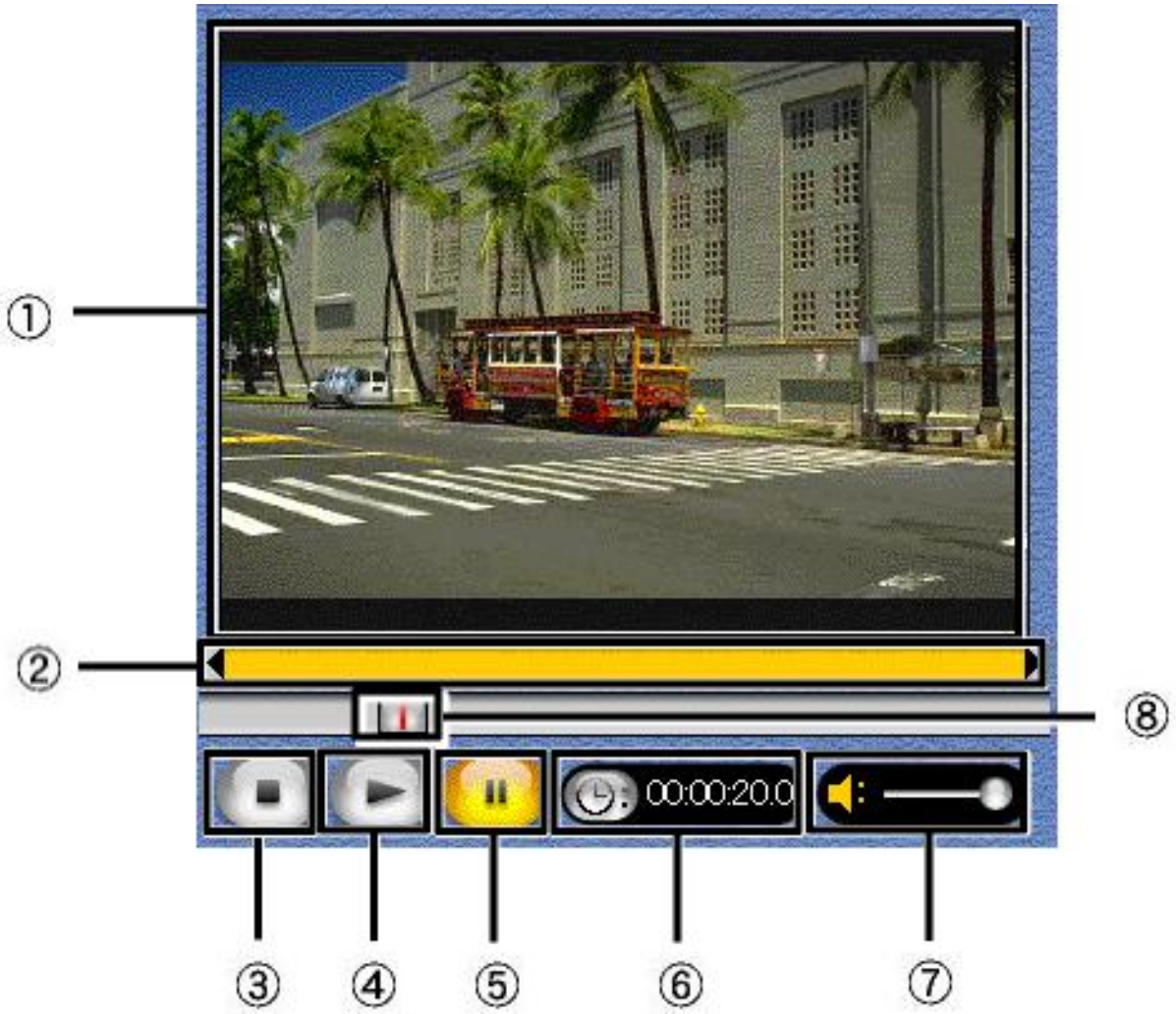


①	モニタ	ストーリーボードに配置したムービーを再生します。
②	再生スライダー	現在の再生位置を表示します。ドラッグすることで任意の場所に再生位 置を変更することができます。
③	停止ボタン	再生を停止し、ムービーの最初に戻します。

④	再生ボタン	現在の再生スライダーの位置よりムービーを再生します。
⑤	静止ボタン	再生を静止します。
⑥	時間表示	現在の再生位置の時間を表示します。クリックするごとに「現在時間表示」と「全体時間表示」を切り替えることができます。
⑦	音量調整	スライダーをドラッグしてムービーの音量を調整します。

プレビューモード

モードセレクタの［プレビューモード］ボタン  をクリックすることでモニタパネルがプレビューモードに変わります。



①	モニタ	［再生］ボタンをクリックすることで編集した内容でプレビューを作成し表示します。
②	プレビュー範囲選択スライダー	左右のスライダーをドラッグしてプレビューする範囲を指定します。
③	停止ボタン	再生を停止し、ムービーの最初に戻します。
④	再生ボタン	現在の再生スライダーの位置よりムービーを再生します。
⑤	静止ボタン	再生を静止します。
⑥	時間表示	現在の再生位置の時間を表示します。クリックするごとに「現在時間表示」と「全体時間表示」を切り替えることができます。
⑦	音量調整	スライダーをドラッグしてムービーの音量を調整します。
⑧	再生スライダー	現在の再生位置を表示します。ドラッグすることで任意の場所に再生位 置を変更することができます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-3 素材選択パネル

新規作成

新規のプロジェクト（編集作業をプロジェクトといい、編集作業をファイルで保存したものをプロジェクトファイルといいます。）を作成します。

プロジェクトを開く

保存しているプロジェクトファイルを開きます。クリックするとファイルを開くダイアログが表示され、プロジェクトの保存場所を指定後、保存したプロジェクトファイルを開きます。

プロジェクトを保存

編集途中の状態をプロジェクトファイルとして保存します。クリックするとファイルを保存するダイアログが表示され、保存するプロジェクトのファイル名を入力し、保存場所を指定して保存します。

動画ファイルを表示

ファイルサムネール一覧ウィンドウに登録ファイルより動画のサムネールだけを表示します。
静止画ファイルも表示する時間を設定することで動画として扱います。

サウンドファイルを表示

ファイルサムネール一覧ウィンドウに登録ファイルよりサウンドファイルのサムネールだけを表示します。

トランジション効果を表示

ファイルサムネール一覧ウィンドウにImageMixerで用意されているトランジション効果（場面切り替え効果）のサムネールだけを表示します。

タイトルを表示

ファイルサムネール一覧ウィンドウにレイアウト作成モードで作成したタイトル画像だけを表示します。

ムービーを作成

編集した結果を1つのMPEGムービーファイルとして保存します。クリックすると、出力フォーマットを設定するダイアログが表示されますので、設定後［OK］をクリックします。その後ファイルを保存するダイアログが表示されますので、保存するMPEGムービーのファイル名を入力し、保存場所を指定して保存します。

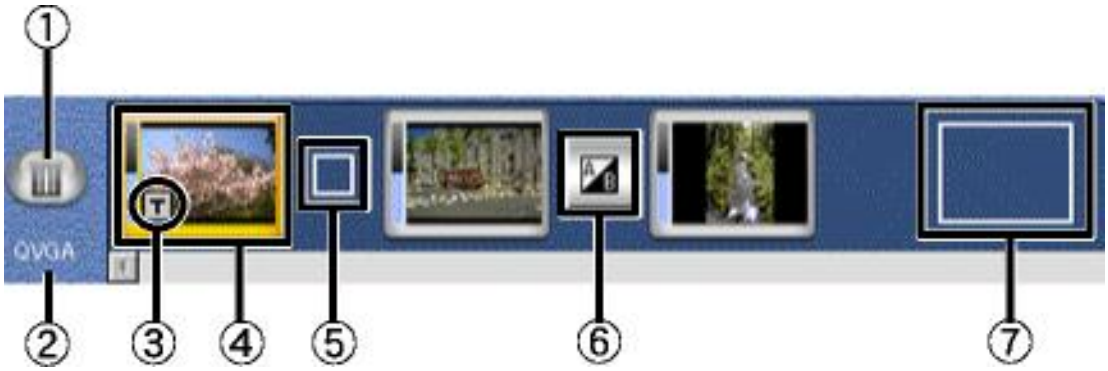
アルバム選択

アルバムリストウィンドウに登録されているアルバムファイルを選択します。クリックすると登録されているアルバムファイルの名前が一覧で表示され、アルバムファイルを選択します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-4 ストーリーボード

ファイルサムネール一覧ウィンドウより編集素材のサムネールをドラッグ＆ドロップすることでストーリーボードに配置されます。



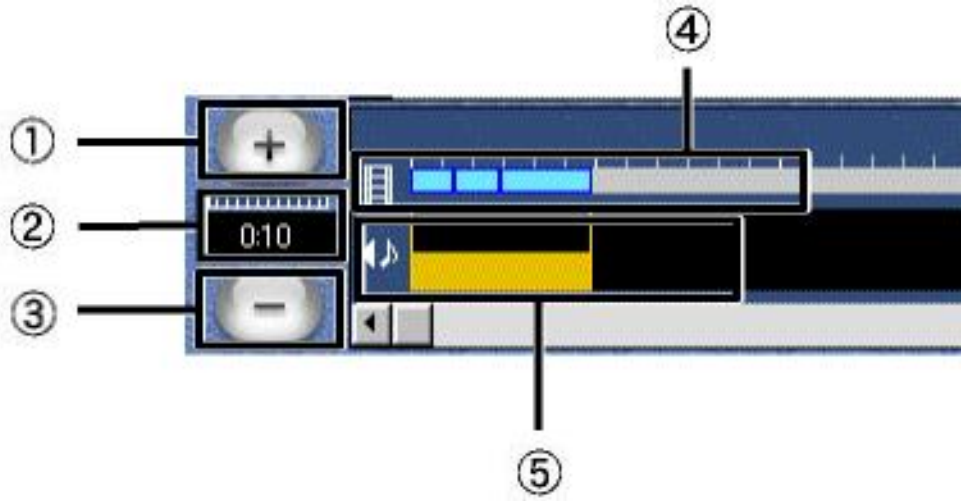
①	ごみ箱ボタン	ストーリーボードやタイムラインで選択したムービークリップ、サウンドクリップ、トランジション効果 を削除します。
②	編集サイズ表示	編集するサイズが［VGA（640×480）］または［QVGA（320×240）］かを表示します。 ストーリーボードに配置する動画ファイルが一つ目の場合、表示されるダイアログで選択すると表示されます。
③	タイトルアイコン	タイトル画像が挿入されているクリップサムネールに表示されます。タイトルアイコンが表示されているクリップサムネールをダブルクリックすることでタイトル設定を行うことができます。
④	クリップサムネール	クリップボックスに配置した動画・静止画ファイルのクリップサムネールです。ダブルクリックすることでトリミング編集ウィンドウが表示されます。
⑤	トランジションボックス	ファイルサムネール一覧ウィンドウよりトランジション効果のサムネールをここにドラッグすることでトランジションを設定することができます。
⑥	トランジション効果サムネール	トランジションボックスに配置されたトランジション効果サムネールです。トランジションが設定されている場合に表示され、ダブルクリックすることでトランジション設定ウィンドウが開きます。

⑦	クリップボックス	ファイルサムネール一覧ウィンドウより動画・静止画ファイルのサムネールをドラッグすることで編集可能なクリップとして配置されます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-5 タイムライン

ストーリーボードに配置されたムービークリップや素材クリップをタイムライン表示し、サウンドファイルを追加することもできます。



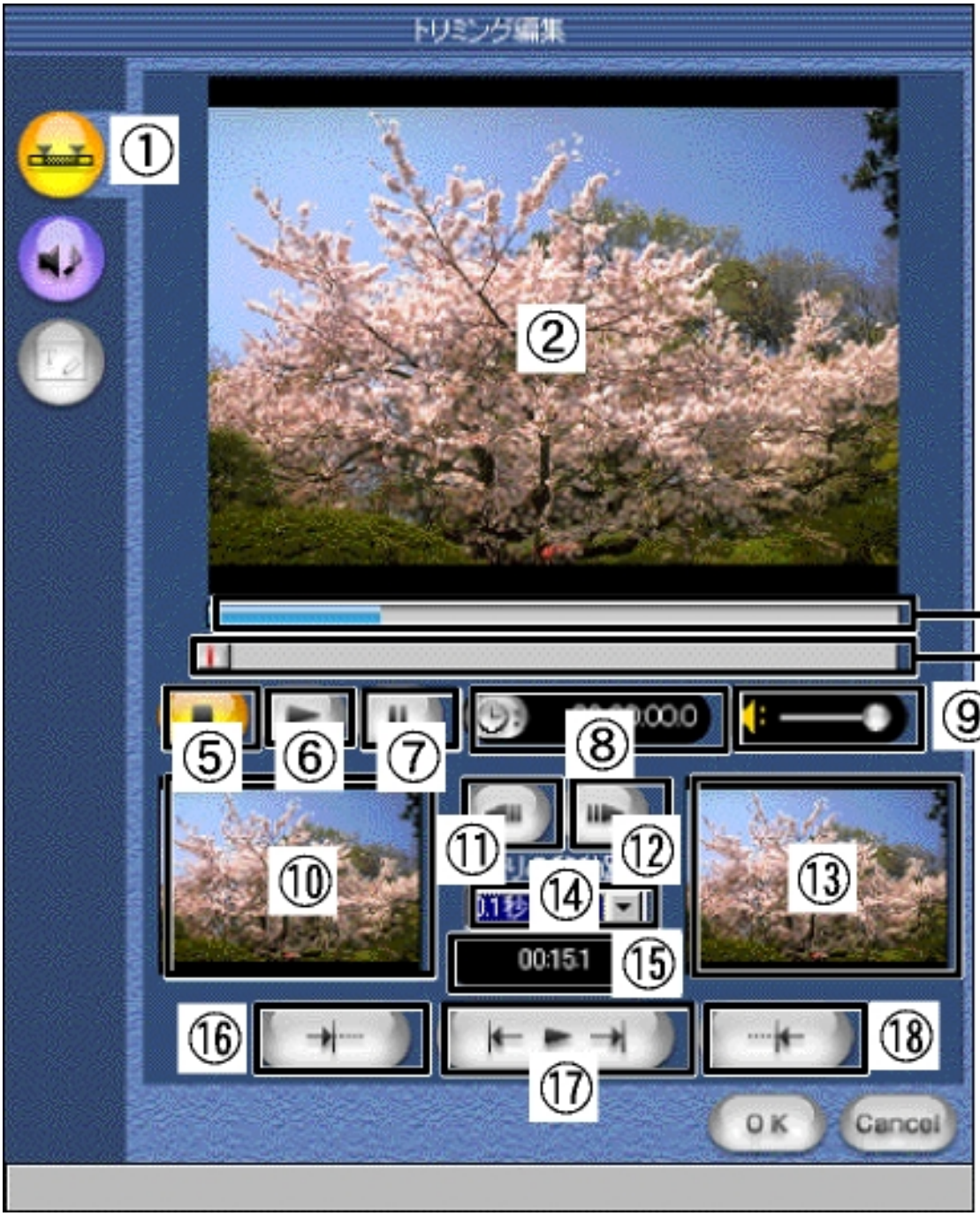
①	拡大ボタン	タイムラインを拡大します。クリックすることで時間の表示を拡大し詳細に表示できます。最小で1秒単位 の目盛り表示が可能です。 表示単位は「目盛表示」で確認できます。
②	目盛表示	［拡大］［縮小］ボタンで変更したタイムラインの目盛単位 を表示します。
③	縮小ボタン	タイムラインを縮小します。クリックすることで時間の表示を縮小しより長い時間を表示できます。最大で1分単位 の目盛り表示が可能です。 表示単位は「目盛表示」で確認できます。
④	クリップ表示	ストーリーボードに配置されているクリップを表示します。
⑤	サウンドトラック	ここにファイルサムネール一覧ウィンドウよりサウンドファイルのサムネールをドラッグ＆ドロップすることで配置できます。配置されたサウンドトラックをドラッグすることで移動ができ、サウンドトラックの両端にマウスポインタを合わせるとポインタがトリミングポインタに変わり、サウンドのトリミングも可能です。またサウンドトラックをダブルクリックすることでサウンド編集ウィンドウが表示されます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-6 動画のトリミング

1. ファイルサムネール一覧ウィンドウよりトリミングを行う動画ファイルのサムネールをストーリーボード上にドラッグ＆ドロップで配置します。
2. ストーリーボード上に配置されたムービークリップをダブルクリックします。
3. 「トリミング編集」ウィンドウが表示されます。
4. 再生スライダーや再生ボタンなどでイン点（ムービーの必要な部分の開始点）を決め、［イン点］ボタンをクリックすることでイン点が決定されます。
5. 同じように再生スライダーや再生ボタンなどでアウト点（ムービーの必要な部分の終了点）を決め ［アウト点］ボタンをクリックすることでアウト点が決定されます。
6. ［トリミング範囲再生］ボタンで設定したトリミング範囲を再生して確認します。
7. ［OK］ボタンをクリックすることで適用されます。

トリミング編集ウィンドウの各部の説明



①	トリミングボタン	トリミング編集モードに切り替えます。	⑩	イン点サムネール	イン点に設定されているフレームをサムネール表示します。ダブルクリックすることでサムネール表示されている箇所に再生位 置を移動できます。
②	モニタウィンドウ	編集するムービーを表示します。	⑪	コマ戻しボタン	コマ送り移動量によって再生位置を戻します。
③	トリミング範囲表示バー	設定したトリミング範囲をバーで表示します。	⑫	コマ送りボタン	コマ送り移動量によって再生位置を進めます。
④	再生スライダー	ムービーの再生位置を表示します。ドラッグして再生位 置を移動することもできます。	⑬	アウト点サムネール	アウト点に設定されているフレームをサムネール表示します。ダブルクリックすることでサムネール表示されている箇所に再生位 置を移動できます。

⑤	停止ボタン	再生を停止し、再生位置が最初に戻ります。	⑭	コマ送り移動量選択	コマ送り、コマ戻しの移動量を選択します。
⑥	再生ボタン	現在の再生スライダーの位置から再生します。	⑮	トリミング時間表示	イン点・アウト点間の時間を表示します。
⑦	静止ボタン	再生を停止します。	⑯	イン点ボタン	クリックすることで現在の再生位置をイン点に設定します。
⑧	時間表示	現在の再生位置の時間を表示します。クリックするごとに「現在時間表示」と「全体時間表示」を切り替えることができます。	⑰	トリミング範囲再生ボタン	トリミング指定した範囲（イン点からアウト点まで）を再生します。
⑨	音量スライダー	スライダーをドラッグして音量を調整します。	⑱	アウト点ボタン	クリックすることで現在の再生位置をアウト点に設定します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-7-1 サウンドの編集

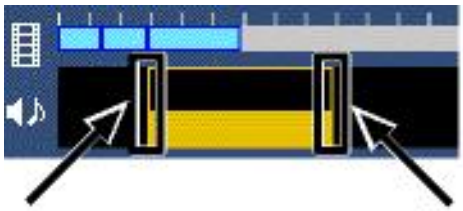
ストーリーボードに配置したムービークリップの音声や、タイムラインに配置した追加サウンド等のトリミングやフェードイン、フェードアウトなどの編集を行うことができます。

ムービークリップの主音声編集

ファイルサムネール一覧ウィンドウよりドラッグ＆ドロップでストーリーボードに配置したムービークリップをダブルクリックし、「トリミング編集」ウィンドウの［サウンド編集］ボタンをクリックすることで、「サウンド編集」ウィンドウが表示され、音量の調整、フェードイン、フェードアウト設定を行うことができます。

追加サウンドのトリミング

配置されているサウンドトラックの両端にマウスポインタを合わせることで、ポインタがトリミングポインに変わりますので、両端をそれぞれ内側にドラッグすることでトリミングを行うことができます。



追加サウンドの編集

ファイルサムネール一覧ウィンドウよりドラッグ＆ドロップでタイムラインに配置したサウンドトラックをダブルクリックすることで「サウンド編集」ウィンドウが表示され、サウンドの再生、トリミング 、音量の調整、フェードイン、フェードアウトを行うことができます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-7-2 ムービークリップの主音声編集

フェードイン・フェードアウト設定

1. ファイルサムネール一覧ウィンドウより編集を行う動画ファイルのサムネールをストーリーボード上にドラッグ&ドロップで配置し、ムービークリップをダブルクリックすることで「サウンド編集」ウィンドウが表示されます。

2. サウンド編集ウィンドウの［フェードイン位置指定スライダー］をドラッグします。
   ドラッグするとムービーの再生スライダーも同時に動きますので、ムービーを確認しながら フェードイン終了位置を指定します。

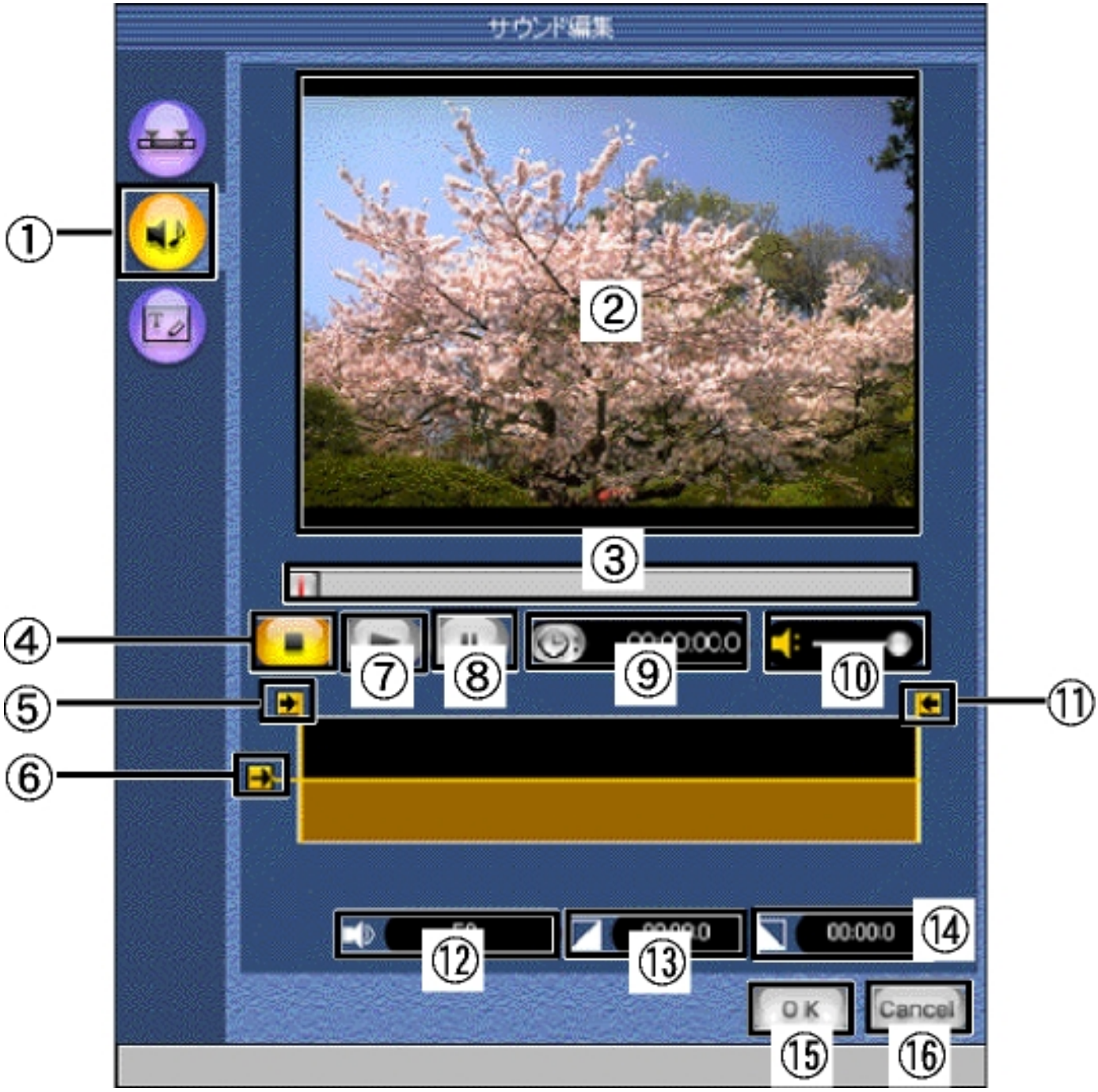
3. 同じように［フェードアウト位置指定スライダー ］をドラッグします。
   ドラッグするとムービーの再生スライダーも同時に動きますので、ムービーを確認しながら フェードアウト開始位置を指定します。

4. ［音量レベル指定スライダー］をドラッグし、音量レベルを調整します。

5. 設定ができましたら［OK］ボタンをクリックすることで適用されます。

設定した内容を確認する場合はプレビューモードで再生して確認します。サウンド編集ウィンドウ上での再生では設定内容が反映されません。

サウンド編集ウィンドウ



①	サウンド編集ボタン	サウンド編集モードに切り替えます。	⑨	時間表示	現在の再生位置の時間を表示します。クリックするごとに「現在時間表示」と「全体時間表示」を切り替えることができます。
②	モニタウィンドウ	編集するムービーを表示します。	⑩	音量調整	スライダーをドラッグして音量を調整します。
③	再生スライダー	ムービーの再生位置を表示します。ドラッグして再生位 置を移動することができます。	⑪	フェードアウト位置指定スライダー	ドラッグしてフェードアウトを開始する位 置を指定します。

④	停止ボタン	再生を停止してムービーの最初のフレームに戻ります。	⑫	音量レベル表示	設定している音量レベルを表示します。
⑤	フェードイン位置指定スライダー	ドラッグしてフェードインを終了する位置を指定します。	⑬	フェードイン終了時間表示	設定しているフェードイン終了位置の時間を表示します。
⑥	音量レベル指定スライダー	上下にドラッグして音量レベルを調整します。	⑭	フェードアウト開始時間表示	設定しているフェードアウト開始位置の時間を表示します。
⑦	再生ボタン	現在の再生位置よりムービーを再生します。	⑮	OKボタン	サウンド編集結果を適用します。
⑧	静止ボタン	クリックした位置で再生を静止します。	⑯	キャンセルボタン	キャンセルしてウィンドウを閉じます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-7-3 追加サウンドの編集

フェードイン・フェードアウト設定

1. ファイルサムネール一覧ウィンドウより編集を行うサウンドファイルのサムネールをストーリーボード上にドラッグ＆ドロップで配置し、ムービークリップをダブルクリックすることで「サウンド編集」ウィンドウが表示されます。

2. サウンド編集ウィンドウの［フェードイン位置指定スライダー］をドラッグします。
   ドラッグするとムービーの再生スライダーも同時に動きますので、ムービーを確認しながら フェードイン終了位置を指定します。

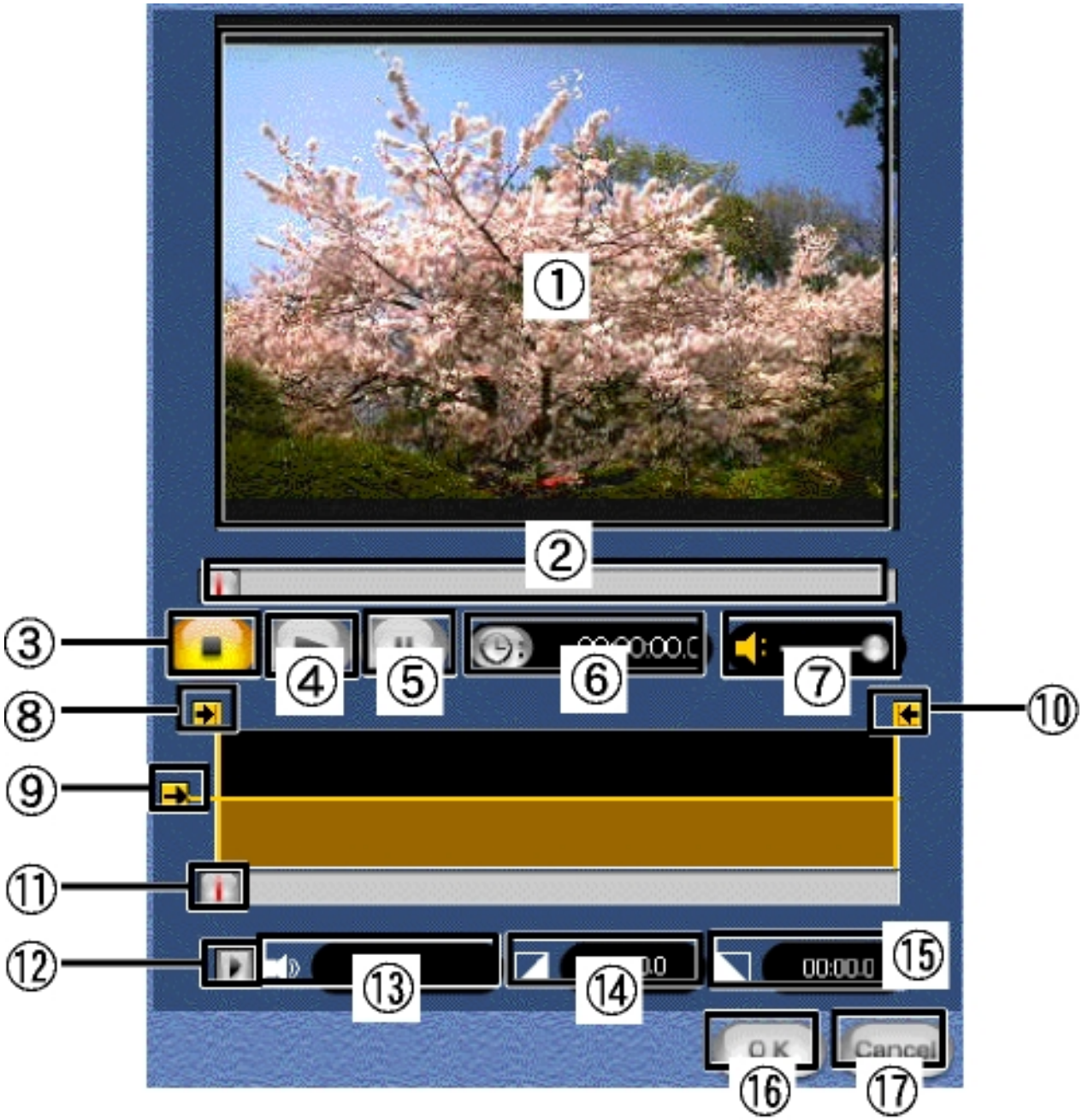
3. 同じように［フェードアウト位置指定スライダー ］をドラッグします。
   ドラッグするとムービーの再生スライダーも同時に動きますので、ムービーを確認しながら フェードアウト開始位置を指定します。

4. ［音量レベル指定スライダー］をドラッグし、音量レベルを調整します。

5. 設定ができましたら［OK］ボタンをクリックすることで適用されます。

設定した内容を確認する場合はプレビューモードで再生して確認します。サウンド編集ウィンドウ上での再生では設定内容が反映されません。

サウンド編集ウィンドウ



①	モニタウィンドウ	サウンドが配置されている範囲のムービーを表示します。	⑩	フェードアウト位置指定スライダー	ドラッグしてフェードアウトを開始する位 置を指定します。
②	再生スライダー	ムービーの再生位置を表示します。ドラッグして再生位 置を移動することができます。	⑪	サウンド再生スライダー	追加サウンドの再生位置を表示します。ドラッグして再生位 置を移動することができます。
③	停止ボタン	再生を停止してムービーの最初のフレームに戻ります。	⑫	サウンド再生ボタン	現在の再生位置よりサウンドを再生します。再生中は静止ボタンに変わります。
④	再生ボタン	現在の再生位置よりムービーを再生します。	⑬	音量レベル表示	設定している音量レベルを表示します。
⑤	静止ボタン	クリックした位置で再生を静止します。	⑭	フェードイン終了時間表示	設定しているフェードイン終了位置の時間を表示します。

⑥	時間表示	現在の再生位置の時間を表示します。クリックするごとに「現在時間表示」と「全体時間表示」を切り替えることができます。	⑮	フェードアウト開始時間表示	設定しているフェードアウト開始位置の時間を表示します。
⑦	音量スライダー	スライダーをドラッグしてムービーの音量 を調整します。	⑯	OKボタン	サウンド編集結果を適用します。
⑧	フェードイン位置指定スライダー	ドラッグしてフェードインを終了する位置を指定します。	⑰	キャンセルボタン	キャンセルしてウィンドウを閉じます。
⑨	音量レベル指定スライダー	上下にドラッグして音量レベルを調整します。			

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

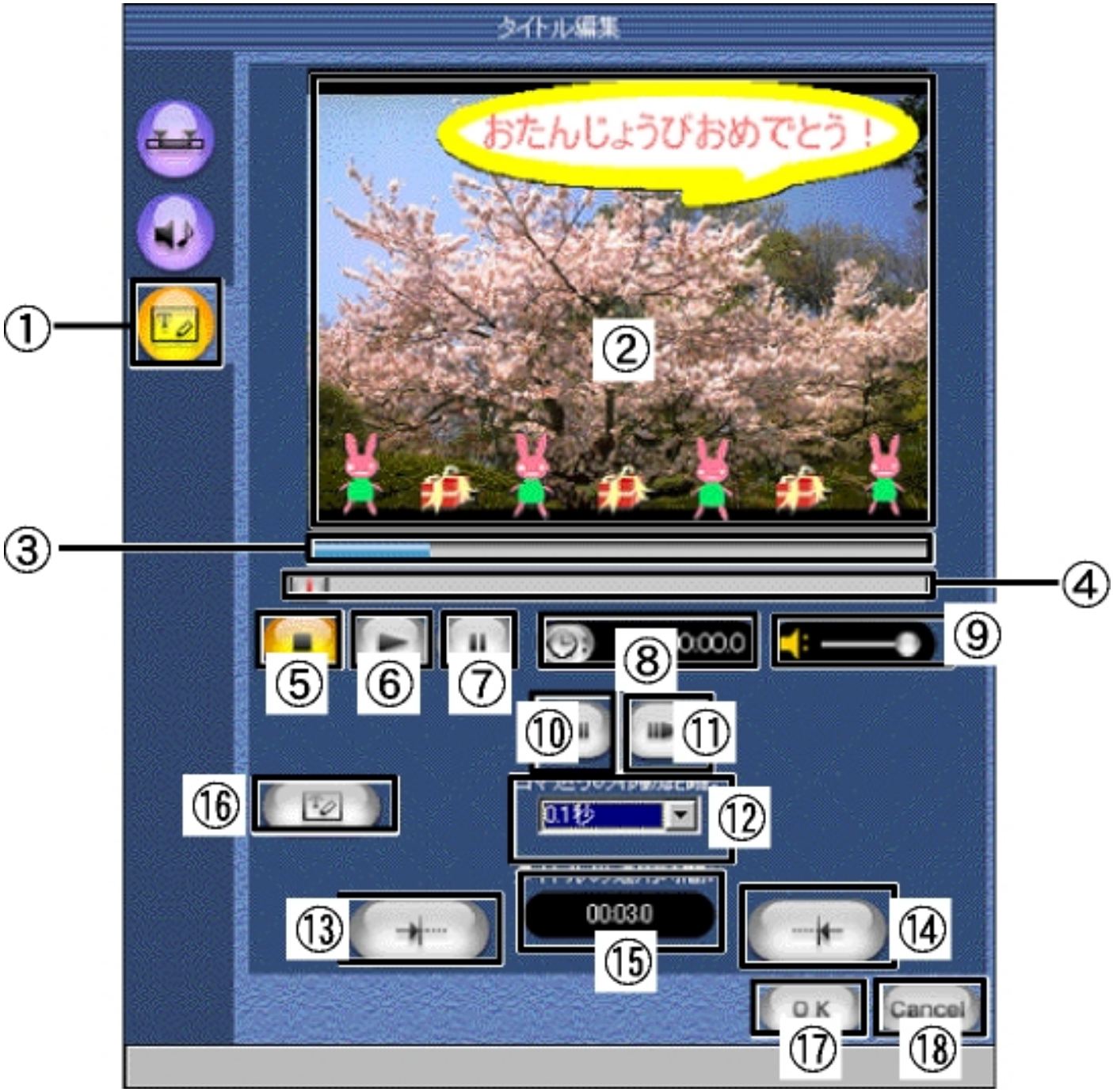
4-8 タイトル挿入

レイアウト作成モードで作成したタイトルをムービーに挿入することができます。

1. ［タイトルを表示］ボタン をクリックします。
2. ファイルサムネール一覧ウィンドウにタイトル画像のサムネールが表示されますので、挿入するタイトル画像のサムネールをストーリーボード上のムービークリップに ドラッグ&ドロップ で挿入します。
3. タイトル画像が挿入されたムービークリップには［T］が表示されます。

4. タイトル画像が挿入されたムービークリップをダブルクリックし、「トリミング編集」ウィンドウの［タイトル］ボタンをクリックすることで「タイトル編集」モードに変わります。
5. 「タイトル編集」ウィンドウ でタイトル表示のオン／オフ、表示のインポイント（開始位 置）やアウトポイント（終了位置）を設定します。
6. 設定後に［OK］ボタンをクリックすることで適用されます。

タイトル編集ウィンドウ



①	タイトルボタン	タイトル編集モードに切り替えます。	⑩	コマ戻しボタン	コマ送り移動量に基づいて再生位置を戻します。
②	モニタウィンドウ	編集するムービーを表示します。	⑪	コマ送りボタン	コマ送り移動量に基づいて再生位置を送ります。
③	タイトル表示範囲バー	設定したタイトルの表示範囲をバーで表示します。	⑫	コマ送り移動量選択	コマ送り、コマ戻しの移動量を選択します。
④	再生スライダー	ドラッグしてムービーの再生位置を移動します。	⑬	インポイントボタン	クリックすることで現在の再生位置をインポイントに設定します。

⑤	停止ボタン	再生を停止してムービーの最初のフレームに戻ります。	⑭	アウトポイント	クリックすることで現在の再生位置をアウトポイントに設定します。
⑥	再生ボタン	現在の再生位置から再生します。	⑮	タイトル適用時間	インポイント、アウトポイント間の時間を表示します。
⑦	静止ボタン	クリックした位置で再生を静止します。	⑯	タイトル表示オン／オフ	タイトル表示をオン、オフを切り替えます。
⑧	時間表示	現在の再生位置の時間を表示します。クリックするごとに「現在時間表示」と「全体時間表示」を切り替えることができます。	⑰	OKボタン	タイトル編集結果を適用します。
⑨	音量調整	スライダーをドラッグして音量を調整します。	⑱	キャンセルボタン	タイトル編集をキャンセルしてウィンドウを閉じます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-9 トランジション設定

複数の動画ファイルをつなげて1つのムービーを作成するとき、前のシーンから次のシーンへの移り変わりの効果 のことをトランジション効果といいます。ImageMixerではあらかじめこのトランジション効果 を用意していますので、簡単に設定することができます。

1. ［トランジション効果表示］ボタン をクリックします。
2. ファイルサムネール一覧に表示されたトランジション効果のサムネールより、使用するものをストーリーボードの「トランジションボックス」へドラッグ＆ドロップします。
3. 配置されたトランジション効果のサムネールをダブルクリックすることで「トランジション設定」ウィンドウ」が表示されます。
4. 「トランジション設定」ウィンドウの［スタートポイントスライダー］をドラッグし、トランジション効果 を開始する位置を指定します。自動的に終了位置も指定されます。
5. ［OK］ボタンをクリックして設定を適用します。

トランジション設定ウィンドウ

①	スタートポイントプレビュー	トランジション効果を開始する位置をプレビュー表示します。
②	エンドポイントプレビュー	トランジション効果を終了する位置をプレビュー表示します。
③	切り替え効果適用時間表示	トランジション効果が適用される時間（秒）を表示します。
④	最大設定時間表示	前後のムービークリップの最大設定時間を表示します。前と後のムービークリップで短い方の時間が表示され、表示されている時間以上にトランジション効果 を適用することはできません。
⑤	スタートポイントスライダー	スライダーをドラッグし、トランジション効果を開始する位置を指定します。
⑥	エンドポイントスライダー	スライダーをドラッグし、トランジション効果を終了する位置を指定します。
⑦	適用時間拡大ボタン	フレーム単位でトランジション効果の適用時間を広げます。
⑧	適用時間縮小ボタン	フレーム単位でトランジション効果の適用時間を縮めます。
⑨	OKボタン	設定したトランジション効果を適用します。
⑩	キャンセルボタン	トランジション設定をキャンセルし、ウィンドウを閉じます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-10 保存について

編集途中のプロジェクトを保存

編集作業中のデータをプロジェクトファイルとして保存することができます。保存したものを再度開くことで編集 作業の途中から作業を再開することができます。

1. ［プロジェクトを保存］ボタン をクリックします。
2. ファイルを保存するダイアログが表示されますので、保存するファイル名を入力しファイルを保存する場所を選択して保存します。

保存したプロジェクトファイルを開くには［プロジェクトを開く］ボタン をクリックするとファイルを開くダイアログが表示されますので、プロジェクトファイルが保存されている場所を指定し、プロジェクトファイルを開きます。

ムービーを作成

編集作業が完了したプロジェクトを1つのMPEGムービーとして作成することができます。

1. ［ムービーを作成］ボタン をクリックします。
2. 出力フォーマットを設定するダイアログが表示されますので、設定した後［OK］をクリックします。
   作成元のムービーが出力フォーマットの設定と異なる場合は、そのムービーは再変換されます。

3. ファイルを保存するダイアログが表示されますので、作成するMPEGムービーのファイル名を入力し、MPEGムービーを保存する場所を選択して保存します。

保存されたMPEGムービーは保存が完了後、アルバムに登録されます。

作成されるムービーについて

ImageMixerでは、MPEGムービーを作成します。作成ではトランジション効果やタイトルを設定した箇所のみ映像の再作成を行います。それ以外の映像部分は処理を行わないため短時間での作成が可能になります。また映像の劣化もありません。サウンドについては全ての時間に渡って再エンコードを行います。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

4-11 動画編集の環境設定

［環境設定］ボタン をクリックすることでアルバムの環境設定を行うことができます。

静止画の設定

ストーリーボードに配置した静止画ファイルの場合、ムービー作成時には動画ファイルのサイズに合わせて拡大・縮小を行います。この時「静止画の比率を保持」にチェックを付けることで画像の比率を維持し、画像が延びたり縮んだりするのを防ぐことができます。

サウンドトラックのグリッドの設定

タイムラインに配置したサウンドの移動やトリミングを行う際に「グリッドに合わせる」にチェックを付けることで、ムービークリップなどに合わせやすくなります。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

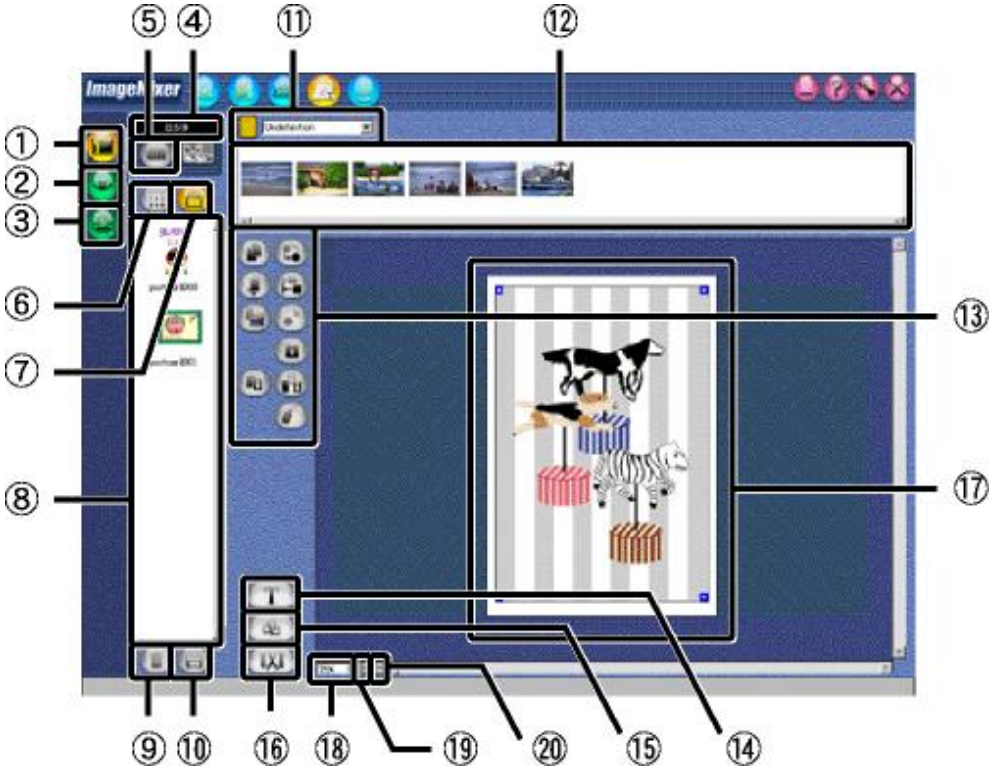
5-1-1　レイアウト作成モードについて

動画編集モードで使用するタイトルやラベルを作成することができます。アルバムで管理するファイルを素材として、文字や図形、画像などを使用し、レイアウトを作成できます。

レイアウト作成モードの起動

1. ImageMixerを起動します。
2. メインセレクタまたはモードセレクトバーの［レイアウト作成］ボタン をクリックして、レイアウト作成モードを起動します。
   レイアウト作成画面が表示されます。必要に応じて、目的のレイアウトメニューに変更します。

レイアウト作成モード画面



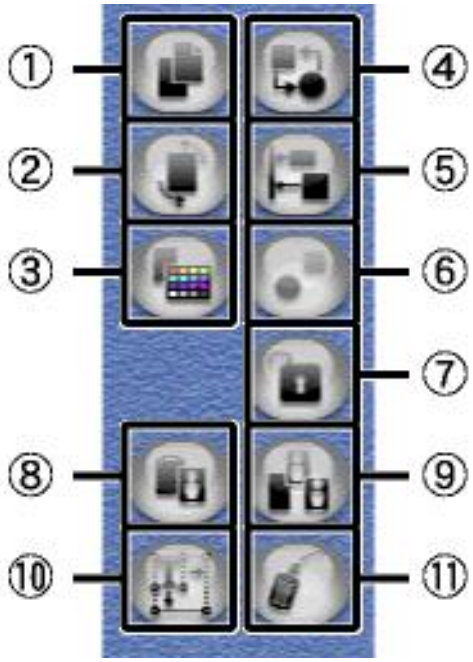
①	レイアウトボタン	クリックすることで、レイアウトに切り替えます。
②	プレビューボタン	クリックすることで、プレビューに切り替えます。 レイアウトメニューのタイトルを起動している場合は表示されません。
③	印刷ボタン	クリックすることで、レイアウトを印刷します。 レイアウトメニューのタイトルを起動している場合は表示されません。
④	レイアウトメニュー名	起動しているレイアウトメニュー名を表示します。

⑤	レイアウトメニュー変更ボタン	クリックすることで、レイアウトメニューを変更することができます。
⑥	テンプレートボタン	クリックすることで、テンプレートリストウィンドウにImageMixerであらかじめ用意しているテンプレートを表示します。
⑦	カスタムテンプレートボタン	クリックすることで、テンプレートリストウィンドウにカスタムテンプレートを表示します。
⑧	テンプレートリストウィンドウ	テンプレートやカスタムテンプレートをリスト表示します。
⑨	カスタムテンプレート削除ボタン	クリックすることで、テンプレートリストウィンドウで選択しているカスタムテンプレートを削除します。
⑩	保存ボタン	クリックすることで、表示しているレイアウトを保存します。
⑪	アルバム選択メニュー	アルバムモードで登録しているアルバム名をメニューで表示します。
⑫	ファイルサムネール一覧ウィンドウ	⑪で選択したアルバムに登録されている静止画ファイルのサムネールをリスト表示します。 静止画ファイル以外のサムネールは表示されません。
⑬	機能パネル	レイアウトやオブジェクトを操作するボタンが配置されています。 起動しているレイアウトや選択しているオブジェクトによって、表示されないボタンがあります。
⑭	文字編集ボタン	クリックすることで、文字オブジェクトの配置および編集を行えます。
⑮	図形編集ボタン	クリックすることで、図形オブジェクトの配置および編集を行えます。
⑯	画像編集ボタン	クリックすることで、画像オブジェクトの配置および編集を行えます。
⑰	レイアウト	文字や図形、画像オブジェクトを配置します。
⑱	表示倍率	レイアウトの表示倍率を%で表示します。
⑲	拡大ボタン	クリックするごとにレイアウトを拡大表示します。
⑳	縮小ボタン	クリックするごとにレイアウトを縮小表示します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-1-2 レイアウト作成モードについて

機能パネル



①	新規作成ボタン	クリックすることで、レイアウトを新規作成します。
②	方向切り替えボタン	クリックすることで、レイアウト方向を変更します。
③	背景色変更ボタン	クリックすることで、レイアウトの背景色を変更することができます。
④	重なり順変更ボタン	クリックすることで、オブジェクトの重なり順を変更することができます。
⑤	整列ボタン	クリックすることで、オブジェクトを整列することができます。
⑥	グループ化ボタン	クリックすることで、複数のオブジェクトをグループ化またはグループ化を解除します。
⑦	ロックボタン	クリックすることで、オブジェクトをロックまたはロックを解除します。

⑧	コピーボタン	クリックすることで、選択しているオブジェクトをコピーします。
⑨	ペーストボタン	クリックすることで、選択しているオブジェクトをペーストします。
⑩	文字変形モード切り替えボタン	クリックすることで、選択している文字オブジェクトを変形モードに切り替え、または通常モードに切り替えます。
⑪	削除ボタン	クリックすることで、選択しているオブジェクトを削除します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-2 レイアウトメニューについて

レイアウトメニューの変更

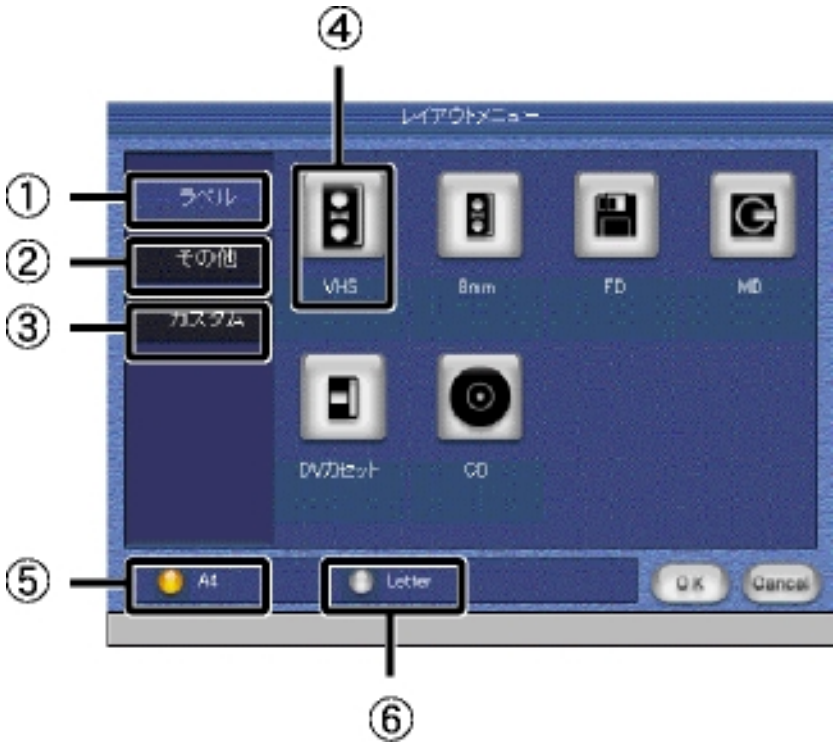
1. レイアウト作成モードを起動します。

2. ［レイアウトメニュー変更］ボタン をクリックします。
レイアウトメニューダイアログが表示されます。

3. レイアウトメニューを選択します。
目的のレイアウトメニューボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックすることで、目的のレイアウトを起動します。レイアウトメニューボタンをダブルクリックすることでも、同じ操作を行えます。

   レイアウトモードでは、レイアウトのサイズをプリンタの用紙サイズから取得しています。 プリンタドライバが指定されていない場合は、レイアウトメニューを選択するとエラーが表示され、新しいレイアウトを作成できません。プリンタドライバを右クリックして［通常使うプリンタに設定］を選択することでプリンタドライバを選択してください。
   ご使用の環境でプリンタを使用していない場合は、システムにあらかじめ組み込まれているプリンタドライバを選択してください。

レイアウトメニュー



①	ラベルタブ	クリックすることで、VHS・8mm・FD・MD・DVカセット・CDのラベルのレイアウトメニューボタンを表示します。
②	その他タブ	クリックすることで、はがき・タイトルのレイアウトメニューボタンを表示します。
③	カスタムボタン	クリックすることで、プリンタが対応している用紙のリストを表示します。
④	レイアウトメニューボタン	クリックすることで、そのレイアウトを起動します。
⑤	A4ボタン	選択することで、①のレイアウトメニューをA4サイズで起動します。①を選択している時のみ表示されます。
⑥	Letterボタン	選択することで、①のレイアウトメニューをLetterサイズで起動します。①を選択している時のみ表示されます。

レイアウトの概要

■ ラベル

VHS	VHSビデオのラベルを作成します。
8mm	8mmビデオのラベルを作成します。
FD	フロッピーディスクのラベルを作成します。
MD	MiniDiscのラベルを作成します。
DVカセット	デジタルビデオカメラのDVカセットのラベルを作成します。
CD	CD-ROMのケースカバーを作成します。

■ その他

はがき	はがきサイズのレイアウトを作成します。
タイトル	動画編集モードで使用するタイトルを作成します。

■ カスタム
プリンタが対応している用紙がリストでレイアウトメニューとして表示されます。
選択した用紙サイズのレイアウトを起動します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-3-1 レイアウトの操作

レイアウトの新規作成

機能パネルの［新規作成］ボタン をクリックすることで、レイアウトを新規作成します。すでに表示しているレイアウトがある場合は、そのレイアウトの保存を促すダイアログが表示されます。ダイアログでの操作は以下の通りです。

［Yes］ボタンをクリックすることで、そのレイアウトにつける名前を入力するダイアログが表示されます。レイアウト名を入力して、［OK］ボタンをクリックします。表示しているレイアウトを保存後、新しいレイアウトを表示します。

［No］ボタンをクリックすることで、 表示しているレイアウトを保存せずに、新しいレイアウトを表示します。

［Cancel］ボタンをクリックすることで、新しいレイアウトの作成をキャンセルし、表示しているレイアウトに戻ります。

レイアウト方向の切り替え

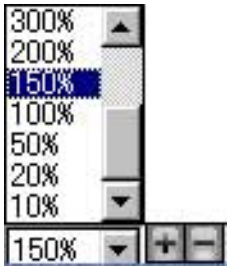
機能パネルの［方向切り替え］ボタン または をクリックすることで、レイアウトの方向を縦と横のいずれかに切り替えます。すでに表示しているレイアウトがある場合は、レイアウトの保存を促すダイアログが表示されます。レイアウトの新規作成をご参照ください。

レイアウトの背景色の変更

機能パネルの［背景色の変更］ボタン でレイアウトの背景色を変更することができます。クリックすることで、カラーパレットが表示されますので、背景色に設定する色を選択します。
背景色をなしにする（元に戻す）場合は、カラーパレットで白を選択する、またはレイアウトを新規作成してください。

レイアウトの拡大縮小表示

［拡大］ボタンをクリックするごとにレイアウトを拡大表示、［縮小］ボタンをクリックするごとにレイアウトを縮小表示します。
また、 表示倍率をクリックすることで、パーセンテージがリスト表示されます。選択した表示倍率でレイアウトを表示します。



Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-3-2 レイアウトの操作

レイアウトの保存

［保存］ボタン をクリックすることで、表示しているレイアウトを保存します。
クリックすると、レイアウトの保存を促すダイアログが表示されます。 レイアウトの新規作成をご参照ください。
保存したレイアウトは「カスタムテンプレート」と言い、［カスタムテンプレート］ボタン をクリックすることで、テンプレートリストウィンドウに表示されます。（保存したレイアウトは、テンプレートリストウィンドウの一番最後に追加されます。）

■ カスタムテンプレートのデータの保存先
［ProgramFiles］-［Pixela］-［ImageMixer］-［UserData］-［レイアウトメニュー名］-［カスタムテンプレート名］のフォルダに保存されます。

レイアウトの削除

テンプレートリストウィンドウに表示されている削除するカスタムテンプレートを選択して、
［カスタムテンプレート削除］ボタン をクリックすることで、カスタムテンプレートを削除します。

レイアウトのプレビュー

［プレビュー］ボタン をクリックすることで、作成したレイアウトのプレビューを表示して印刷結果を確認することができます。

プレビューを表示している時は、モードセレクトバーのボタンは無効になります。また、 レイアウトメニューのタイトルが起動している場合は、このボタンは表示されません。

レイアウトの印刷

［印刷］ボタン をクリックすることで、作成したレイアウトを印刷することができます。
クリックすると、印刷設定ダイアログが表示されますので、印刷を実行します。

また、 レイアウトメニューのタイトルが起動している場合は、このボタンは表示されません。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

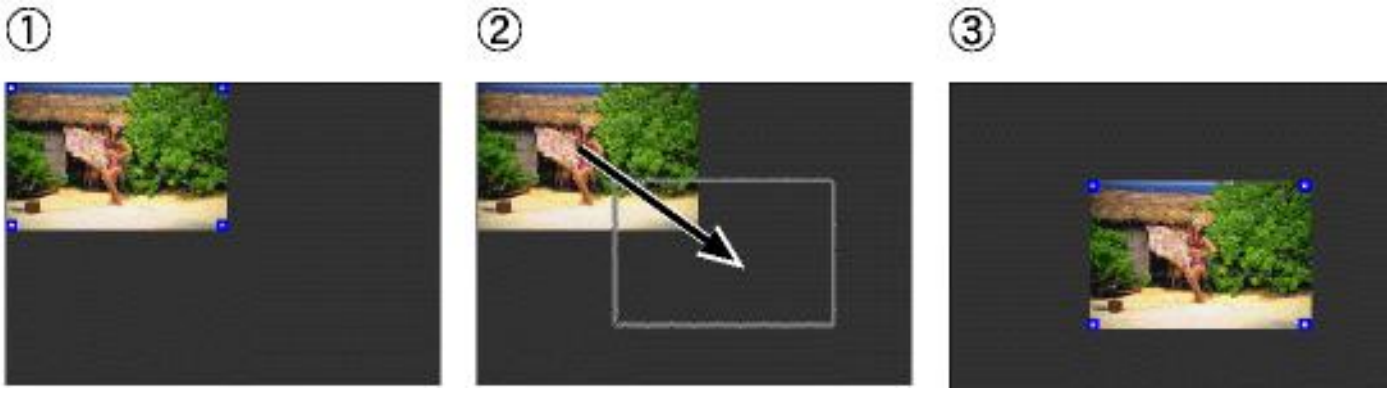
5-4-1 オブジェクトの操作

オブジェクトの配置

文字オブジェクトについては文字の配置と編集、図形オブジェクトについては図形の配置と編集、画像オブジェクトについては画像の配置と編集をご参照ください。

オブジェクトの移動

選択したオブジェクトをマウスでドラッグすることで、オブジェクトを移動できます。



① オブジェクトをクリックしたまま ② 移動する方向にマウスをドラッグして ③ 移動先でマウスのボタンを放します。

このとき、ブロック内（オブジェクトの真ん中あたり）をクリックしてください。コントロールポイントをクリックしてドラッグするのは、サイズ変更の操作になってしまうためです。

■ 複数のオブジェクトを移動する場合
複数選択しているオブジェクトの中で青いコントロールポイントが表示されているオブジェクトをマウスでドラッグします。

■ キーボードで移動
ImageMixerでは、マウスを使用せずにキーボードの上下左右の矢印キーで、マウスと同じようにオブジェクトの移動を行えます。
移動する方向と同じ矢印キーを押す、または［Shift］キーを押しながら矢印キーを押すことで、矢印キーと同じ方向にオブジェクトを移動します。
矢印キーを押すごとに移動する距離は、環境設定のオブジェクトの移動距離で設定します。単に矢印キーを押す場合と［Shift］キーを押す場合の二通りの設定が可能です。

オブジェクトのサイズ変更

選択したオブジェクトに表示されるコントロールポイントをマウスでドラッグすることで、オブジェクトのサイズを変更できます。

① オブジェクトのコントロールポイントをクリックしたまま ② サイズを変更する方向にマウスをドラッグして ③ 移動先でマウスのボタンを放します。

このとき、ブロック内（オブジェクトの真ん中あたり）をクリックしてドラッグすると、移動の操作になりますので、ご注意ください。
コントロールポイントが小さくドラッグしづらい場合は、レイアウトを拡大表示してから実行してください。
複数のオブジェクトや、ロックやグループ化したオブジェクトのサイズ変更は行えません。ロックやグループ化を解除してから、一つずつサイズ変更してください。

■ 等比率でサイズ変更する場合
縦横の比率を崩さずに等比率でサイズ変更する場合は、キーボードの［Shift］キーを押しながらサイズ変更の操作を行うことで実行できます。

■ キーボードでサイズ変更
ImageMixerでは、マウスを使用せずにキーボードの上下左右の矢印キーで、マウスと同じようにオブジェクトのサイズ変更を行えます。
［Ctrl］キーを押しながら上下左右の矢印キーを押すごとに、矢印キーと同じ方向にオブジェクトのサイズが変更されます。
矢印キーを押すごとに変更する幅や高さは、環境設定のオブジェクトのサイズ調整幅で設定します。

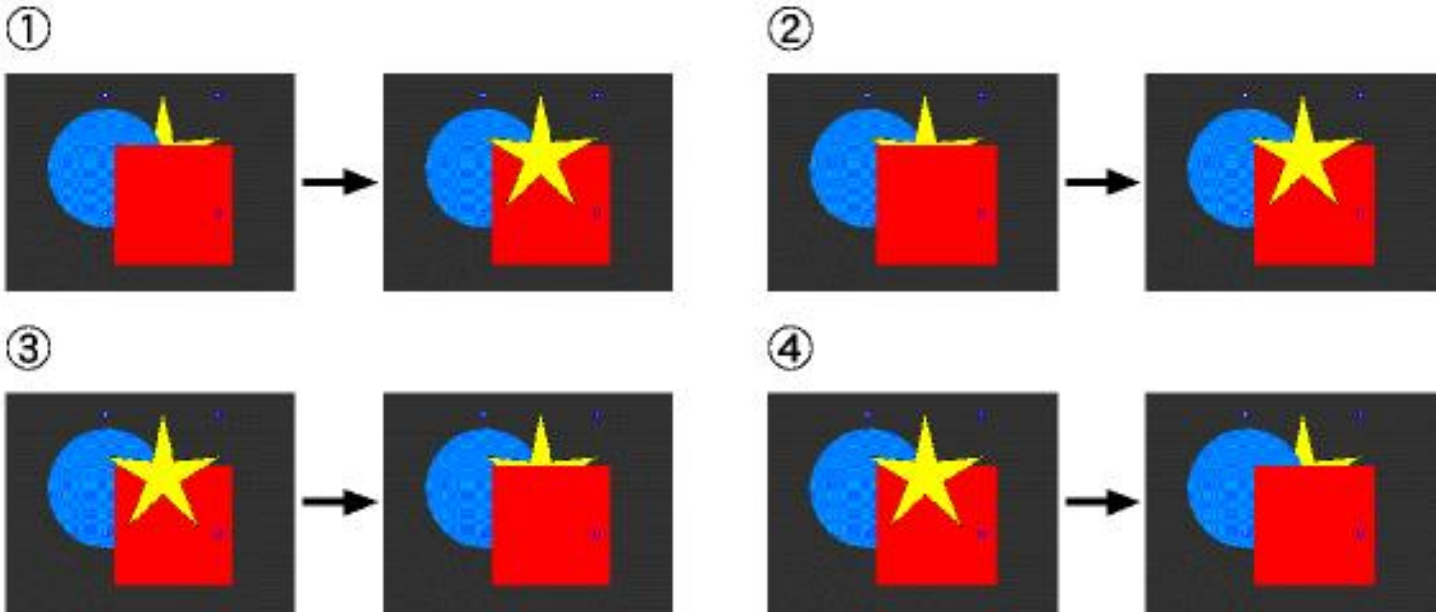
■ 文字オブジェクトのサイズ変更
文字オブジェクトは、設定内容によりサイズ変更されます。文字オブジェクトの設定をご参照ください。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-4-2 オブジェクトの操作

オブジェクトの重なり順の変更

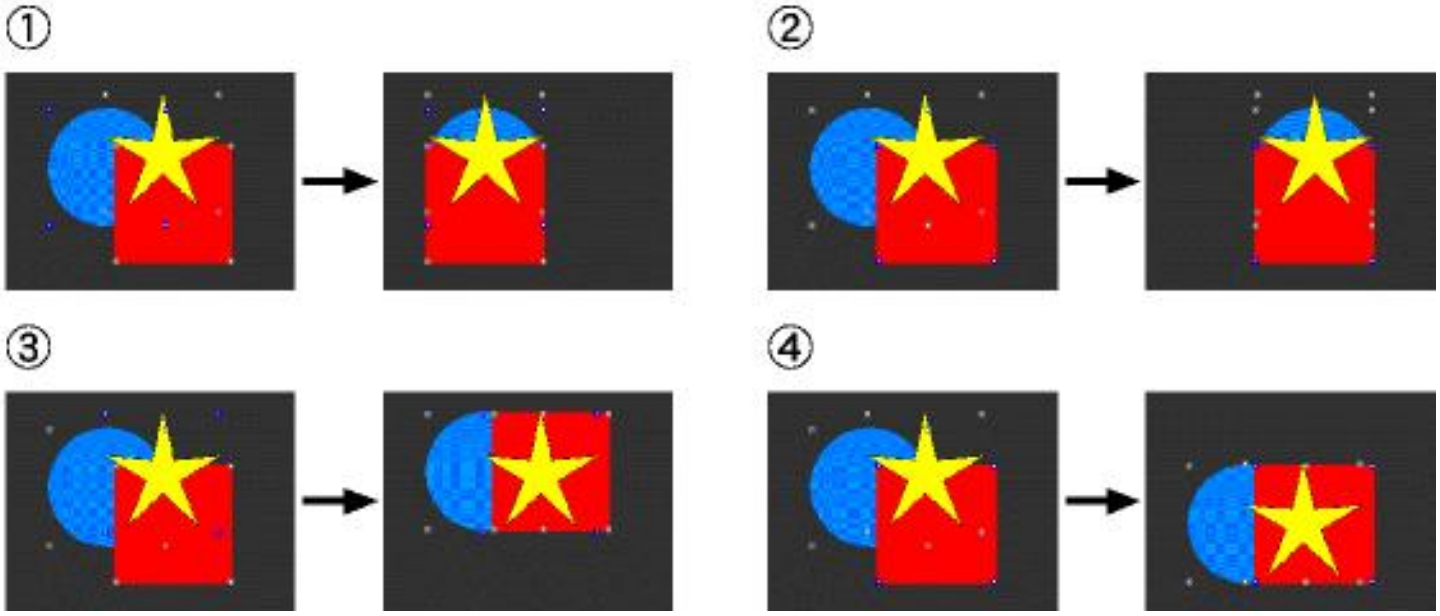
レイアウトに複数のオブジェクトを配置すると、通常は最後に配置したオブジェクトが一番上になります。重なり順を変更するオブジェクトを選択して、機能パネルの［重なり順の変更］ボタンをクリックすることで、重なり順を変更することができます。
［重なり順の変更］ボタンをクリックするとサブメニューが表示されますので、変更する順番を選択します。



①	最前面へ	選択しているオブジェクトを配置しているオブジェクトの一番前面へ移動します。
②	前面へ	選択しているオブジェクトを一つ前面へ移動します。
③	背面へ	選択しているオブジェクトを一つ背面へ移動します。
④	最背面へ	選択しているオブジェクトを配置しているオブジェクトの一番背面へ移動します。

オブジェクトの整列

整列する複数のオブジェクトを選択して、機能パネルの［整列］ボタンをクリックします。サブメニューが表示されますので、整列する方法を選択します。
選択されている複数のオブジェクトのうち、青いコントロールポイントが表示されているオブジェクトが整列の基準になります。



①	左寄せ	基準になるオブジェクトの左側のコントロールポイントに、選択した全てのオブジェクトの左側のコントロールポイントを揃えます。
②	右寄せ	基準になるオブジェクトの右側のコントロールポイントに、選択した全てのオブジェクトの右側のコントロールポイントを揃えます。
③	上寄せ	基準になるオブジェクトの上側のコントロールポイントに、選択した全てのオブジェクトの上側のコントロールポイントを揃えます。
④	下寄せ	基準になるオブジェクトの下側のコントロールポイントに、選択した全てのオブジェクトの下側のコントロールポイントを揃えます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-4-3 オブジェクトの操作

オブジェクトのロック

デザインを崩したくない場合などオブジェクトの移動やサイズ変更ができないように位置を固定することをロックすると言います。ロックするオブジェクトを選択して、機能パネルの［ロック］ボタン をクリックすることで、ロックすることができます。ロックしたオブジェクトのコントロールポイントは黄色で表示されます。この時、［ロック］ボタンは［ロック解除］ボタン になります。
ロックしていたオブジェクトを選択して、この［ロック解除］ボタンをクリックすることで、ロックを解除することができます。

オブジェクトを選択していない場合は、［ロック］ボタンおよび［ロック解除］ボタンはグレー表示になり、クリックすることができません。

オブジェクトのグループ化

複数のオブジェクトをグループにして、一つのオブジェクトとして扱うことができます。

グループ化する複数のオブジェクトを選択して、機能パネルの［グループ化］ボタン をクリックすることで、グループ化します。グループ化したオブジェクトのコントロールポイントは赤で表示されます。この時、［グループ化］ボタンは［グループ化解除］ボタン になります。
グループ化していたオブジェクトを選択して、この［グループ化解除］ボタンをクリックすることで、グループ化を解除することができます。

オブジェクトを選択していない場合は、［グループ化］ボタンおよび［グループ化解除］ボタンはグレー表示になり、クリックすることができません。

オブジェクトのコピーとペースト

オブジェクトをコピーしてペーストする（貼り付ける）ことで、オブジェクトの複製を作成できます。

コピーするオブジェクトを選択して、機能パネルの［コピー］ボタン をクリックします。 選択したオブジェクトがコピーされますので、続けて機能パネルの［ペースト］ボタン をクリックします。コピーしたオブジェクトがレイアウトに貼り付けられます。

複数のオブジェクトを選択してのコピーとペーストもできますが、時間がかかる場合があります。

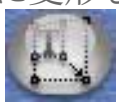
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-4-4 オブジェクトの操作

オブジェクトの削除

削除するオブジェクトを選択して、機能パネルの［削除］ボタン をクリックすることで、選択したオブジェクトを削除することができます。複数のオブジェクトを選択している場合は、全てが同時に削除されます。

文字オブジェクトの変形

文字オブジェクトについては、任意に変形することができます。
変形する文字オブジェクトを選択して、機能パネルの［文字変形モード切り替え］ボタン をクリックすることで、そのオブジェクトを文字変形モードに切り替えます。オブジェクトのサイズ変更と同じ要領で、文字変形モードに切り替えた文字オブジェクトのコントロールポイントをドラッグすると、任意に変形します。この時、［文字変形モード切り替え］ボタンは［通常モード切り替え］ボタン  になります。
文字変形モードにしていた文字オブジェクトを選択して、［通常モード切り替え］ボタン をクリックすることで、通常モードに切り替えます。

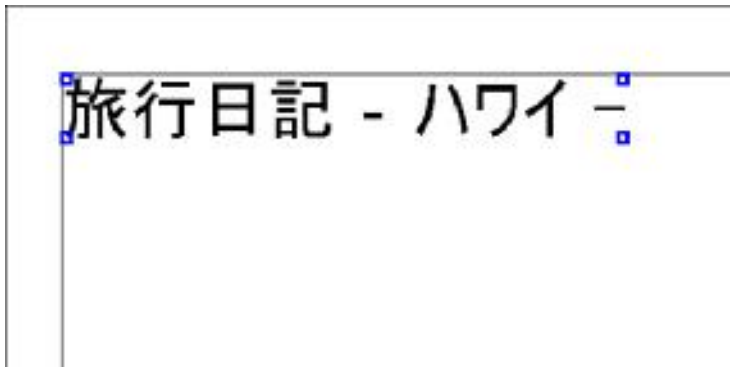
- 文字オブジェクトの文字のスタイルがイタリック、またはボールドイタリックに設定されている場合は変形できません。
- 文字オブジェクトの文字ブロックへの格納はサイズを調整するに設定している必要があります。
- 文字変形モードの文字オブジェクトの編集では、行揃えと文字ブロックへの格納の設定はできません。
- 文字変形モードから通常モードに切り替えた場合、その文字オブジェクトの移動やサイズ変更を行うと、オブジェクトが調整されます。また、変形した文字サイズが小さい場合、文字が崩れる場合があります。文字が崩れた場合は、文字のフォントサイズを大きく設定してください。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-5-1 文字の配置と編集

文字オブジェクトの配置

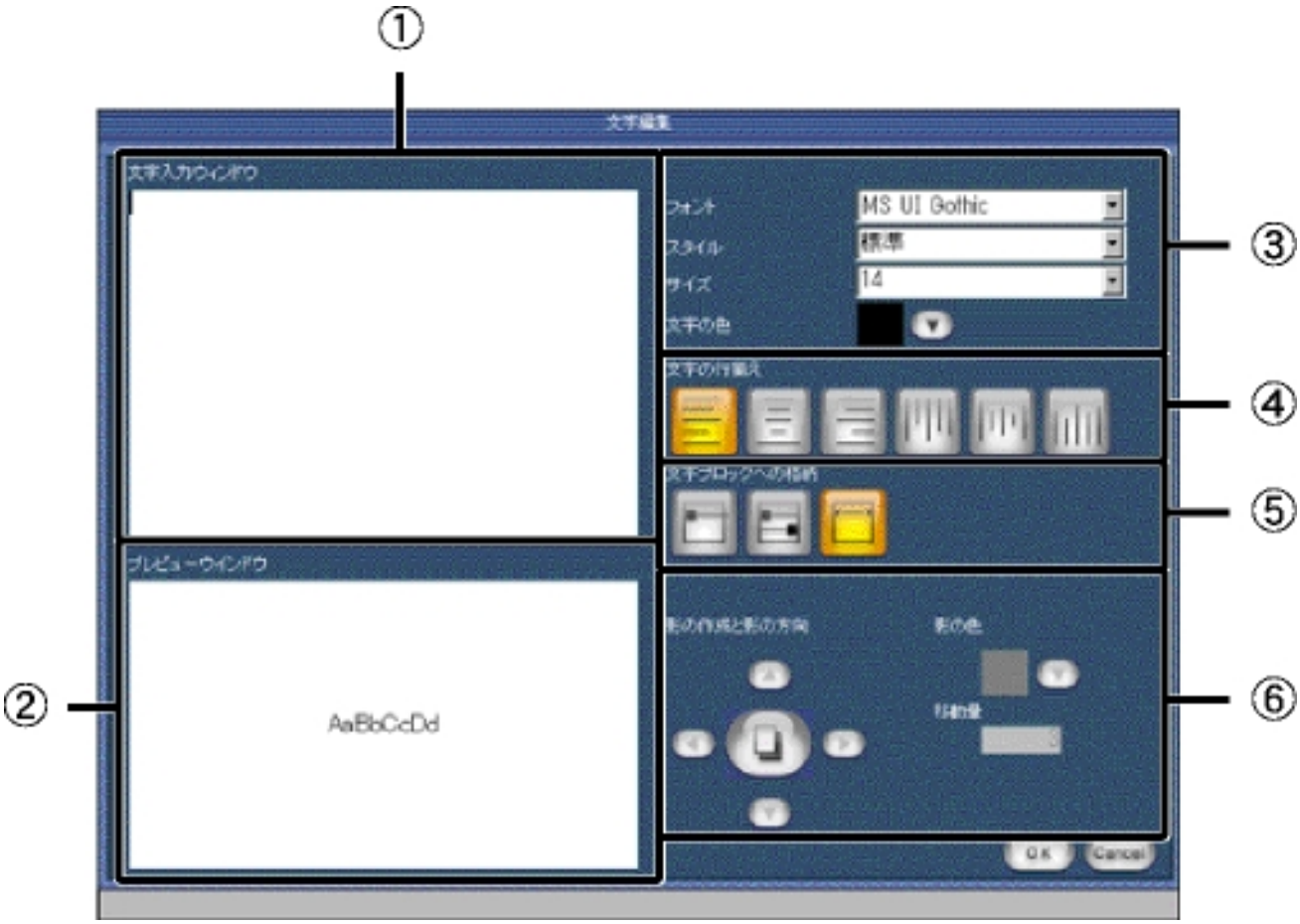
［文字編集］ボタン をクリックすることで、文字編集ダイアログが表示されます。文字入力ウィンドウに配置する文字を入力して、文字オブジェクトの設定を行った後、［OK］ボタンをクリックすることで、入力した文字がレイアウトに文字オブジェクトとして配置されます。



文字オブジェクトの編集

レイアウトに配置した文字オブジェクトをダブルクリックすることで、文字編集ダイアログを再度表示して、文字を入力し直したり、設定を変更するなどの編集を行うことができます。

文字編集ダイアログ



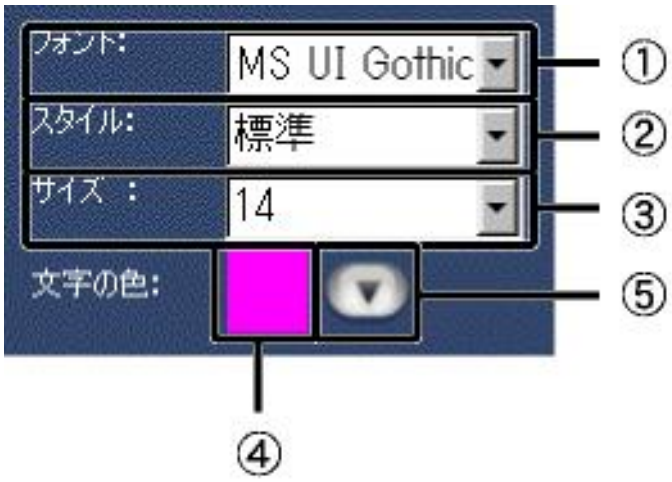
①	文字入力ウィンドウ	配置する文字を入力します。
②	プレビューウィンドウ	③ ⑥ の設定に合わせて、配置する文字がどのように表示されるかを表示します。
③	スタイル設定	配置する文字のフォントやスタイル、サイズ、色などを設定します。
④	行揃え	文字ブロック内で文字がどの位置に表示するかを設定します。
⑤	文字ブロックへの格納	文字ブロック内で文字がどのように調整するかを設定します。
⑥	影の作成と影の方向	文字に影を作成する設定を行います。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-5-2 文字の配置と編集

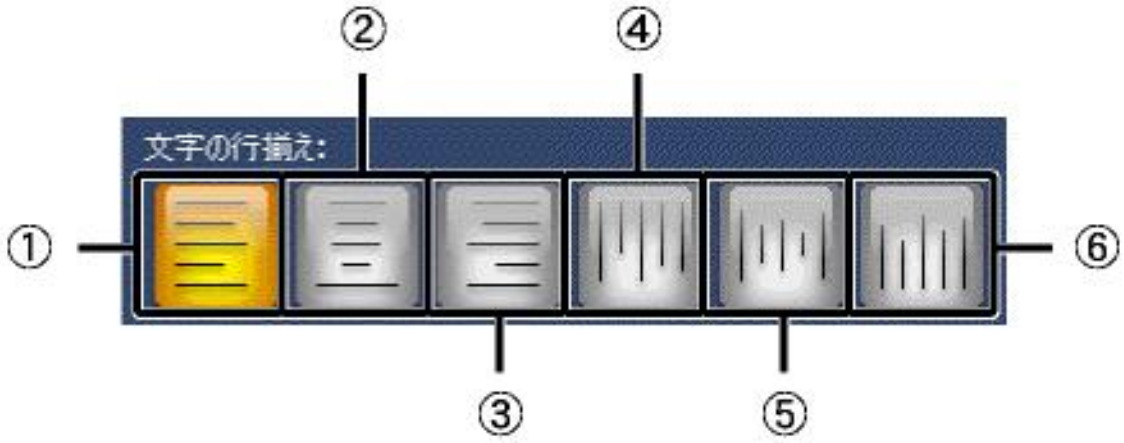
文字オブジェクトの設定

■ スタイル設定



①	フォント	配置する文字のフォントを選択します。
②	スタイル	配置する文字のスタイルを選択します。
③	サイズ	配置する文字のサイズを選択します。 数値を入力することで設定することもできます。
④	文字の色	設定している文字の色を表示します。
⑤	色の選択ボタン	クリックすることで、カラーパレットが表示されます。 配置する文字の色を選択します。

■ 行揃え



①	横左揃え	配置する文字を文字ブロック内で横書きの左揃えに設定します。
②	横中央揃え	配置する文字を文字ブロック内で横書きの中央揃えに設定します。
③	横右揃え	配置する文字を文字ブロック内で横書きの右揃えに設定します。
④	縦上揃え	配置する文字を文字ブロック内で縦書きの上揃えに設定します。
⑤	縦中央揃え	配置する文字を文字ブロック内で縦書きの中央揃えに設定します。
⑥	縦下揃え	配置する文字を文字ブロック内で縦書きの下揃えに設定します。

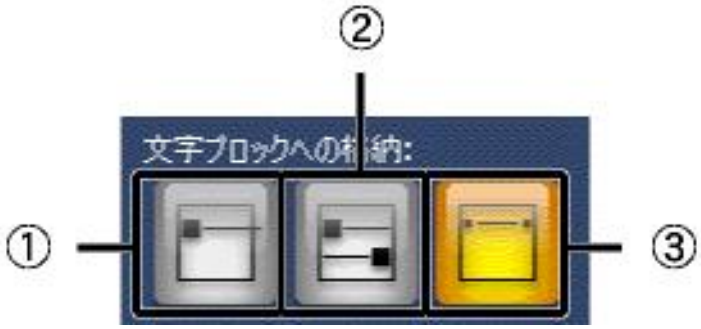
縦書きの設定を行う場合、スタイル設定で @ マークのついたフォントを選択する必要があります。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-5-3 文字の配置と編集

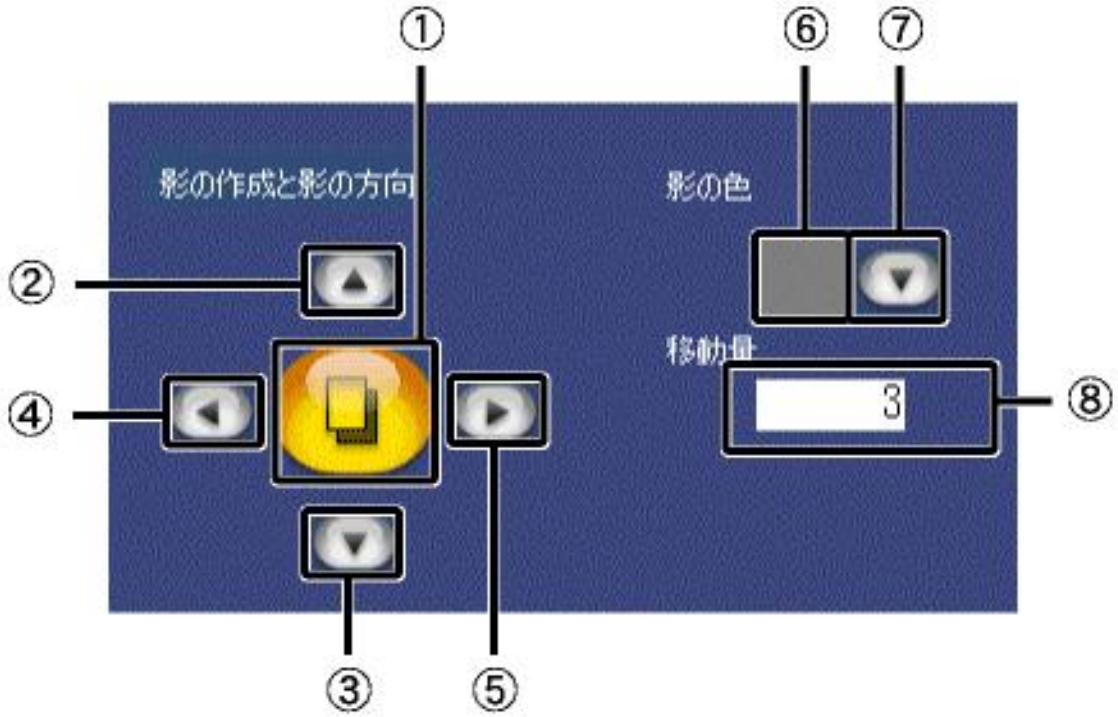
文字オブジェクトの設定

■ 文字ブロックへの格納



①	調整しない	文字ブロック内の文字の調整は行いません。どんなに文字ブロックを拡大しても、設定したフォントサイズ以上では表示しません。 旅行日記 - ハワイ - 文字ブロックが小さい時は、全ての文字が表示されない場合があります。
②	折り返す	文字ブロックの幅または高さが狭い時に文字が表示しきれない場合は、自動的に折り返して表示します。 旅行日記 - パワイ -
③	調整する	配置する文字を文字ブロック内にフィットさせます。文字ブロックを拡大縮小しても、常に文字が文字ブロック内にぴったり収まります。 旅行日記 - ハワイ -

■ 影の作成と影の方向



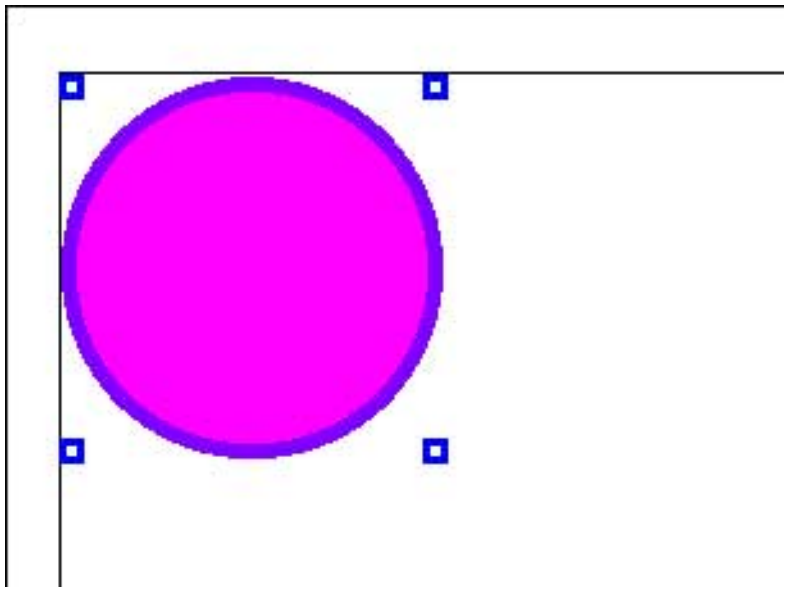
①	影の作成ボタン	クリックすることで、配置する文字に影をつけます。
②	上ボタン	クリックするごとに、影の位置を上に移動します。
③	下ボタン	クリックするごとに、影の位置を下に移動します。
④	左ボタン	クリックするごとに、影の位置を左に移動します。
⑤	右ボタン	クリックするごとに、影の位置を右に移動します。
⑥	影の色	設定している影の色を表示します。
⑦	色の選択ボタン	クリックすることで、カラーパレットが表示されます。影の色を選択します。
⑧	移動量	数値を入力することで、②③④⑤のボタンをクリックするごとに移動する距離を設定します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-6-1 図形の配置と編集

図形オブジェクトの配置

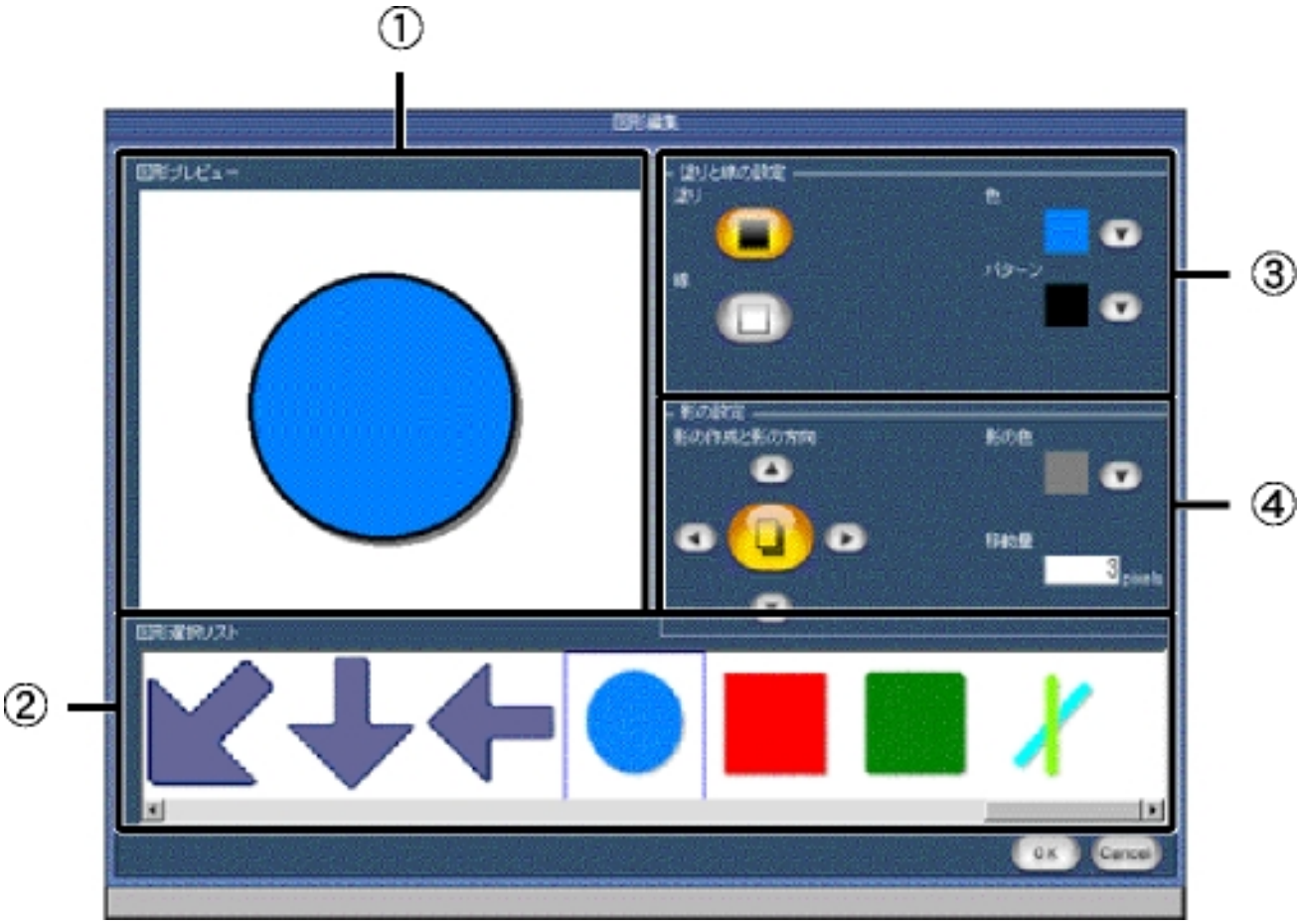
［図形編集］ボタン をクリックすることで、図形編集ダイアログが表示されます。配置する図形を図形選択リストで選択して、図形オブジェクトの設定を行った後、［OK］ボタンをクリックすることで、選択した図形がレイアウトに図形オブジェクトとして配置されます。



図形オブジェクトの編集

レイアウトに配置した図形オブジェクトをダブルクリックすることで、図形編集ダイアログを再度表示して、図形や設定を変更するなどの編集を行うことができます。

図形編集ダイアログ



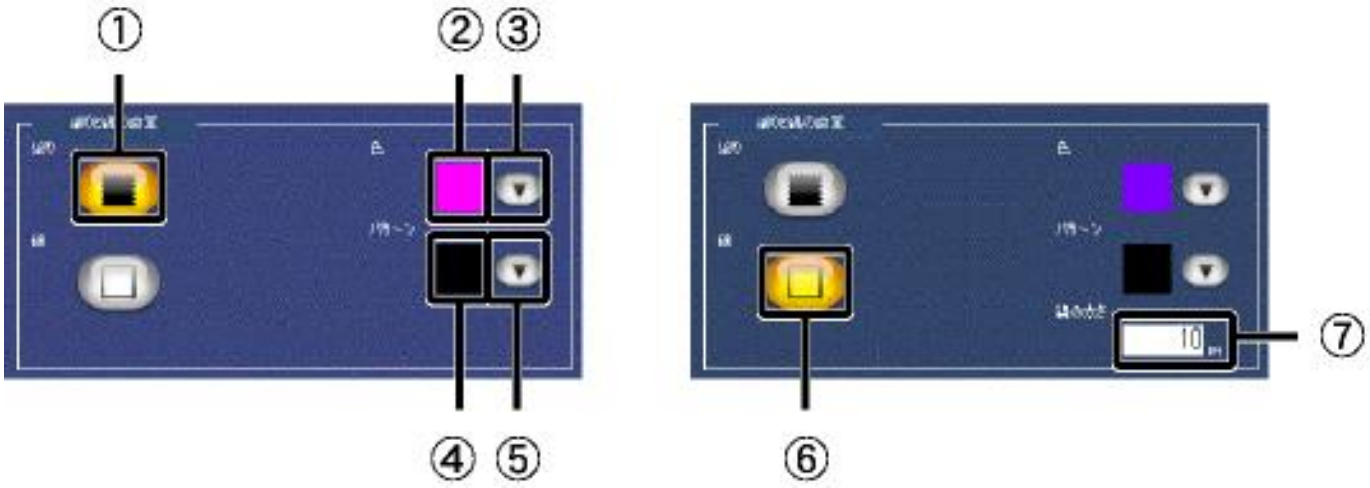
①	図形プレビュー	② ③ ④ の設定に合わせて、配置する図形がどのように表示されるかを表示します。
②	図形選択リスト	配置する図形を選択します。
③	塗りと線の設定	配置する図形の塗りや線の設定を行います。
④	影の設定	図形に影を作成する設定を行います。

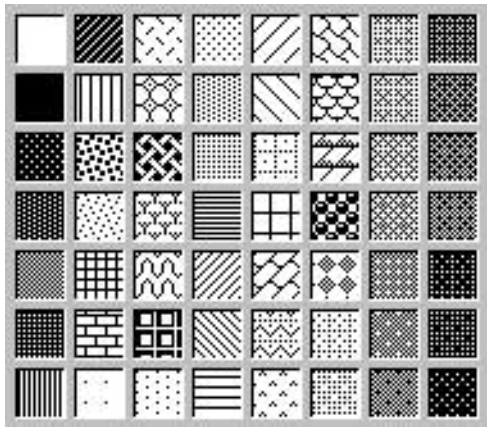
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

5-6-2 図形の配置と編集

図形オブジェクトの設定

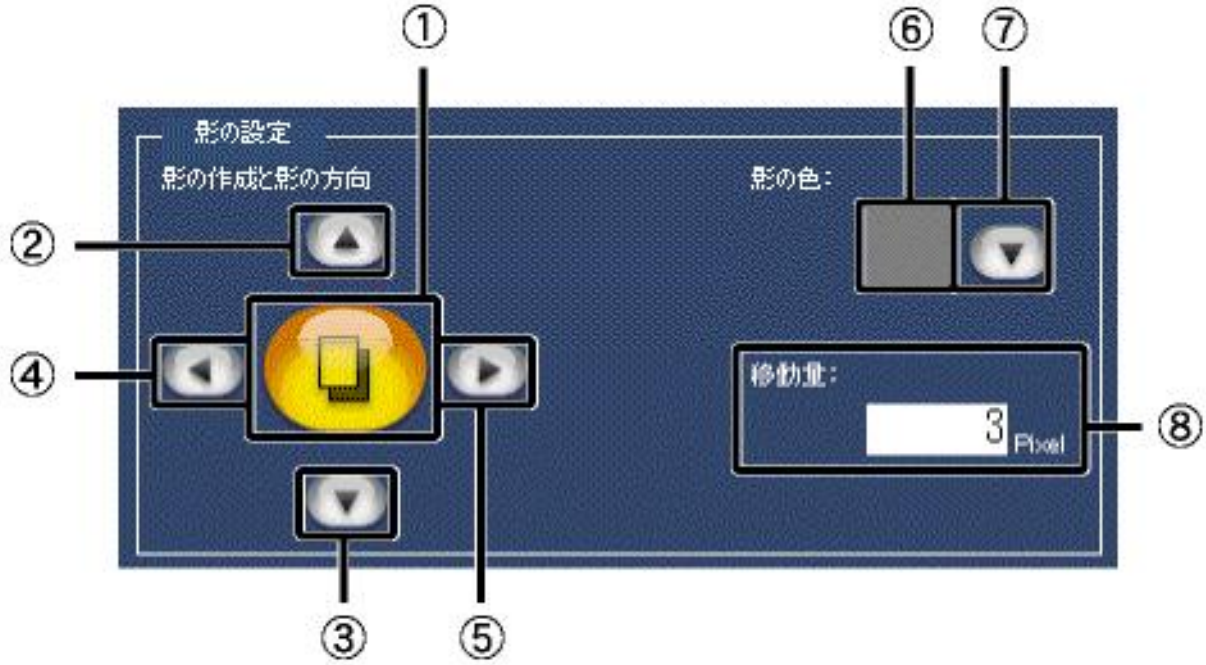
■ 塗りと線の設定



①	塗りボタン	クリックすることで、図形の塗りの設定を行えます。
②	塗りや線の色	設定している図形の塗りや線の色を表示します。
③	色の選択ボタン	クリックすることで、カラーパレットが表示されます。図形の塗りや線の色を選択します。
④	パターン	設定している図形の塗りや線のパターンを表示します。
⑤	パターンの選択ボタン	クリックすることで、以下のパターンパレットが表示されます。図形の塗りや線のパターン（模様）を選択します。 

		左上の白を選択すると図形の塗りや線が透明になり、黒を選択すると ③ で設定した色になります。図形選択リストで多角形および直線を選択している場合は、線のパターンの選択はできません。
⑥	線ボタン	クリックすることで、図形の線の設定を行えます。
⑦	線の太さ	数値を入力することで、図形の線の太さをポイント単位で設定します。 0ポイントの設定は行えません。線を表示しない場合は、線の太さを1ポイント、パターンを白に設定してください。

■ 影の設定



①	影の作成ボタン	クリックすることで、配置する図形に影をつけます。
②	上ボタン	クリックするごとに、影の位置を上に移動します。
③	下ボタン	クリックするごとに、影の位置を下に移動します。
④	左ボタン	クリックするごとに、影の位置を左に移動します。
⑤	右ボタン	クリックするごとに、影の位置を右に移動します。
⑥	影の色	設定している影の色を表示します。

⑦	影の色の選択ボタン	クリックすることで、カラーパレットが表示されます。影の色を選択します。
⑧	移動量	数値を入力することで、② ③ ④ ⑤ のボタンをクリックするごとに移動する距離を設定します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

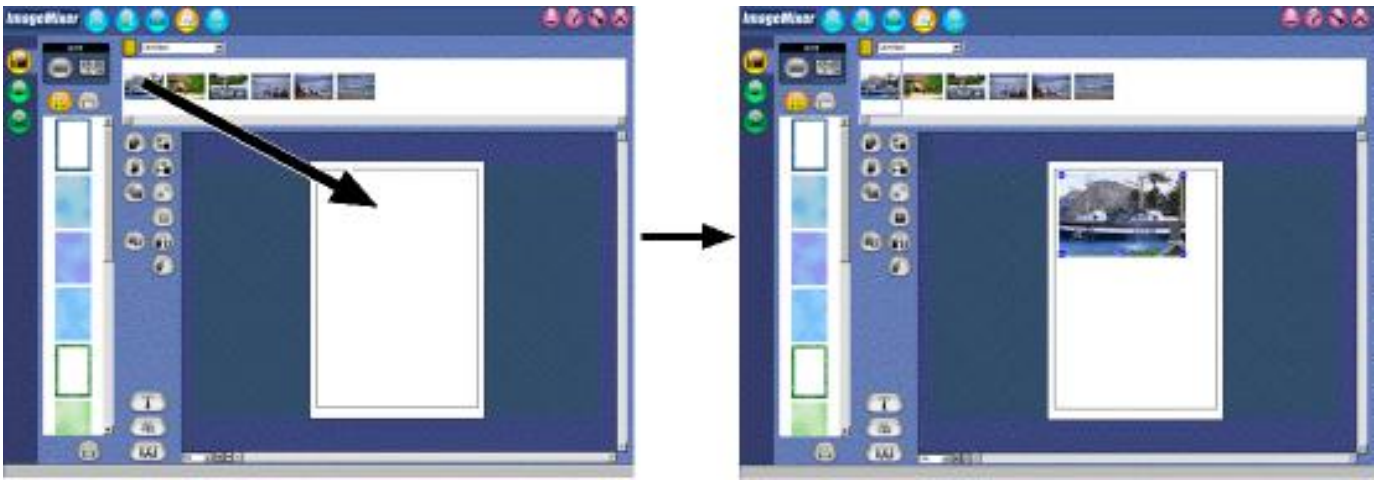
5-7 画像の配置と編集

画像オブジェクトの配置

■ アルバムの登録ファイルを使用

1. 配置したいファイルが登録されているアルバムをアルバム選択メニューから選択します。
   選択したアルバムに登録されている静止画ファイルのサムネールがファイルサムネール一覧ウィンドウに表示されます。
   静止画ファイルのサムネールのみ表示されます。

2. 以下のように、ファイルサムネール一覧ウィンドウに表示されているサムネールをレイアウトにドラッグ、またはダブルクリックします。
   選択したサムネールの静止画ファイルがレイアウトに画像オブジェクトとして配置されます。



■ テンプレートを使用

1. ［テンプレート］ボタン または［カスタムテンプレート］ボタン をクリックして、テンプレートまたはカスタムテンプレートを表示します。

2. テンプレートリストウィンドウに表示されているテンプレート、またはカスタムテンプレートをダブルクリックします。
   選択したテンプレート、またはカスタムテンプレートがレイアウトに配置されます。
   テンプレートまたはカスタムテンプレートを以下のようにドラッグすることで、同じ操作を行えます。

画像オブジェクトの編集

レイアウトに配置した画像オブジェクトをダブルクリック、または配置した画像オブジェクトを選択して［画像編集］ボタン をクリックすることで、画像編集モードが起動し、画像の編集を行うことができます。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

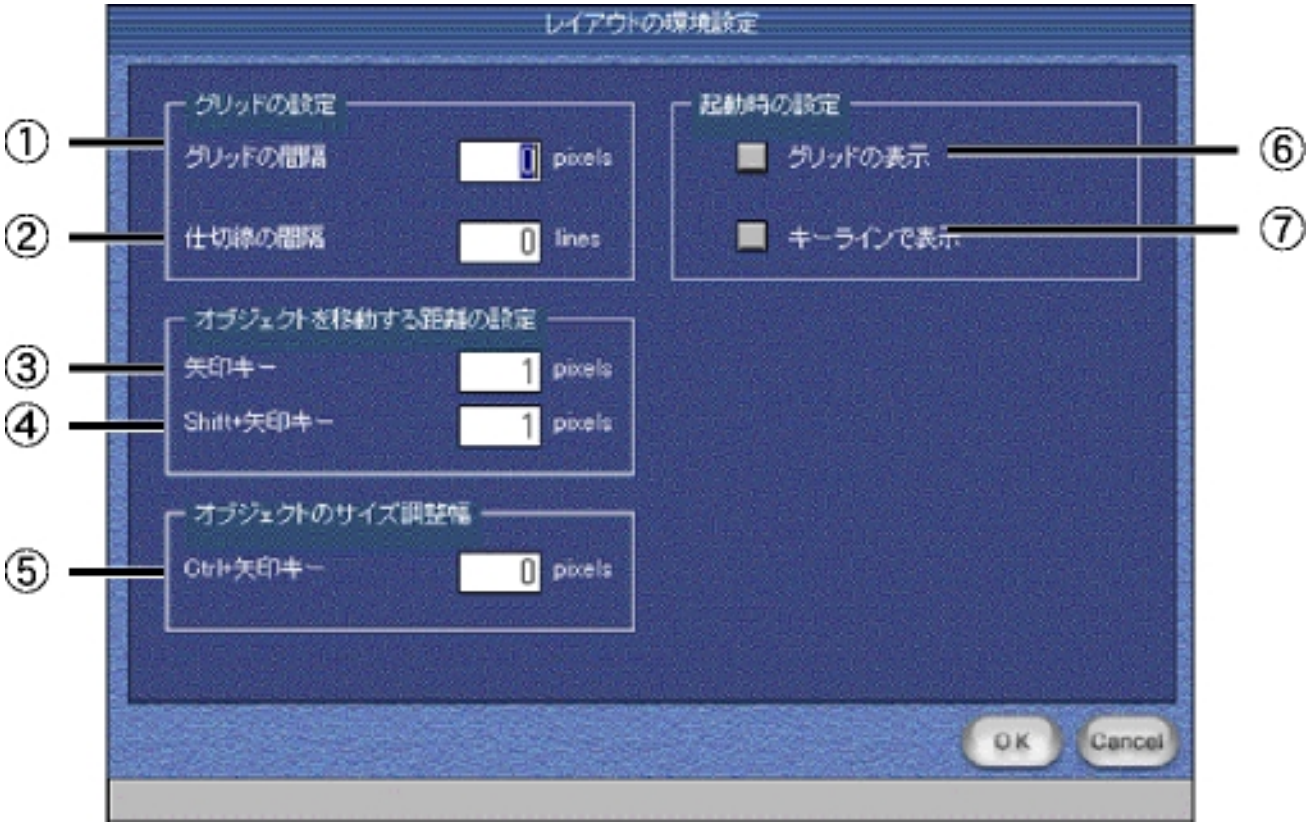
5-8 レイアウト作成モードの環境設定

レイアウト作成モードに関する環境設定を行います。

環境設定の表示

1. ImageMixerを起動します。
2. メインセレクタの［レイアウト作成］ボタン をクリックして、レイアウト作成モードを起動します。
3. モードセレクトバーから［環境設定］ボタン をクリックします。
   レイアウト作成モードの環境設定ダイアログが表示されます。

環境設定ダイアログ



①	グリッドの間隔	数値を入力することで、グリッド線の間隔を設定します。 ［グリッド表示］にチェックが入っていない場合は、数値を入力しても設定は無効になります。
②	仕切線の間隔	数値を入力することで、グリッド線の間に表示する仕切線の間隔を設定します。 ［グリッド表示］にチェックが入っていない場合は、数値を入力しても設定は無効になります。
③	矢印キー	数値を入力することで、キーボードの上下左右の矢印キーを押すごとにオブジェクトが移動する距離を設定します。
④	Shift ＋ 矢印キー	数値を入力することで、［Shift］キーを押しながら、上下左右の矢印キーを押すごとにオブジェクトが移動する距離を設定します。
⑤	Ctrl ＋ 矢印キー	数値を入力することで、［Ctrl］キーを押しながら、上下左右の矢印キーを押すごとにオブジェクトのサイズを変更する幅を設定します。
⑥	グリッドの表示	チェックすることで、レイアウトにグリッド線および仕切線を表示します。
⑦	キーラインで表示	チェックすることで、レイアウトに配置したオブジェクトをボックス（簡易）表示します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer
はじめに
第一章　ご使用前に
第二章　入力
第三章　アルバム
第四章　動画編集
第五章　レイアウト作成
第六章　画像編集
◆ 画像編集モードについて
画像編集モードの起動
画像編集モード画面
◆ フィルタモード
赤目補正
自動補正
明るさコントラスト
色相彩度
シャープネス
ぼかし
◆ 描画モード
ブラシ
ペン
消しゴム
塗りつぶし
エアブラシ
◆ 編集モード
切り抜き
回転
◆ 画像サイズ変更モード
◆ マスクモード
グラデーションマスク
切り取りマスク
マスク描画
◆ 影の作成モード
◆ 背景との合成モード
第七章　ビデオディスク作成

6-1-1　画像編集モードについて

ImageMixerでは、静止画ファイルの編集機能を装備しています。アルバムモードおよびレイアウト作成モードから起動することができます。

画像編集モードの起動

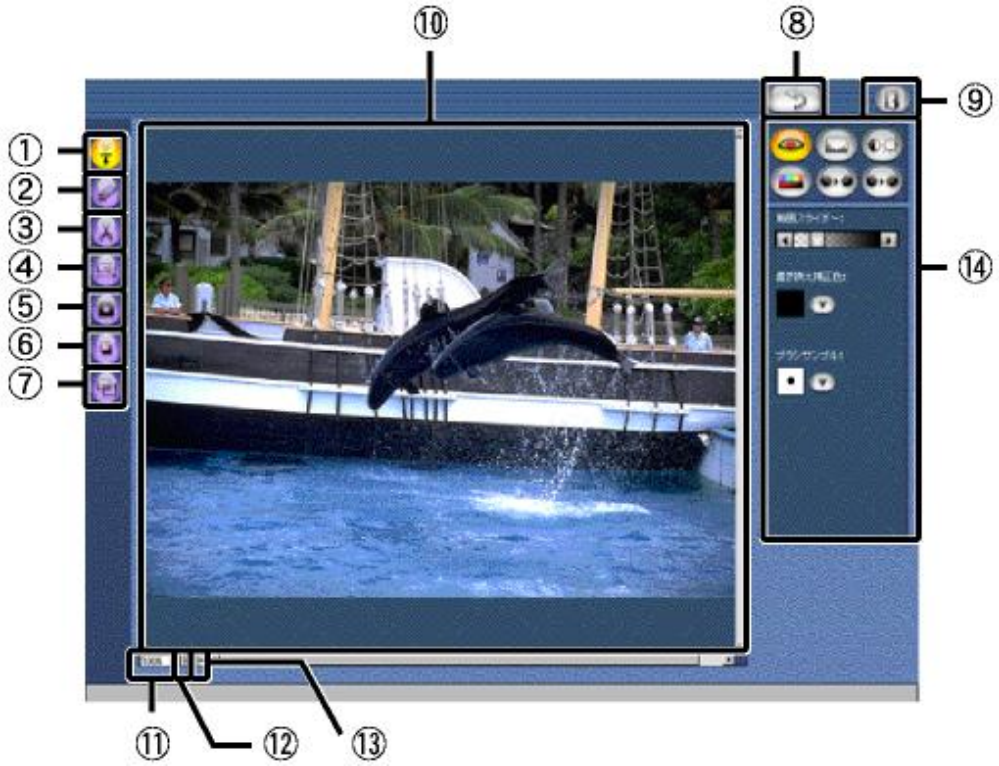
■ アルバムモードから起動

1. ImageMixerを起動します。
2. メインセレクタまたはモードセレクトバーの［アルバム］ボタン をクリックして、アルバムモードを起動します。
3. アルバムに登録している静止画ファイルのサムネールを選択します。
   必要に応じてアルバムを切り替えます。
4. ［画像編集］ボタン をクリックします。

■ レイアウト作成モードから起動

1. ImageMixerを起動します。
2. メインセレクタまたはモードセレクトバーの［レイアウト作成］ボタン をクリックして、レイアウト作成モードを起動します。
3. 目的のレイアウトを起動します。
4. 静止画ファイルを配置します。
5. 配置した画像オブジェクトを選択します。
6. ［画像編集］ボタン をクリックします。
   配置した画像オブジェクトをダブルクリックすることで、同じ操作を行えます。

画像編集モード画面



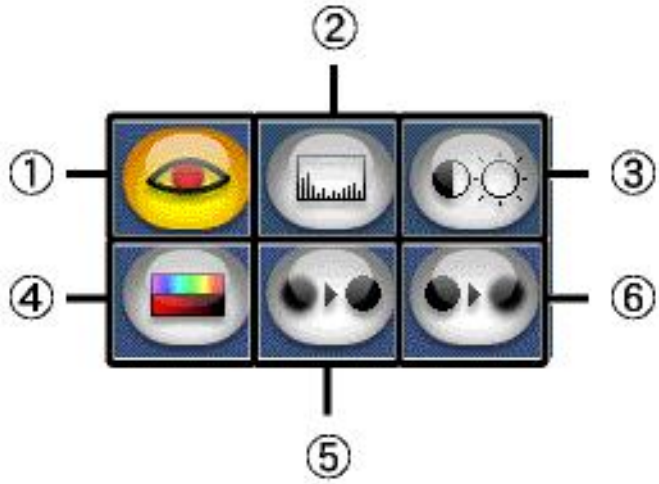
⑤ ⑥ ⑦ のボタンは、アルバムモードから画像編集モードを起動した場合は表示されません。

①	フィルタボタン	クリックすることで、フィルタモードに切り替えます。
②	描画ボタン	クリックすることで、描画モードに切り替えます。
③	編集ボタン	クリックすることで、編集モードに切り替えます。
④	画像サイズ変更ボタン	クリックすることで、画像サイズ変更モードに切り替えます。
⑤	マスクボタン	クリックすることで、マスクモードに切り替えます。
⑥	影の作成ボタン	クリックすることで、影の作成モードに切り替えます。
⑦	背景との合成ボタン	クリックすることで、背景との合成モードに切り替えます。
⑧	取り消しボタン	クリックすることで、直前の操作を取り消します。
⑨	戻るボタン	クリックすることで、画像編集モードを起動した時のモードに戻ります。
⑩	画像編集ウィンドウ	画像を表示します。
⑪	表示倍率	画像編集ウィンドウの表示倍率を%で表示します。
⑫	拡大	クリックするごとに、画像編集ウィンドウを拡大表示します。
⑬	縮小	クリックするごとに、画像編集ウィンドウを縮小表示します。
⑭	モードパネル	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ のモードに合わせたツールや編集設定項目が表示されます。

⑪ ⑫ ⑬ は、 ⑦ のモードのときは表示されません。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

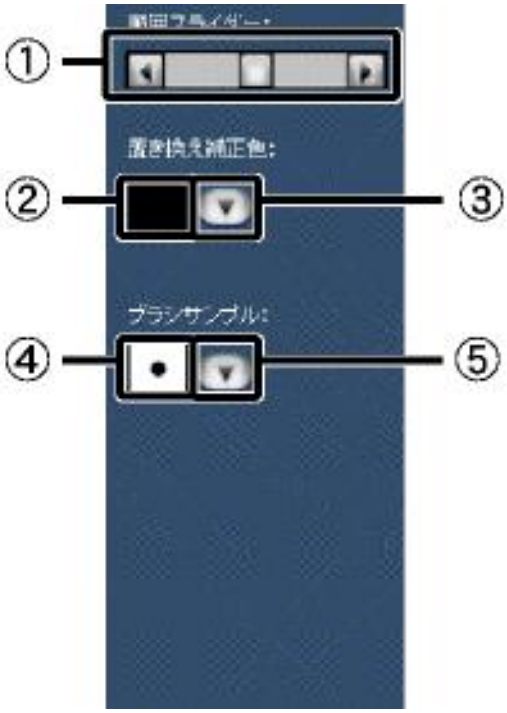
6-2-1 フィルタモード



①	赤目補正ボタン	クリックすることで、赤目補正が行えます。
②	自動補正ボタン	クリックすることで、自動補正が行えます。
③	明るさコントラストボタン	クリックすることで、明るさとコントラストの調整を行えます。
④	色相彩度ボタン	クリックすることで、色相・彩度・明度の調整を行えます。
⑤	シャープネスボタン	クリックすることで、画像をシャープにする編集が行えます。
⑥	ぼかしボタン	クリックすることで、画像をぼかす編集が行えます。

赤目補正

設定を行った後、赤目補正を行う箇所をマウスで直接、画像編集ウィンドウに描画します。



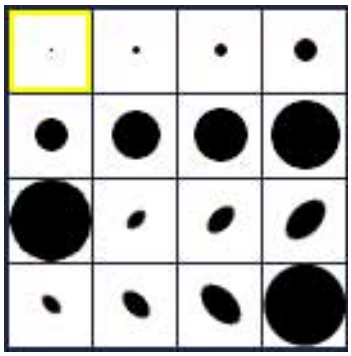
① 範囲スライダー
スライダーをドラッグすることで、 赤目補正の範囲を指定します。

② 置き換え補正色
設定している補正色を表示します。

③ 色の選択ボタン
クリックすることで、カラーパレットが表示されます。補正色に設定する色を選択します。

④ ブラシサンプル
設定しているブラシサイズを表示します。

⑤ ブラシサイズの選択ボタン
クリックすることで、以下のようなブラシサイズ選択ウィンドウが表示されますので、赤目補正するブラシサイズを選択します。

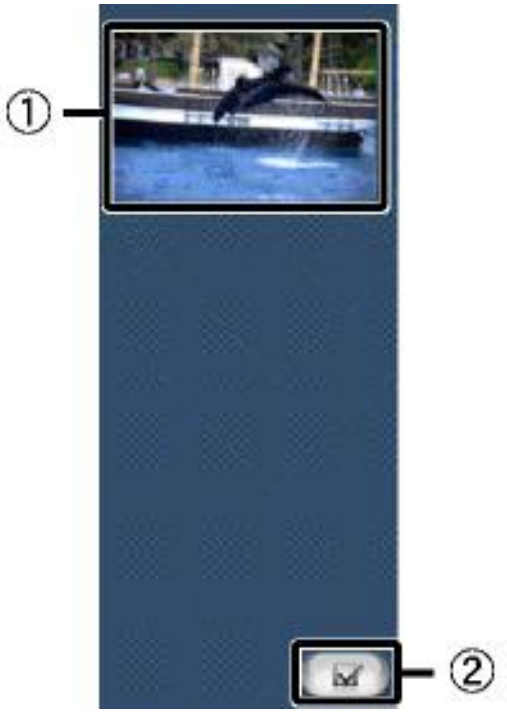


Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

6-2-2 フィルタモード

自動補正

ImageMixerが自動的に補正します。
画像によっては、効果が得られない場合もあります。

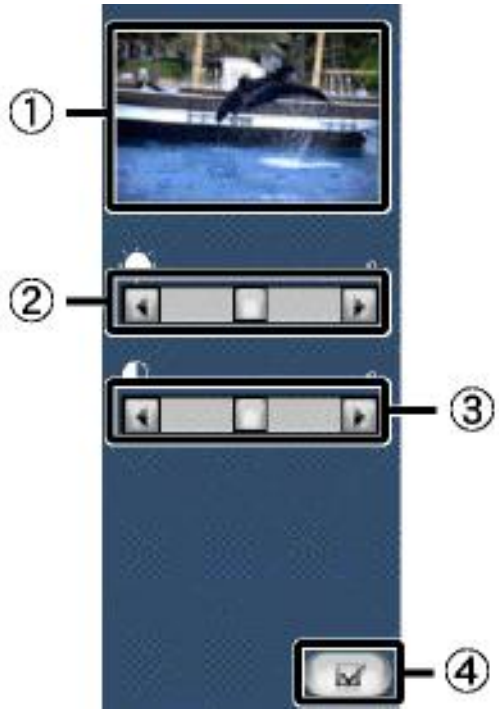


① プレビューウィンドウ
自動補正の結果を表示します。

② ［OK］ボタン
クリックすることで、自動補正を実行します。

明るさコントラスト

プレビューウィンドウで確認しながら、スライダーで調整を行います。



① プレビューウィンドウ
設定した明るさ・コントラストの調整の結果を表示します。

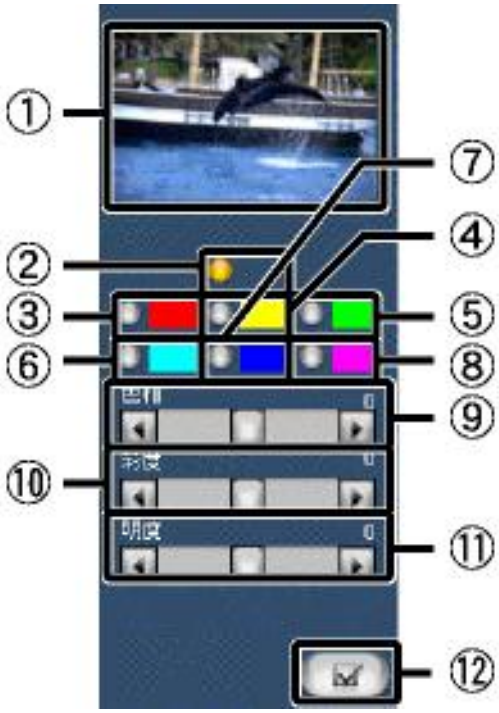
② 明るさ
スライダーをドラッグすることで、明るさの調整を行います。

③ コントラスト
スライダーをドラッグすることで、コントラストの調整を行います。

④ ［OK］ボタン
クリックすることで、設定した明るさ・コントラストの調整を実行します。

色相彩度

調整するいずれかの色を選択した後、プレビューウィンドウで確認しながら、スライダーで調整を行います。



① プレビューウィンドウ
設定した色相・彩度・明度の調整の結果を表示します。

② 全体
選択することで、画像全体の色相・彩度・明度を調整します。

③ レッド
選択することで、レッドの色相・彩度・明度を調整します。

④ イエロー
選択することで、イエローの色相・彩度・明度を調整します。

⑤ グリーン
選択することで、グリーンの色相・彩度・明度を調整します。

⑥ シアン
選択することで、シアンの色相・彩度・明度を調整します。

⑦ ブルー
選択することで、ブルーの色相・彩度・明度を調整します。

⑧ マゼンタ
選択することで、マゼンタの色相・彩度・明度を調整します。

⑨ 色相
スライダーをドラッグすることで、色相を調整します。

⑩ 彩度
スライダーをドラッグすることで、彩度を調整します。

⑪ 明度
スライダーをドラッグすることで、明度を調整します。

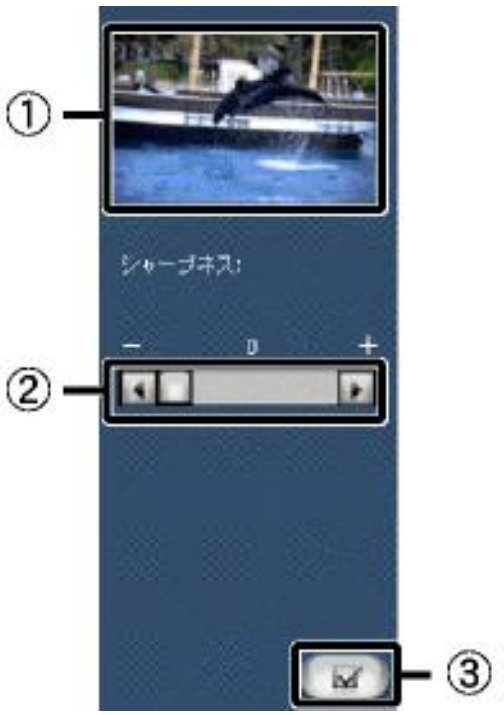
⑫ ［OK］ボタン
クリックすることで、設定した色相・彩度・明度の調整を実行します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

6-2-3 フィルタモード

シャープネス

プレビューウィンドウで確認しながら、スライダーで調整を行います。



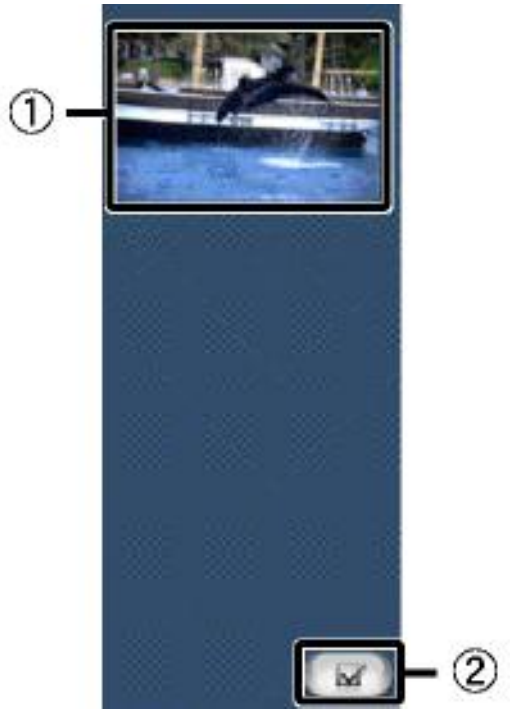
① プレビューウィンドウ
設定したシャープネスの結果を表示します。

② シャープネス
スライダーをドラッグすることで、シャープさの調整を行います。＋になるほどシャープさが増します。

③ ［OK］ボタン
クリックすることで、設定したシャープネスを実行します。

ぼかし

ImageMixerが自動的にぼかしの処理を行います。



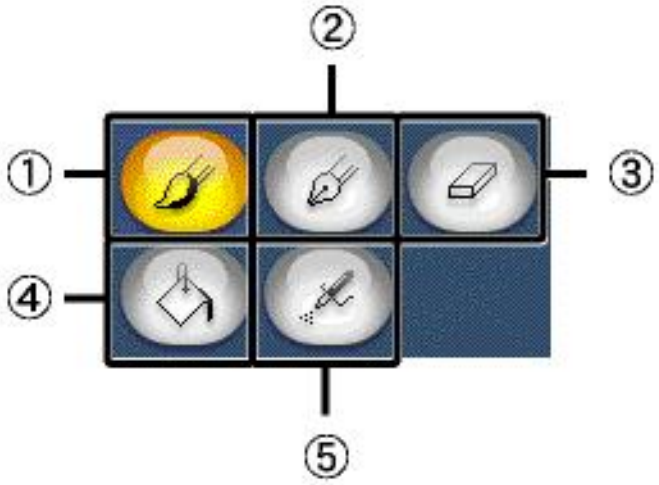
① プレビューウィンドウ
ぼかしの結果を表示します。

② ［OK］ボタン
クリックすることで、ぼかしを実行します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

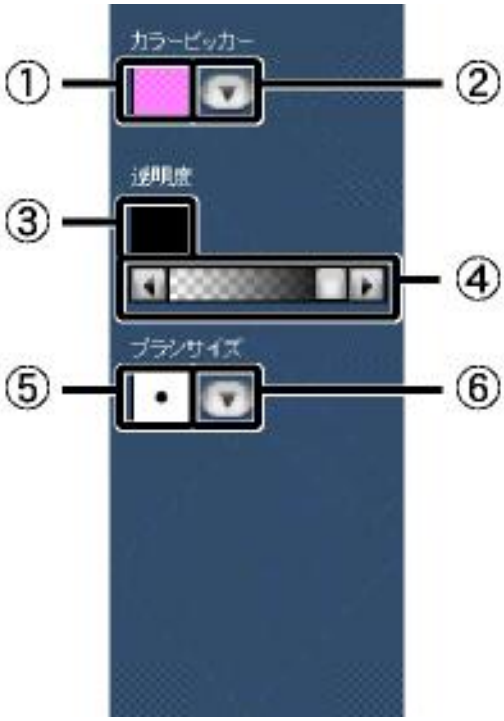
6-3-1 描画モード

設定を行った後、マウスで直接、画像編集ウィンドウに描画します。



①	ブラシボタン	クリックすることで、ブラシでの描画が行えます。
②	ペンボタン	クリックすることで、ペンでの描画が行えます。
③	消しゴムボタン	クリックすることで、消しゴムで消すことができます。
④	塗りつぶしボタン	クリックすることで、塗りつぶすことができます。
⑤	エアブラシボタン	クリックすることで、エアブラシでの描画が行えます。

ブラシ



① ブラシの色
設定しているブラシの色を表示します。

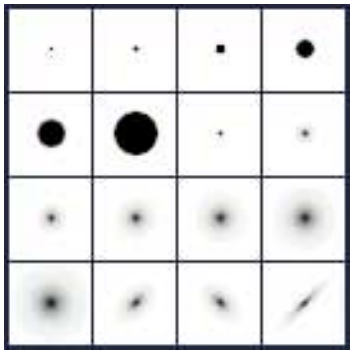
② 色の選択ボタン
クリックすることで、カラーパレットが表示されます。ブラシの色に設定する色を選択します。

③ 透明度
設定しているブラシの透明度を表示します。

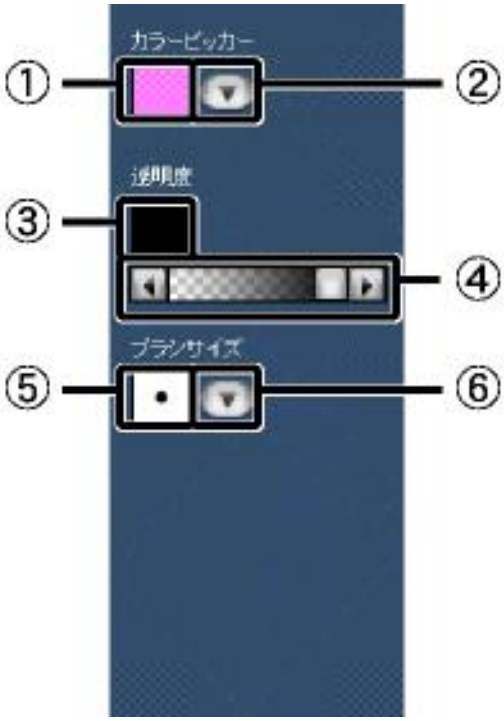
④ 透明度スライダー
スライダーをドラッグすることで、ブラシの透明度を指定します。

⑤ ブラシサイズ
設定しているブラシサイズを表示します。

⑥ ブラシサイズの選択ボタン
クリックすることで、ブラシサイズ選択ウィンドウが表示されます。 描画するブラシサイズを選択します。



ペン



① ペンの色のプレビュー
設定しているペンの色を表示します。

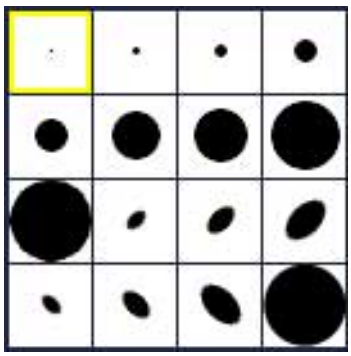
② 色の選択ボタン
クリックすることで、カラーパレットが表示されます。ペンの色に設定する色を選択します。

③ 透明度
設定しているペンの透明度を表示します。

④ 透明度スライダー
スライダーをドラッグすることで、ペンの透明度を指定します。

⑤ ペンサイズ
設定しているペンサイズを表示します。

⑥ ペンサイズの選択ボタン
クリックすることで、ペンサイズ選択ウィンドウが表示されます。 描画するペンサイズを選択します。



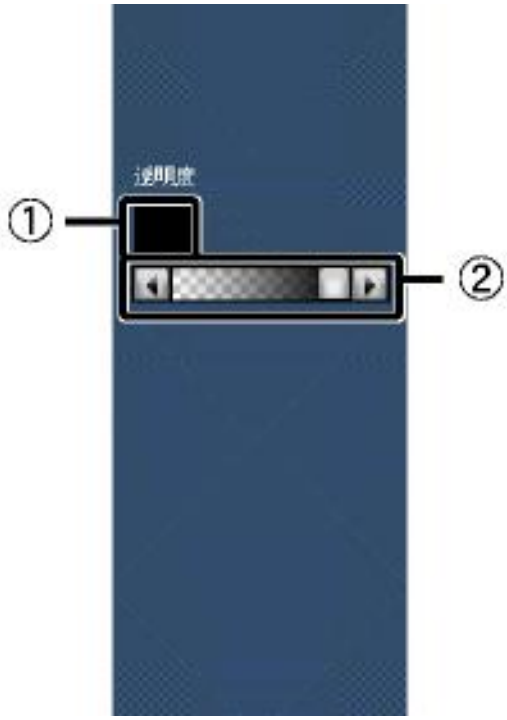
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

6-3-2 描画モード

消しゴム

① 透明度
設定している消しゴムの透明度を表示します。

② 透明度スライダー
スライダーをドラッグすることで、消しゴムの透明度を指定します。



塗りつぶし

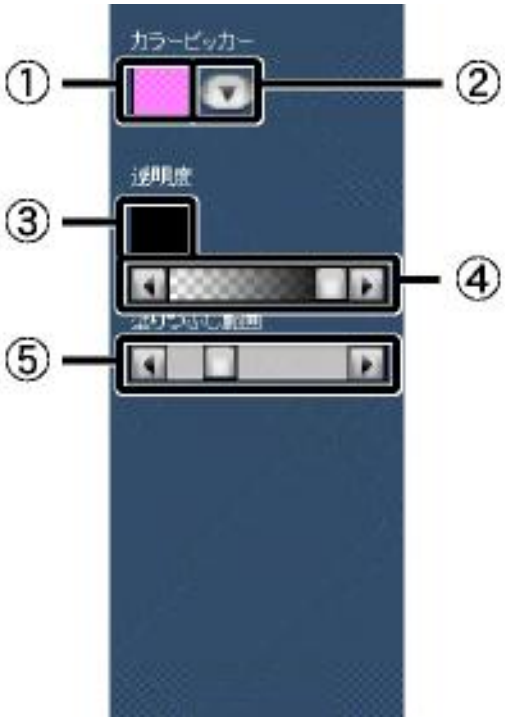
① 塗りつぶしの色
設定している塗りつぶしの色を表示します。

② 色の選択ボタン
クリックすることで、カラーパレットが表示されます。塗りつぶしの色に設定する色を選択します。

③ 透明度
設定している塗りつぶしの透明度を表示します。

④ 透明度スライダー
スライダーをドラッグすることで、塗りつぶしの透明度を指定します。

⑤ 塗りつぶし範囲
スライダーをドラッグすることで、塗りつぶしの範囲を指定します。



エアブラシ

① エアブラシの色
設定しているエアブラシの色を表示します。

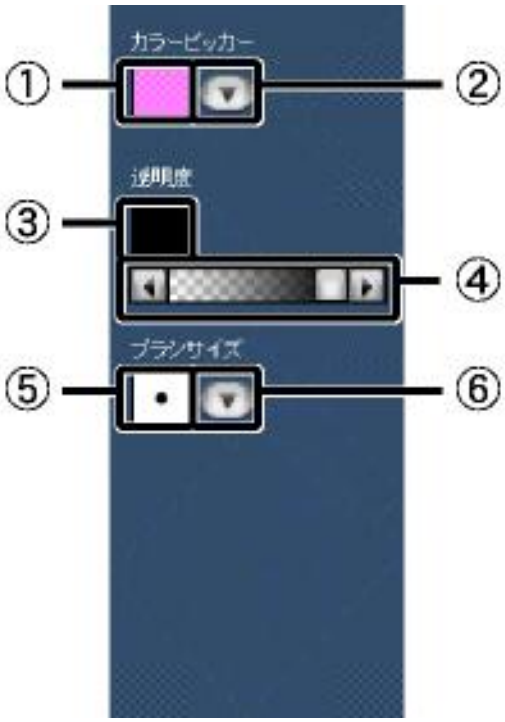
② 色の選択ボタン
クリックすることで、カラーパレットが表示されます。エアブラシの色に設定する色を選択します。

③ 透明度
現在設定しているエアブラシの透明度を表示します。

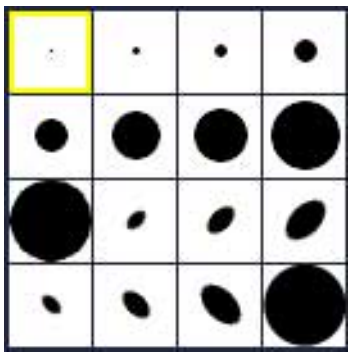
④ 透明度スライダー
スライダーをドラッグすることで、エアブラシの透明度を指定します。

⑤ エアブラシサイズ
設定しているエアブラシのサイズを表示します。

⑥ エアブラシサイズの選択ボタン
クリックすることで、エアブラシサイズ選択ウィンドウが表示されます。



描画するエアブラシのサイズを選択します。



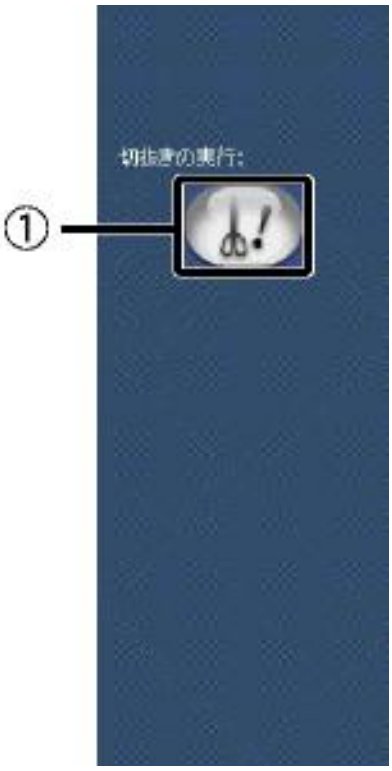
Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

6-4 編集モード

①	切り抜きボタン	クリックすることで、画像の切り抜きが行えます。画像編集ウィンドウに表示されるコントロールポイントで切り抜く範囲を指定します。
②	回転ボタン	クリックすることで、画像の回転や反転を行えます。

切り抜き

① 切り抜きの実行ボタン
クリックすることで、画像編集ウィンドウで選択している範囲の切り抜きを実行します。画像編集ウィンドウのコントロールポイントをドラッグすることで切り抜く範囲を拡大縮小することができます。



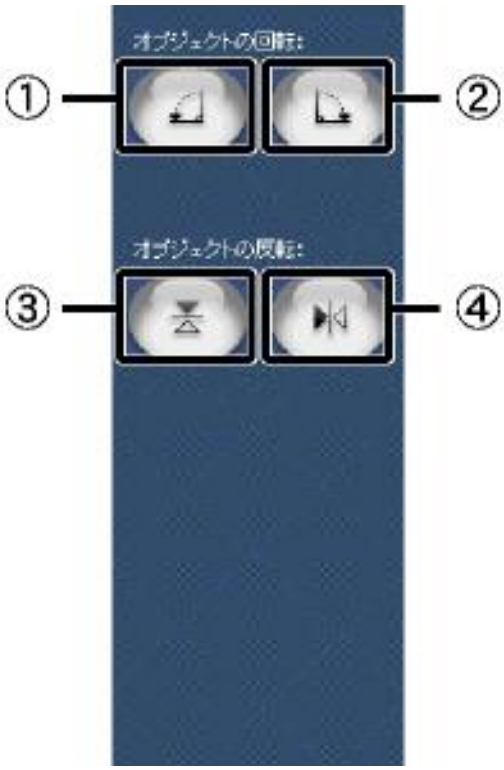
回転

① 反時計回りに90度回転ボタン
クリックするごとに、反時計回りに90度回転します。

② 時計回りに90度回転ボタン
クリックするごとに、時計回りに90度回転します。

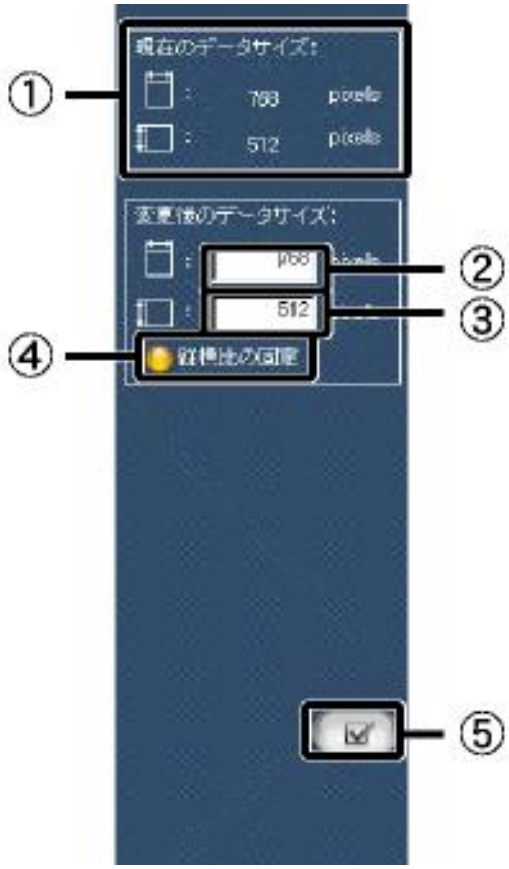
③ 水平反転
クリックするごとに、水平方向を基準に反転します。

④ 垂直反転
クリックするごとに、垂直方向を基準に反転します。



Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

6-5 画像サイズ変更モード



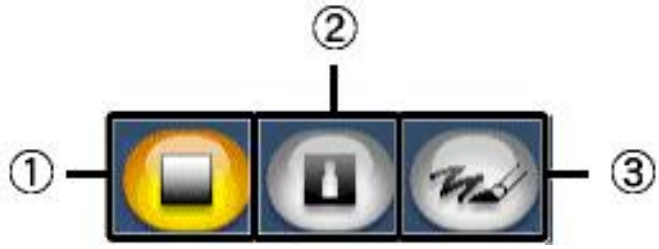
①	現在のデータサイズ	画像編集ウィンドウに表示している画像のサイズの幅（上）と高さ（下）をピクセル単位で表示します。
②	変更後の幅	数値を入力することで、変更後のデータの幅を指定します。
③	変更後の高さ	数値を入力することで、変更後のデータの高さを指定します。
④	縦横比の固定	選択することで、幅と高さの比率を固定します。
⑤	［OK］ボタン	クリックすることで、入力した数値のデータへの変更を実行します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

6-6 マスクモード

「マスク」とは、レイアウトに配置したときに表示されない部分のこと言います。マスクを使用して、不要な部分を隠します。

アルバムモードから画像編集モードを起動している場合は、このモードは使用できません。

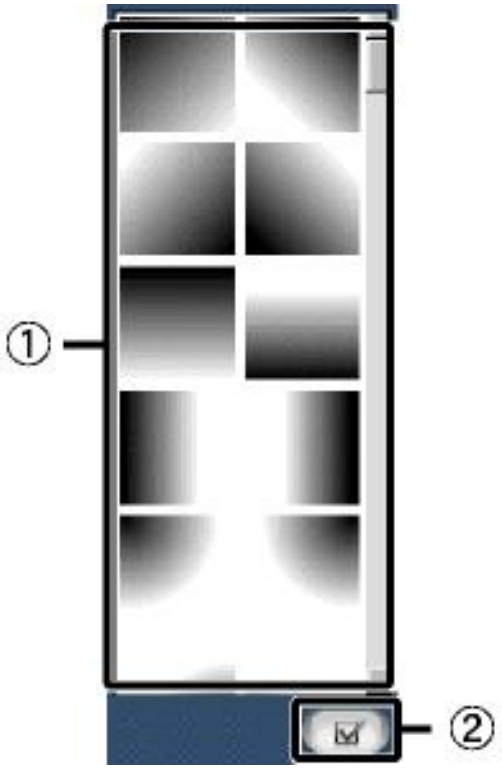


①	グラデーションマスク	クリックすることで、グラデーションマスクリストを表示します。
②	切り取りマスク	クリックすることで、切り取りマスクリストを表示します。
③	マスク描画	マスクをブラシやペンで描画することができます。

グラデーションマスク

① グラデーションマスクリスト
グラデーションマスクをリスト表示します。

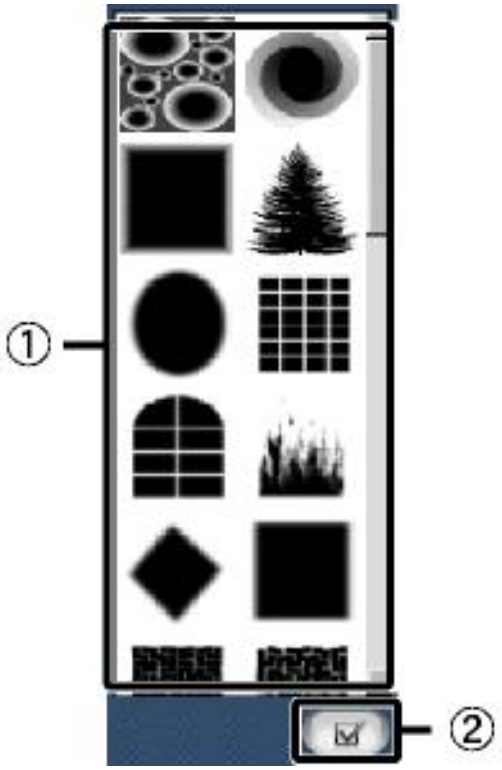
② ［OK］ボタン
クリックすることで、① で選択したグラデーションマスクを実行します。



切り取りマスク

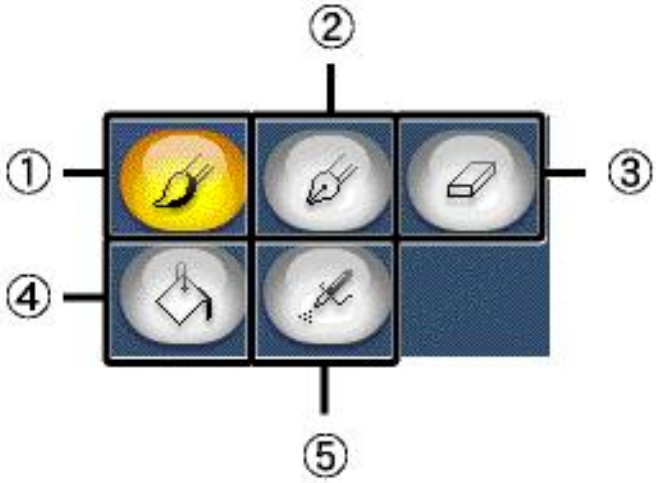
① 切り取りマスクリスト
切り取りマスクをリスト表示します。

② ［OK］ボタン
クリックすることで、① で選択した切り取りマスクを実行します。



マスク描画

設定を行った後、表示しない部分をマウスで直接、画像編集ウィンドウに描画します。



① ブラシボタン
クリックすることで、ブラシでのマスクの描画が行えます。

② ペンボタン
クリックすることで、ペンでのマスクの描画が行えます。

③ 消しゴムボタン
クリックすることで、描画したマスクを消すことができます。

④ 塗りつぶしボタン
クリックすることで、マスクを塗りつぶすことができます。

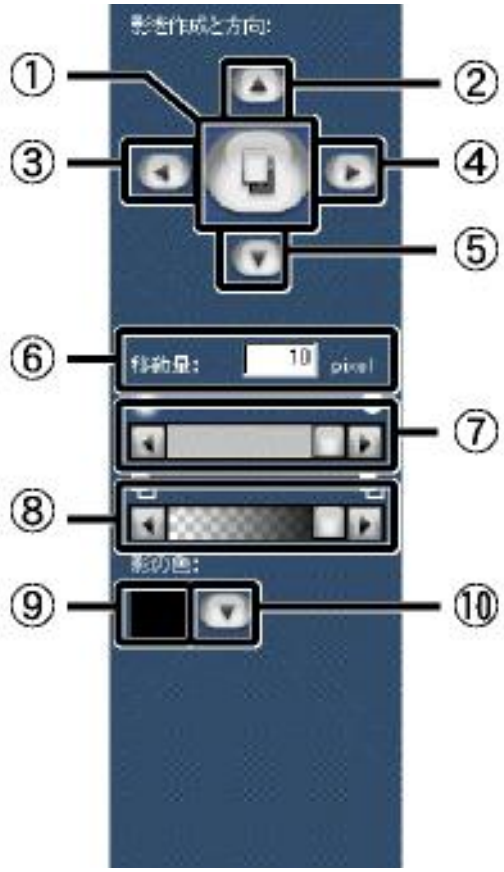
⑤ エアブラシボタン
クリックすることで、エアブラシでのマスクの描画が行えます。

詳細は、描画モードをご参照ください。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

6-7 影の作成モード

アルバムモードから画像編集モードを起動している場合は、このモードは使用できません。



⑦ ⑧ ⑨ ⑩ の設定は、 ① をクリックする前に設定してください。

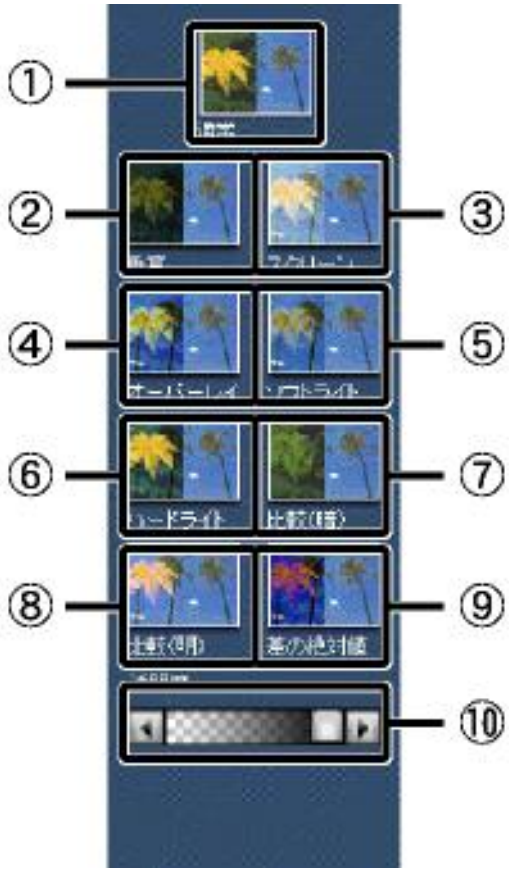
①	影の作成ボタン	クリックすることで、影を作成します。このボタンをクリックすることで、 ② ③ ④ ⑤ ⑥ の設定が有効になります。
②	上ボタン	クリックするごとに、影を上に移動します。
③	左ボタン	クリックするごとに、影を左に移動します。
④	右ボタン	クリックするごとに、影を右に移動します。
⑤	下ボタン	クリックするごとに、影を下に移動します。

⑥	移動量	数値を入力することで、②③④⑤のボタンをクリックするごとに影が移動する距離を指定します。
⑦	ぼかしスライダー	スライダーをドラッグすることで、影のぼかしの調整を行います。
⑧	透明度スライダー	スライダーをドラッグすることで、影の透明度を指定します。
⑨	影の色	設定している影の色を表示します。
⑩	色の選択ボタン	クリックすることで、カラーパレットが表示されます。影の色に設定する色を選択します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

6-8 背景との合成モード

アルバムモードから画像編集モードを起動している場合は、このモードは使用できません。



①	通常	クリックすることで、画像そのままを表示します。
②	乗算	クリックすることで、下に配置しているオブジェクトの色に応じて、色を暗くします。
③	スクリーン	クリックすることで、下に配置しているオブジェクトの色に応じて、色を明るくします。
④	オーバーレイ	クリックすることで、下に配置しているオブジェクトの明るい部分または暗い部分を塗りつぶすことなく合成します。
⑤	ソフトライト	クリックすることで、下に配置しているオブジェクトと比較して、画像の色が50%より明るい場合は明るく、50%より暗い場合は暗くします。

⑥	ハードライト	クリックすることで、下に配置しているオブジェクトと比較して、画像の色が50%より明るい場合は明るく、50%より暗い場合は暗くします。 画像が黒または白の場合はそのままになります。
⑦	比較（暗）	クリックすることで、下に配置しているオブジェクトと比較して、画像の暗い部分のみ表示します。
⑧	比較（明）	クリックすることで、下に配置しているオブジェクトと比較して、画像の明るい部分のみ表示します。
⑨	差の絶対値	クリックすることで、下に配置しているオブジェクトと比較して、明るさの値が大きいほうから小さいほうの色を取り除きます。
⑩	透明度スライダー	スライダーをドラッグすることで、画像の透明度を指定します。

Copyright © 2001-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer

はじめに

第一章　ご使用前に

第二章　入力

第三章　アルバム

第四章　動画編集

第五章　レイアウト

第六章　画像編集

第七章　ビデオディスク作成

- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

ビデオディスク作成の流れ

ImageMixerでは、ディスクを再生機器にセットすると表示されるメニュー画面を作成してDVD Video/Video CD（ビデオディスク）、またはディスクイメージを作成することができます。 ビデオディスクを作成する流れは以下の通りです。

ディスクを再生機器にセットすると表示されるメニュー画面を作成するために、アルバムアイコンやコンテンツをメニューレイアウトにドラッグ＆ドロップしてスライドショーボタンを配置されます。アルバムモードで登録したアルバムやコンテンツを使用できます。

ポイント
Video CDの場合は、このスライドショーボタンに選択番号が割り振られており、再生機器のリモコンと連動しています。たとえばリモコンの（1）を押すと、スライドショーボタンの（1）が再生されます。

配置したスライドショーボタンをダブルクリックすることで、ビデオディスク作成モードのアルバム画面が表示されますので、スライドショーの再生順を確認します。サムネールの順番を入れ替えることで、再生順を変更することができます。

プレビュー／作成画面を表示してディスクを再生した時の動作を確認します。

［作成］ボタンをクリックして、作成ダイアログで設定を行った後、ディスクまたはディスクイメージを作成します。

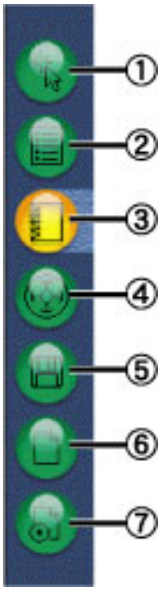
重要
動作についての注意事項を必ずご覧ください。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

はじめに
第一章　ご使用前に
第二章　入力
第三章　アルバム
第四章　動画編集
第五章　レイアウト
第六章　画像編集
第七章　ビデオディスク作成
- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

ナビゲーションバー

ビデオディスク作成モードでは、常にナビゲーションバーが表示されます。作業モードの切り替えを行います。



① ［プロジェクト設定］ボタン
クリックすることで［プロジェクト設定］ダイアログを表示します。［Video CD］ボタンをクリックすることでVideo CD作成モードが表示され、［DVD Video］ボタンをクリックすることでDVD Video作成モードが表示されます。

② ［メニューレイアウト］ボタン
クリックすることでメニューレイアウト画面を表示します。
ディスクを再生する時に表示するメニュー画面のスライドショーボタンの配置や背景の設定を行います。

③ ［アルバム］ボタン
メニューレイアウト画面のスライドショーボタンを選択して、このボタンをクリックすることでアルバム画面を表示します。
選択しているスライドショーボタンのコンテンツの編集を行います。

④ ［プレビュー／作成］ボタン
クリックすることでプレビュー／作成画面を表示します。
オーサリング結果を確認したり、ディスクまたはディスクイメージの作成を行います。

⑤ ［プロジェクト保存］ボタン
クリックすることで現在のオーサリング状態をプロジェクトファイルとして保存します。「プロジェクト保存」とはオーサリング中の作業状態を保存することを言います。保存したプロジェクトファイルを次回に開くことで、保存した時のオーサリング状態から作業を続けることができます。

⑥ ［プロジェクトを開く］ボタン
クリックすると表示されるダイアログで、保存しているプロジェクトファイルを選択して開くことで、オーサリング途中の作業状態から作業を続けることができます。拡張子が［*.imv］のファイルを選択してください。

⑦ ［保存イメージを書き込み］ボタン
クリックすると表示されるダイアログで、保存しているディスクイメージを選択して開くことで、ディスクの作成ダイアログを表示して、ディスクへのライティングを実行できます。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer

はじめに
第一章　ご使用前に
第二章　入力
第三章　アルバム
第四章　動画編集
第五章　レイアウト
第六章　画像編集
第七章　ビデオディスク作成
- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

環境設定

ビデオディスク作成モードの環境設定を行います。［環境設定］ダイアログは、モードセレクトバーの［環境設定］ボタンをクリックすることで表示されます。
Video CD作成モードとDVD Video作成モードでは内容が異なります。

① 作業フォルダの場所
作業するフォルダを指定します。空き容量が不足していると正常に動作しない場合がありますので、できるだけ空き容量の多いハードディスクを選択してください。

② ビデオ方式
作成するディスクのビデオ方式を選択します。
ビデオ方式にはNTSCとPALという方式があります。NTSCは、日本や米国などで一般的に使用されているテレビの映像信号方式で、525本の走査線を持ち、1秒間に30フレームを表示します。
PALは、ヨーロッパや中国などで一般的に使用されているテレビの映像信号方式で、625本の走査線を持ち、1秒間に25フレームを表示します。

NTSC	日本/アメリカ合衆国/カナダ/韓国/台湾/チリ/フィリピン/ペルー/メキシコ
PAL	アルゼンチン/イギリス/イタリア/インド/インドネシア/オーストラリア/オーストリア/オランダ/カナリア諸島/北朝鮮/ギリシャ/ケニア/サウジアラビア/シンガポール/スイス/スウェーデン/スペイン/タイ/チェコ/中国/デンマーク/トルコ/ドイツ/ナイジェリア/ニュージーランド/ノルウェー/パキスタン/フィンランド/ブラジル/ベルギー/ポーランド/ポルトガル/香港/マレーシア/南アフリカ/旧ユーゴスラビア地域

③ ディスクタイプ
使用するディスクの容量を選択します。

④ ボタンの選択色
スライドショーボタンが選択された時の色を設定します。
Video CD作成モードでは表示されません。

ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式

ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式は以下の通りです。

- 動画ファイル
  AVI、AVIを変換したWMV、MPEG-1、MPEG-2
- 静止画ファイル
  Exif-JPEG、Exif-TIFF、JFIF、BMP
- サウンドファイル
  WAV、MP3

動作についての注意事項

以下のことにご注意ください。

- ImageMixerでディスクの作成を行う前に、記録デバイス（ドライブ）が正常に動作することをご確認ください。
- ディスクの作成を行うには、記録デバイス（ドライブ）メーカーの推奨する環境が必要です。また、記録デバイス（ドライブ）メーカーが提示する警告・指示を必ずお守りください。
- 記録デバイス（ドライブ）メーカーの推奨するディスクを使用してください。
- ディスクの作成に影響を及ぼすソフトウェアやドライバなどがご使用のパソコンにインストールされていないことをご確認ください。
- Video CDを作成するには、別途CD-Rドライブが必要です。DVD Videoを作成するには、別途DVDドライブが必要です。
- 検証済みドライブ以外でのディスクの作成については動作保証しておりません。検証済みドライブについては「ReadMe.txt」をご覧ください。
- CD-Rドライブで作成したVideo CDは一部のプレーヤーで再生できない場合があります。
- DVDドライブで作成したDVD Videoは一部のプレーヤーで再生できない場合があります。
- ハードディスクのDMA転送モードをONにしていただくことをお勧めします。
- スクリーンセーバーやシステムエージェントなどのタイマーを使用して起動するソフトウェアなどが起動している場合や、常駐ソフトが起動している場合は、ディスクの作成中に影響を及ぼす場合があります。ディスクの作成時には、ImageMixer以外のアプリケーションは起動しないでください。
- メモリやハードディスクの空き容量が十分にあることをご確認ください。極端に少ない場合などはディスクの作成は正常に行えません。
- 書き込み済みディスク、傷や埃がついているなど状態の悪いディスクでは、ディスクの作成は正常に行えません。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer

はじめに

第一章　ご使用前に

第二章　入力

第三章　アルバム

第四章　動画編集

第五章　レイアウト

第六章　画像編集

第七章　ビデオディスク作成

- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

メニューレイアウト／画面構成

メニューレイアウトは、ディスクを再生する時に表示するメニュー画面をレイアウトするための機能です。「メニューレイアウト画面」の画面構成について説明します。

重要
アルバムやコンテンツの追加は、容量表示のバーが一杯になるまで行えます。
ただし、動画コンテンツの数がプロジェクト全体で97以上になる場合、プロジェクト全体でスライドショーボタン数が900以上の場合、1つのスライドショーボタンに対するコンテンツ数が1,000以上ある場合は、それ以上の追加は行えません。

① ナビゲーションバー
ビデオディスク作成モードの時は常に表示されます。作業モードの切り替えを行います。

② メニューレイアウト
ディスクを再生する時に表示されるメニュー画面がこのメニューレイアウトになります。アルバムアイコン、またはアルバムに登録しているコンテンツのサムネールをコンテンツリストからこのメニューレイアウトにドラッグ＆ドロップして追加することで、スライドショーボタンが配置されます。

重要
メニューレイアウトに一つもスライドショーボタンが配置されていない場合は、そのメニューレイアウトは無効になり、作成するディスクには収録されません。

ポイント
メニューレイアウトにすでに配置されているスライドショーボタン上にコンテンツのサムネールをドラッグ＆ドロップすることで、そのスライドショーボタンにコンテンツを追加できます。

③ スライドショーボタン
メニューレイアウトに追加したアルバム、またはコンテンツがスライドショーボタンになります。スライドショーボタンはスライドショーを実行するためのボタンです。1つのメニュー画面につき最大6つのスライドショーボタンを配置できます。

④ 選択番号

この番号は、Video CDの再生をコントロールする再生機器のリモコンの選択番号に対応しています。例えば、リモコンの［2］を押すと選択番号［2］のスライドショーが再生されます。
DVD Video作成モードでは表示されません。

⑤ スライドショーボタンの［個数選択］メニュー
メニュー画面に登録できるスライドショーボタンの個数を選択します。1メニュー画面につきスライドショーボタンを1～6個まで配置でき、いくつ配置するかをメニュー画面ごとに設定できます。新規にメニュー画面を追加する場合は、［新規メニュー］を選択します。新たに作成されたメニュー画面が一番最後に挿入されます。
DVD Video作成モードの場合、作成できるメニュー画面は26枚までとなります。

⑥ ［ページ移動］メニュー
メニュー画面が複数ある場合は、このメニューから移動するページを選択します。選択したメニュー画面を表示します。

⑦ アルバムメニュー
アルバムモードで登録しているアルバムがリスト表示されます。選択することで、そのアルバムに登録しているコンテンツのサムネールがコンテンツリストに表示されます。

⑧ フィルタボタン
［静止画表示］ボタンをクリックすると静止画ファイルのサムネールが、［動画表示］ボタンをクリックすると動画ファイルのサムネールが、［サウンド表示］ボタンをクリックするとサウンドファイルのサムネールが、［全て表示］ボタンをクリックすると全てのファイルのサムネールが表示されます。

⑨ アルバムアイコン
このアイコンをメニューレイアウトにドラッグ＆ドロップすることで、表示しているアルバムをメニューレイアウトにスライドショーボタンとして配置します。配置したスライドショーボタンには、表示しているアルバムに登録しているコンテンツが自動的に登録されます。

⑩ コンテンツリスト
表示しているアルバムに登録されているコンテンツのサムネールがリスト表示されます。サムネールをメニューレイアウトにドラッグ＆ドロップすることで、メニューレイアウトにスライドショーボタンが配置されます。

☞ ポイント
すでにメニューレイアウトに配置しているスライドショーボタンにコンテンツを追加する場合は、スライドショーボタン上にコンテンツのサムネールをドラッグ＆ドロップするか、アルバム画面で追加します。

⑪ 設定パネル
スタイル、スライドショーボタン、タイトルの設定パネルが表示されます。

⑫ 容量表示
作成するディスク容量に対して、プロジェクトで使用しているコンテンツの容量を目安で表示します。コンテンツを追加することで容量が増加します。ビデオディスク作成モードでは、常に表示されます。

☞ 重要
バーが一杯になると、それ以上のコンテンツを追加することはできません。

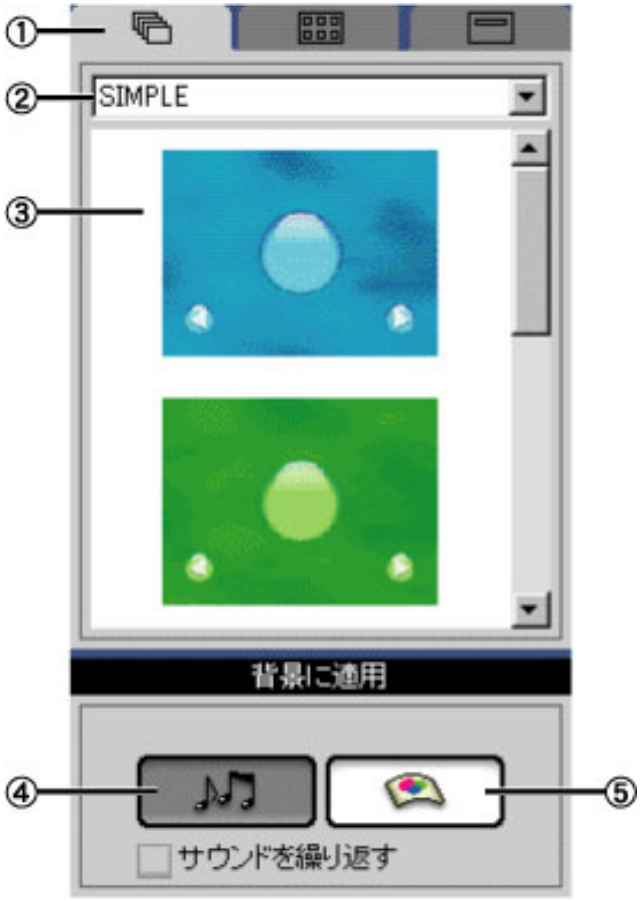
⑬ ステータスバー
ボタンなどにマウスを移動すると、このステータスバーにその説明が表示されます。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

はじめに
第一章　ご使用前に
第二章　入力
第三章　アルバム
第四章　動画編集
第五章　レイアウト
第六章　画像編集
第七章　ビデオディスク作成
- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

スタイル設定パネル

メニューレイアウト画面の［スタイル］タブをクリックすることで［スタイル］設定パネルを表示し、スタイルテンプレートを選択します。



① ［スタイル］タブ
クリックすることで［スタイル］設定パネルを表示します。［スタイル］設定パネルでは、メニュー構成や背景の設定など、メニュー画面のスタイルの設定を行えます。

② ［スタイルカテゴリ］メニュー
スタイルカテゴリを選択するためのポップアップメニューです。メニューを選択することでスタイルのテンプレートを切り替えます。

③ スタイルテンプレート
［スタイルカテゴリ］メニューで選択したスタイルカテゴリのテンプレートを表示します。テンプレートのサムネールをクリックすることでスタイルを適用できます。適用したテンプレートによりメニューレイアウトに配置されているスライドショーボタンの位置は異なります。

④ ［サウンド適用］ボタン
メニュー画面の背景画像にサウンド（BGM）を適用します。［サウンドを繰り返す］をチェックすることで、適用したサウンドをメニュー画面表示中に繰り返し再生します。
このボタンをクリックすると表示されるダイアログでサウンドファイルを選択すると適用されます。すでに適用されている場合は、このボタンをクリックすると適用されているサウンドファイルを外すかどうかを確認するダイアログが表示されます。現在適用されているサウンドファイルを外すことで別のサウンドファイルを適用できます。

ポイント

コンテンツリストのサウンドファイルのサムネールをこのボタンにドラッグ＆ドロップすることでも適用できます。

⑤ ［背景適用］ボタン
メニュー画面に背景を適用します。
このボタンをクリックすると表示されるダイアログで静止画ファイルを選択することで適用されます。すでに適用されている場合は、このボタンをクリックすると適用されている静止画ファイルを外すかどうかを確認するダイアログが表示されます。現在適用されている静止画ファイルを外すことで別の静止画ファイルを適用できます。

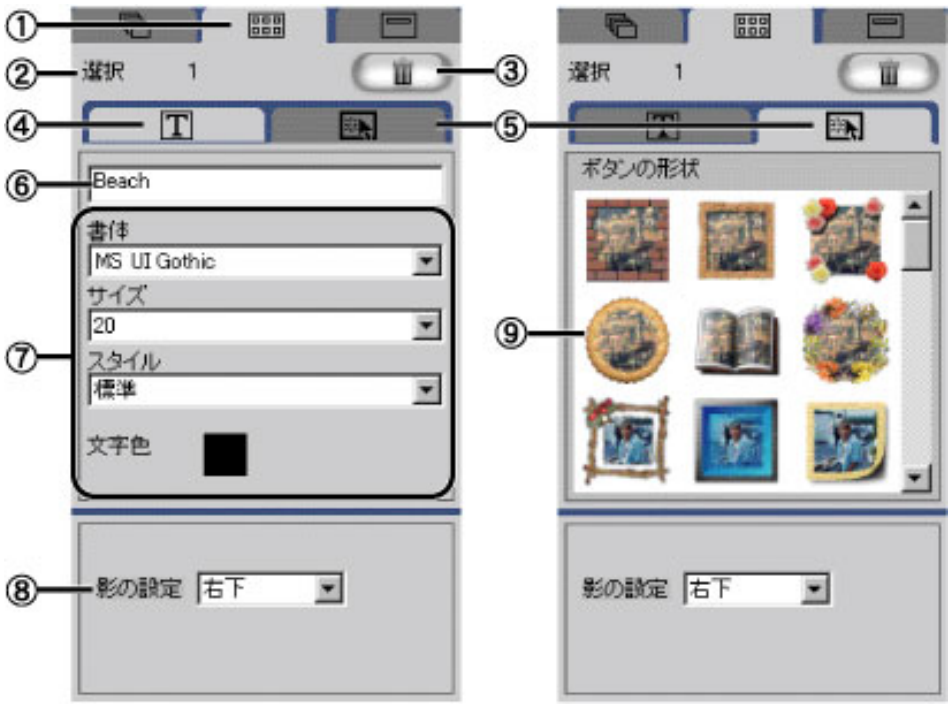
☞ ポイント
コンテンツリストの静止画ファイルのサムネールをこのボタンにドラッグ＆ドロップすることでも適用できます。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

はじめに
第一章　ご使用前に
第二章　入力
第三章　アルバム
第四章　動画編集
第五章　レイアウト
第六章　画像編集
第七章　ビデオディスク作成
- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

スライドショーボタン設定パネル

メニューレイアウト画面の［スライドショーボタン］タブをクリックすることで［スライドショーボタン］設定パネルを表示し、スライドショーボタンの設定を行います。



① ［スライドショーボタン］タブ
クリックすることで［スライドショーボタン］設定パネルを表示します。

② 選択番号
メニューレイアウトで選択されているスライドショーボタンの選択番号が表示されます。
DVD Video作成モードでは表示されません。

③ ［削除］ボタン
メニューレイアウトで選択されているスライドショーボタンを削除します。削除の取り消しは行えません。

④ ［テキスト］タブ
クリックすることで、スライドショーボタン名の文字の設定パネルを表示します。

⑤ ［ボタン］タブ
クリックすることで、スライドショーボタンなどのテンプレートを表示します。

⑥ スライドショーボタンタイトル
このテキストボックスに入力することでスライドショーボタン名を変更することができます。入力できる文字数は半角で63文字です。

⑦ 書体、サイズ、スタイル、文字色
スライドショーボタン名の文字の書体、サイズ、スタイル、色を設定します。
書体、サイズ、スタイルはポップアップメニューから選択します。文字色はプレビューボックスをクリックすることで表示されるカラーパレットから選択します。

⑧ 影の設定
メニューから方向を選択して、メニューレイアウトで選択しているスライドショー

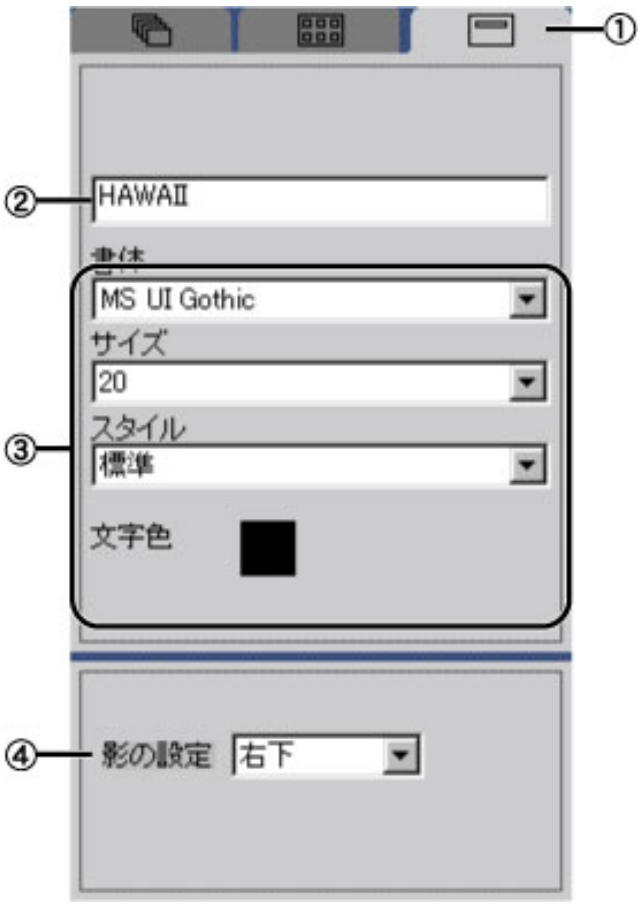
ボタンなどに影を設定します。

⑨ ボタンの形状
スライドショーボタンやページ移動ボタンの形状のテンプレートを表示します。クリックすることで、選択しているボタンに適用します。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

タイトル設定パネル

［タイトル］タブをクリックすることで［タイトル］設定パネルを表示し、メニューレイアウトのタイトルとその文字の設定を行います。



① ［タイトル］タブ
クリックすることで［タイトル］設定パネルを表示します。

② タイトル
ディスクを再生する時に表示するメニューレイアウトのタイトルを入力します。入力できる文字数は半角で63文字です。

③ 書体、サイズ、スタイル、文字色
タイトルの文字の書体、サイズ、スタイル、色を設定します。
書体、サイズ、スタイルはポップアップメニューから選択します。色はプレビューボックスをクリックすることで表示されるカラーパレットから選択します。

④ 影の設定
メニューから方向を選択して、タイトルに影を設定します。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer

はじめに

第一章　ご使用前に

第二章　入力

第三章　アルバム

第四章　動画編集

第五章　レイアウト

第六章　画像編集

第七章　ビデオディスク作成

- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

アルバム／画面構成

メニューレイアウト画面で追加したスライドショーボタンの一つ一つがアルバムとして管理されています。そのアルバム内でコンテンツが管理され、再生順の変更などのコンテンツの設定はアルバム画面で行います。「アルバム画面」の構成について説明します。
アルバム画面は、メニューレイアウトに配置されたスライドショーボタンを選択して、ナビゲーションバーの［アルバム］ボタンをクリックする、またはスライドショーボタンをダブルクリックすることで表示できます。

① アルバムメニュー
アルバムモードで登録しているアルバムがリスト表示されます。選択することで、そのアルバムに登録しているコンテンツのサムネールがコンテンツリストに表示されます。

② フィルタボタン
［静止画表示］ボタンをクリックすると静止画ファイルのサムネールが、［動画表示］ボタンをクリックすると動画ファイルのサムネールが、［サウンド表示］ボタンをクリックするとサウンドファイルのサムネールが、［全て表示］ボタンをクリックすると全てのファイルのサムネールが表示されます。

③ コンテンツリスト
表示しているアルバムに登録されているコンテンツのサムネールがリスト表示されます。

ポイント
コンテンツリストのサムネールをサムネール一覧ウィンドウにドラッグ＆ドロップすることで、スライドショーボタンにコンテンツを追加できます。

④ サムネール一覧ウィンドウ
メニューレイアウト画面で選択したスライドショーボタンのコンテンツがサムネールで一覧表示されます。

⑤ サムネール
メニューレイアウト画面で選択しているスライドショーボタンのコンテンツを縮小表示したものです。スライドショーは、サムネール一覧ウィンドウに表示されているサムネールの順に再生されます。

⑥ ［並び替え］メニュー
並び替える項目を選択することで、サムネール一覧ウィンドウのサムネールを並び替えます。

⑦ 設定パネル
全体の設定、コンテンツの設定を行います。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer

はじめに
第一章　ご使用前に
第二章　入力
第三章　アルバム
第四章　動画編集
第五章　レイアウト
第六章　画像編集
第七章　ビデオディスク作成
- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

全体とコンテンツの設定

表示しているスライドショーボタンの［全体の設定］、サムネールの［コンテンツの設定］について説明します。

全体の設定

① 日付
チェックすることで、スライドショー再生時に静止画コンテンツに作成日を合成して表示します。

☞重要
静止画コンテンツにのみ表示できます。
コマ番号はこの設定に関わらず常に表示されます。

② タイトルの表示
チェックすることで、スライドショー再生時に静止画コンテンツにタイトルを合成します。

③ ［サウンド適用］ボタン
現在アルバムに表示しているスライドショーにサウンド（BGM）を適用することができます。
このボタンをクリックすると表示されるダイアログでサウンドファイルを選択すると適用されます。すでに適用されている場合は、このボタンをクリックすると適用されているサウンドファイルを外すかどうかを確認するダイアログが表示されます。現在適用されているサウンドファイルを外すことで別のサウンドファイルを適用できます。

☞重要
適用したBGMは、スライドショーで静止画コンテンツの表示中に流れます。

④ 繰り返す
チェックを入れることで、適用したBGMが終了した場合に繰り返し再生を行います。

⑤ 静止画の表示時間
静止画コンテンツを表示する時間を4～20秒で設定します。

コンテンツの設定

① コンテンツタイトル
このテキストボックスに入力することでコンテンツ名を変更することができます。もとのファイル名は変更しません。入力できる最大文字数は半角で63文字です。

② サムネールとして使用
チェックを入れることで選択しているサムネールをスライドショーボタンのサムネールに設定します。

③ ［削除］ボタン
選択しているサムネールを削除します。もとのファイルは削除しません。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer

はじめに

第一章　ご使用前に

第二章　入力

第三章　アルバム

第四章　動画編集

第五章　レイアウト

第六章　画像編集

第七章　ビデオディスク作成

- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

サムネール一覧の操作

アルバム画面のサムネール一覧ウィンドウでの操作について説明します。

サムネールについて

サムネール一覧ウィンドウで表示されるサムネールは、動画コンテンツの場合はそのコンテンツの一番最初のフレーム、静止画コンテンツの場合はそのコンテンツになります。
サウンドコンテンツの場合は、ImageMixerで用意しているサウンド用サムネールで表示します。
動画やサウンドコンテンツの場合はサムネールにマークが表示されます。

music1

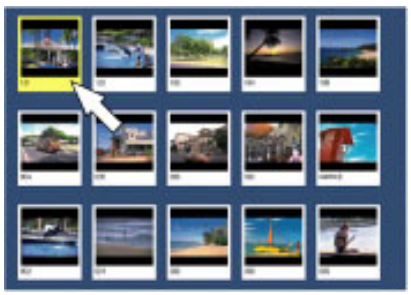
movie1

サムネールの選択

サムネールは、マウスとキーボードで以下のように選択します。

一つのサムネールを選択

サムネールをクリックします。

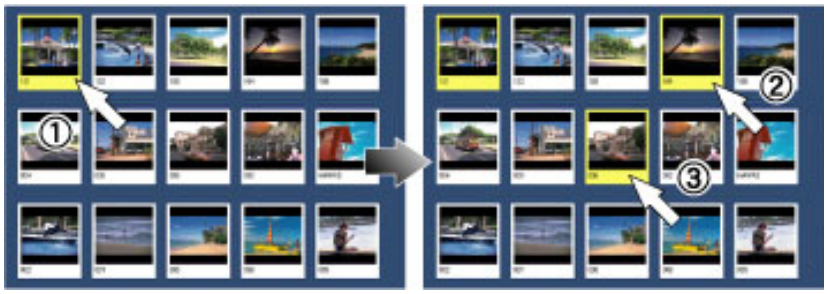


連続した複数のサムネールを選択

① 最初のサムネールをクリックし、② キーボードの［Shift］キーを押しながら最後のサムネールをクリックします。

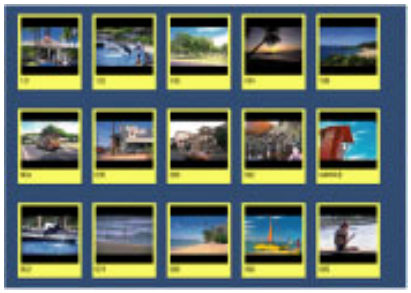
任意の複数のサムネールを選択

キーボードの［Ctrl］キーを押しながら任意のサムネールをクリックします。



全てのサムネールの選択

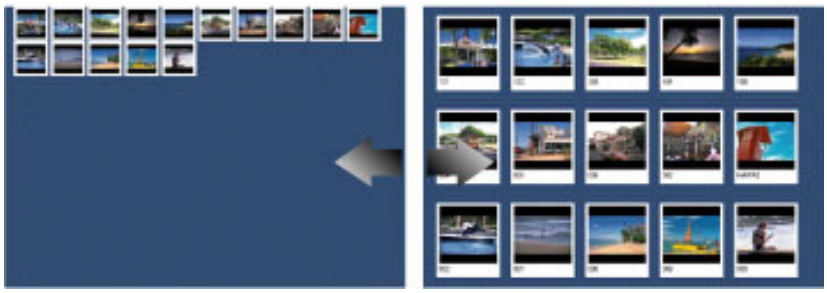
キーボードの［Ctrl］キーを押しながら［A］キーを押します。



サムネールサイズの切り替え

① ［縮小表示］ボタンと ② ［拡大表示］ボタンでサムネールサイズの切り替えを行えます。

① ②

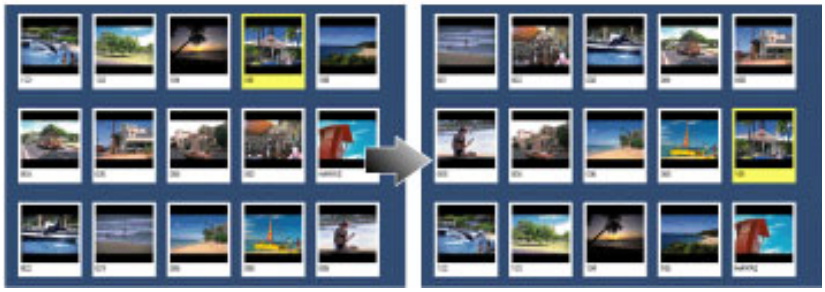


サムネールの並び替え

サムネールの並び替えには、以下の方法があります。

メニューで並び替え

［並び替え］メニューで項目を選択して並び替えます。



手動で並び替え

サムネールをドラッグ＆ドロップし、手動で並び替えます。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer

はじめに

第一章　ご使用前に

第二章　入力

第三章　アルバム

第四章　動画編集

第五章　レイアウト

第六章　画像編集

第七章　ビデオディスク作成

- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

プレビュー／作成　画面構成

作成したディスクがどのように再生されるか、オーサリング結果を確認するためのプレビューと、ディスクの作成について説明します。プレビュー／作成画面は、ナビゲーションバーの［プレビュー／作成］ボタンをクリックすることで表示されます。

① プレビューウィンドウ
作成したディスクがどのように再生されるかを確認するウィンドウです。メニュー画面がいくつかある場合は［前のメニュー］ボタン、［次のメニュー］ボタンが表示されます。

② 選択番号
この番号とコントロールボタンの番号は一致しており、Video CDの再生をコントロールする再生機器のリモコンの選択番号に対応しています。
DVD Video作成モードでは表示されません。

③ プレビューパネル
プレビューを操作するためのコントロールボタンが配置されています。

④ ［作成］ボタン
クリックすることで、ディスクの作成ダイアログが表示されます。

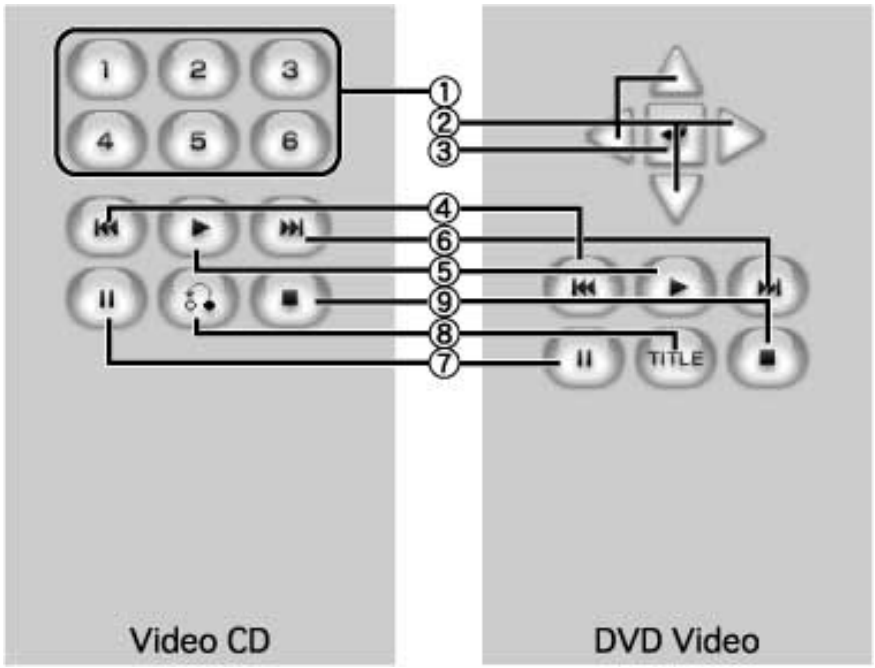
Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer
はじめに
第一章　ご使用前に
第二章　入力
第三章　アルバム
第四章　動画編集
第五章　レイアウト
第六章　画像編集
第七章　ビデオディスク作成
- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

プレビュー

Video CDの場合は、スライドショーボタンの選択番号と再生機器のリモコンの操作は連動します。DVD Videoの場合は、スライドショーボタンと再生機器のリモコンの方向ボタンが連動します。コントロールボタンでプレビューを表示します。

☞ 重要
メニューレイアウトに一つもスライドショーボタンが配置されていない場合は、そのメニューレイアウトは無効になり、プレビューでは表示されません。また、作成するディスクにも収録されません。



① ［1］～［6］ボタン
このボタンをクリックすることで、同じ選択番号のスライドショーが再生されます。例えば、［プレビュー］パネルの［2］ボタンをクリックすると選択番号［2］の位置にあるスライドショーが再生されます。
DVD Video作成モードでは表示されません。

② ［方向］ボタン
このボタンをクリックすることで、メニュー画面のスライドショーボタンを選択できます。
Video CD作成モードでは表示されません。

③ ［決定］ボタン
このボタンをクリックすることで、メニュー画面で選択しているスライドショーボタンを再生します。
Video CD作成モードでは表示されません。

④ ［前にスキップ］ボタン
クリックすることで前のコンテンツ、または前のメニュー画面を再生します。

⑤ ［再生］ボタン
クリックすることで停止、静止状態から再生します。

⑥ ［次にスキップ］ボタン

クリックすることで次のコンテンツ、または次のメニュー画面を再生します。

⑦ ［一時静止］ボタン
クリックすることで再生を一時静止します。

⑧ ［リターン］ボタン
クリックすることで、現在再生中のスライドショーボタンが配置されているメニュー画面に戻ります。

⑨ ［停止］ボタン
クリックすることで再生を停止します。

☞重要
再生機器のリモコンの操作と必ずしも一致しない場合があります。
例えば、リモコンの数字キー［1］を押した後に［再生］を押すなどの操作をしなければ再生しない場合です。再生機器のリモコンの取扱説明書をご覧ください。

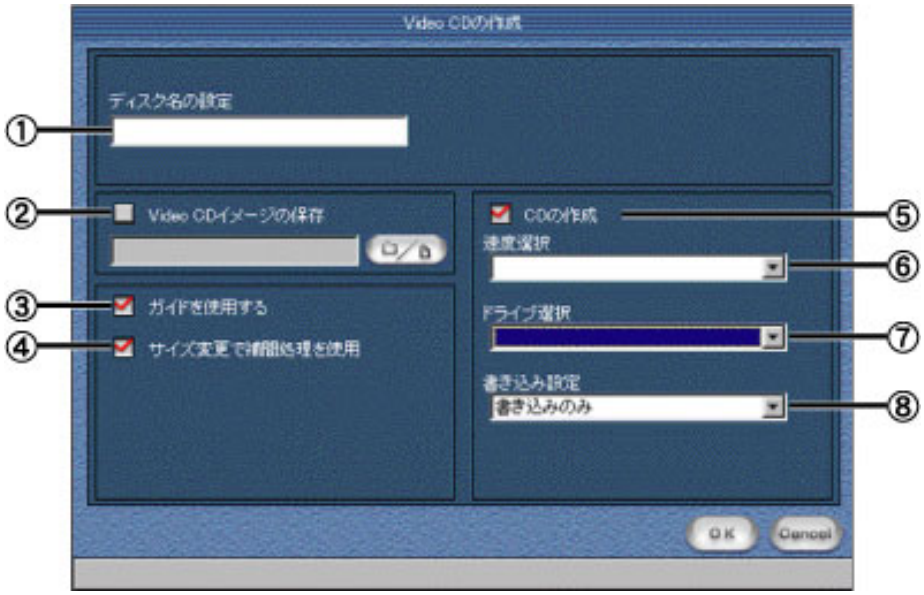
Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

はじめに
第一章　ご使用前に
第二章　入力
第三章　アルバム
第四章　動画編集
第五章　レイアウト
第六章　画像編集
第七章　ビデオディスク作成
- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

Video CDの作成

Video CD作成モードの場合に、プレビュー／作成画面で［作成］ボタンをクリックすると表示される［Video CDの作成］ダイアログについて説明します。

重要
動作についての注意事項を必ずご覧ください。



① ディスク名の設定
作成するVideo CDのディスク名を入力します。ディスク名には半角大文字で、数字の「0～9」、英文字「A～Z」、アンダーバー「_」を使用でき、30文字まで入力できます。

② Video CDイメージを保存
チェックすることで、ディスクに直接ライティングせずにVideo CDイメージとして保存します。［参照］ボタンをクリックして保存するフォルダを指定します。［CDの作成］にチェックして、Video CDの作成と合わせてVideo CDイメージを保存することもできます。

重要
作成したVideo CDイメージは、指定した保存場所に［Cdimage］というフォルダを作成して保存されます。［Cdimage］フォルダに保存されているファイルを移動したりファイル名を変更するなどしないでください。同じ名前のフォルダがすでにある場合は、作成する順番に［Cdimage1］［Cdimage2］［Cdimage3］...と作成した順番に番号が付加されます。

③ ガイドを使用する
チェックを入れることでディスクの再生開始前にビデオディスク作成モードで用意している操作説明画面を挿入します。

④ サイズ変更で補間処理を使用
Video CD作成で規格外のフレームサイズの動画ファイルを利用する場合にサイズ変更が必要になります。この場合にサイズ変更に伴う「補間処理」を使用することで画質が向上します。
ただし、処理を使用しない場合に比べて変換に時間がかかります。必要に応じて設定してください。

⑤ CDの作成
チェックすることで、ディスクに直接ライティングしてVideo CDを作成します。

［Video CDイメージを保存］にチェックして、Video CDの作成と合わせてVideo CDイメージを保存することもできます。

⑥ 速度選択
Video CDを作成する書き込み速度をポップアップメニューから選択します。例えば、［2x］は2倍速、［4x］は4倍速を意味します。［CDの作成］にチェックが入っている場合に設定できます。

☞ 重要
USB接続など転送速度の遅い記録デバイス（ドライブ）でディスクを作成する場合は、高く設定しすぎると正常にディスクに書き込めない場合がありますので、記録デバイス（ドライブ）メーカーが推奨する設定にしてください。

⑦ ドライブ選択
ライティング可能な記録デバイス（ドライブ）名がポップアップメニューで表示されます。ライティングする記録デバイス（ドライブ）を選択します。［CDの作成］にチェックが入っている場合に設定できます。

⑧ 書き込み設定
ライティングする前にテストするかをポップアップメニューから選択します。［CDの作成］にチェックが入っている場合に設定できます。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

はじめに
第一章　ご使用前に
第二章　入力
第三章　アルバム
第四章　動画編集
第五章　レイアウト
第六章　画像編集
第七章　ビデオディスク作成
- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

DVD Videoの作成

DVD Video作成モードの場合に、プレビュー／作成画面の［作成］設定パネルで［作成］ボタンをクリックすると表示される［DVD Videoの作成］ダイアログについて説明します。

重要
動作についての注意事項を必ずご覧ください。

① ディスク名の設定
作成するDVD Videoのディスク名を入力します。ディスク名には半角大文字で、数字の「0～9」、英文字「A～Z」、アンダーバー「_」を使用でき、30文字まで入力できます。

② DVDイメージを保存
チェックすることで、ディスクに直接ライティングせずにDVDイメージとして保存します。［参照］ボタンをクリックして保存するフォルダを指定します。［DVDの作成］にチェックして、DVD Videoの作成と合わせてDVDイメージを保存することもできます。

重要
作成したDVDイメージは、指定した保存場所に［Dvdimage］というフォルダを作成して保存されます。［Dvdimage］フォルダに保存されているファイルを移動したりファイル名を変更するなどしないでください。同じ名前のフォルダがすでにある場合は、作成する順番に［Dvdimage1］［Dvdimage2］［Dvdimage3］...と作成した順番に番号が付加されます。

③ ガイドを使用する
チェックを入れることでディスクの再生開始前にImageMixerで用意している操作説明画面を挿入します。

④ サイズ変更で補間処理を使用
DVD Video作成で規格外のフレームサイズの動画ファイルを利用する場合にサイズ変更が必要になります。この場合にサイズ変更に伴う「補間処理」を使用することで画質が向上します。
ただし、処理を使用しない場合に比べて変換に時間がかかります。必要に応じて設定してください。

⑤ DVDの作成

チェックすることで、ディスクに直接ライティングしてDVD Videoを作成します。［DVDイメージを保存］にチェックして、DVD Videoの作成と合わせてDVDイメージを保存することもできます。

⑥ ドライブ選択
ライティング可能な記録デバイス（ドライブ）名がポップアップメニューで表示されます。ライティングする記録デバイス（ドライブ）を選択します。［DVDの作成］にチェックが入っている場合に設定できます。

⑦ 書き込み設定
ライティングする前にテストするかをポップアップメニューから選択します。［DVDの作成］にチェックが入っている場合に設定できます。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.

ImageMixer

はじめに

第一章　ご使用前に

第二章　入力

第三章　アルバム

第四章　動画編集

第五章　レイアウト

第六章　画像編集

第七章　ビデオディスク作成

- ビデオディスク作成の流れ
- ナビゲーションバー
- 環境設定
- ビデオディスク作成モードで扱えるファイル形式
- 動作についての注意事項
- メニューレイアウト／画面構成
- スタイル設定パネル
- スライドショーボタン設定パネル
- タイトル設定パネル
- アルバム／画面構成
- 全体とコンテンツの設定
- サムネール一覧の操作
- プレビュー／作成　画面構成
- プレビュー
- Video CDの作成
- DVD Videoの作成
- 用語解説

用語解説

DVD Video

高品質の動画と音声をデジタルで記録した読み出し専用メディアのことを言います。 映像の記録形式は一般的にMPEG-2を使用します。市販のDVDプレイヤーで再生できます。

MPEG

MPEGとはMoving Picture Experts Groupの略で、デジタル動画とハイファイオーディオに関する情報圧縮方式の国際標準規格です。MPEG-1はVideoCDの再生方式に使用されるなどVHSテープ並みの品質を実現しています。DV（デジタルビデオ）形式に比べ、小さなファイルサイズで長時間の録画が可能という特長を持ち、インターネットなどの動作形式としても標準的になりつつあります。MPEG-2は高画質、高品質を実現し、DVDやデジタル衛星放送などに使用されています。

Video CD

CDフォーマットのひとつでCDに映像と音声を記録する形式です。
MPEG-1という圧縮された動画データで記録され、解像度は352×240ピクセル。1秒間のフレーム数は、24フレームまたは29.97フレーム。音楽CDと同じ約74分の動画データ（映像＋音声）を収録することができます。オーディオのフォーマットは、MPEG-1オーディオLayer2。
ビデオディスク作成モードで作成するVideo CDまたはVideo CDイメージは、DVD Videoと同じようにプレイバックコントロールをサポートしています。市販のVideo CDプレーヤーやVideo CD対応のDVDプレーヤーなどで再生できます。

オーサリング

ビデオディスクを作成するための作業を言います。メニュー構成やコンテンツ、ナビゲーションなどの設定を行います。

コンテンツ

スライドショーに使用する静止画、サウンド、動画などのデジタルファイルのことを言います。

サムネール

コンテンツやテンプレートなどで使用される縮小した画像のことを言います。サムネールがあることで、どんなファイルであるかを一目で判別することができます。

スライドショー

スライドのように、いくつかのコンテンツを連続して再生することをスライドショーと言います。 ImageMixerでは、スライドショー形式のビデオディスクを作成します。

スライドショーボタン

スライドショーを再生するためのボタンです。メニューレイアウト画面でフォルダを追加することで作成されます。
スライドショーボタンの選択番号と再生機器のリモコンは連動しています。ディスクの再生時に、Video CDでは再生機器のリモコンの数字キーで選択します。

ディスクイメージ、Video CDイメージ、DVDイメージ

ファイル構成をイメージ化したものをディスクイメージと言います。Video CDイメージとは、Video CD Ver2.0 規格に準拠したファイル構成をイメージ化したもので、DVDイメージとはDVD規格に準拠したファイル構成をイメージ化したものです。

ビデオディスク

ImageMixerでは、Video CDやDVD Videoのことを総称してこのように言います。あるいは、単にディスクと言う場合もあります。

ビデオ方式

ビデオ方式にはNTSCとPALという方式があります。
NTSCは、日本や米国などで一般的に使用されているテレビの映像信号方式で、525本の走査線を持ち、1秒間に30フレームを表示します。PALは、ヨーロッパや中国などで一般的に使用されているテレビの映像信号方式で、625本の走査線を持ち、1秒間に25フレームを表示します。

NTSC	日本/アメリカ合衆国/カナダ/韓国/台湾/チリ/フィリピン/ペルー/メキシコ
PAL	アルゼンチン/イギリス/イタリア/インド/インドネシア/オーストラリア/オーストリア/オランダ/カナリア諸島/北朝鮮/ギリシャ/ケニア/サウジアラビア/シンガポール/スイス/スウェーデン/スペイン/タイ/チェコ/中国/デンマーク/トルコ/ドイツ/ナイジェリア/ニュージーランド/ノルウェー/パキスタン/フィンランド/ブラジル/ベルギー/ポーランド/ポルトガル/香港/マレーシア/南アフリカ/旧ユーゴスラビア地域

プロジェクト

現在オーサリングしている内容を「プロジェクト」と言い、ビデオディスク作成モードではオーサリング途中の作業状態をプロジェクトファイルとして保存しておくことができます。保存したプロジェクトファイルを次回に開くことで、保存した時の作業状態からオーサリングを続けることができます。

メニュー、メニュー画面

ディスクの再生時に表示される画面のことをメニュー、またはメニュー画面と言います。メニューレイアウト画面では、このメニュー画面をレイアウトして編集します。メニュー画面はいくつか用意することができ、1つのメニュー画面に最大6つのスライドショーボタンを配置できます。

選択番号

メニューレイアウト画面やプレビュー／作成画面でスライドショーボタンに表示されている番号のことを言います。この番号はVideo CDの再生をコントロールする再生機器のリモコンの選択番号に対応しています。
例えば、リモコンの［1］を押すと現在表示しているメニュー画面の選択番号［1］のスライドショーが実行され、［3］ボタンを押すと選択番号［3］のスライドショーが実行されます。

Copyright © 2002-2003, Pixela Corporation. All rights reserved.